

一時恩給請求書

年月日(官職)ヲ退職致候ニ付一時恩給ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ官職名  
本籍地  
現住所

年月日

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第七號書式)

一時扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者ノ退職當時ノ官職名 氏 名  
右者 年月日死亡候ニ付恩給法第八十一條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員又ハ普通恩給權者トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第八號書式)

一時扶助料請求書

公務員ノ官職 氏 名  
右者 年月日在職中死亡候ニ付恩給法第八十二條

ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第九號書式)

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏 名  
右者 所在不明罪ニ因ル扶助料停止期間中扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所

年月日

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第十號書式)

扶助料停止請求書

停止セラルヘキ扶助料權者 氏 名  
右者 年月日以來所在不明ニ付扶助料ヲ停止相成度證據書類相添へ請求候也

公務員トノ關係

年月日

申請者 氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第十一號書式)

再審査請求書

年月日退職ニ因リ普通恩給及增加恩給ヲ給セラレ候處未タ傷痍(疾病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添へ請求候也

退職當時ノ官職名  
本籍地  
現住所

年月日

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第十二號書式)

現認證明書

公務員ノ官職名 氏 名  
右者 年月日午前(後)時 地ニ於テ(何)ニ從事中(何)ニ因リ(何)ノ事情ノ下ニ負傷(發病)シタル事ヲ現認候也

住所又ハ官職名  
現認者 氏 名印

年月日

(第十三號書式)

事實證明書

公務員官職名 氏 名

第一編 警務 第三章 會計

右者 年月日ヨリ(何)ニ從事シ 月 日頃ヨリ(何)ノ症狀アルヲ訴へ爾後(何)ノ處置ヲ施シタリ  
右證明ス

所屬長 氏 名印

年月日

(第十四號書式)

恩給證書(裁定通知書)再交付申請書

一、恩給證書ノ記號番號  
一、恩給證書ノ日附(裁定通知書ノ日附)  
一、恩給金額

右恩給證書(裁定通知書)ヲ亡失(毀損)致候ニ付キ再交付相成度申請候也

年月日

退職當時ノ官職名  
又ハ公務員トノ身分關係  
本籍地  
現住所

氏 名印

神奈川縣知事氏名殿

(第十五號書式)

請求書

普通恩給年額金 何 圓  
(增加恩給年額金 何 圓)

(扶助料 年額金 何 圓)  
 (一時扶助料金 圓)  
 (一時恩給金 圓)  
 金 何 圓 請求高

右ハ元神奈川縣何々(官職名)何ノ誰受給權者ノ處未請求ノ儘 年月 日死亡致シ候ニ付キ頭書ノ通り御支給相成度證據書類相添ヘ請求候也

(第十六號書式)  
 恩給權者再就職(休職、退職)届  
 一、退職當時ノ官職名  
 一、恩給證書記號番號  
 一、退職當時ノ俸給額及加俸額  
 一、再就職ノ官職名及發令 年月 日  
 一、俸給並加俸別(増俸減俸)額及發令 年月 日  
 右及御届候也  
 年月 日

年 月 日  
 神奈川縣知事氏名殿  
 請求者 氏 名印

現住所  
 恩給權者 氏 名印

●國庫ノ支辨ニ屬スル恩給中内閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ給與細則  
 大正十二年十月一日  
 閣令第七號

國庫ノ支辨ニ屬スル恩給中内閣恩給局長ノ管掌ニ係ルモノノ給與細則左ノ通定ム

- 恩給給與細則
- 第一條 恩給請求書類ニシテ其ノ提出ニ付經由廳ノ定アルモノハ左ノ區分ニ從ヒ先ツ之ヲ經由廳ニ差出スヘシ
    - 一 本屬廳ヲ經テ差出スヘキコトヲ定メタルモノハ高等文官、同待遇、高等官試補、軍人及準軍人ニ在リテハ所管大臣ニ、列任文官、同待遇ニ在リテハ其ノ身分進退ヲ取扱フ廳ノ長官ニ之ヲ差出スヘシ
    - 二 陸軍大臣又ハ海軍大臣ヲ經テ差出スヘキコトヲ定メタルモノ及本屬長官カ陸軍大臣又ハ海軍大臣ナルトキハ聯隊區司令官又ハ所屬隊長ニ之ヲ差出スヘシ此ノ場合ニ於テ聯隊區司令官又ハ所屬隊長ハ順序ヲ經テ之ヲ陸軍大臣又ハ海軍大臣ニ進達スヘシ
  - 三 在外指定學校職員ノ差出スヘキモノハ所管領事官ニ之ヲ差出スヘシ
  - 第二條 裁定官廳ニ直接ニ差出スヘキコトヲ定メタル書類ハ之ヲ内閣恩給局ニ差出スヘシ
  - 第三條 恩給請求書類ハ概ネ別紙様式(第一號乃至第十五號書式)ニ準シ作成スヘシ
  - 第四條 恩給給與規則第六條ノ規定ニ依リ扶助料請求書ヲ直接ニ裁定官廳ニ差出ス場合ニ於テ帝國外ニ居住スル者ハ所管領事官ノ現住證明ヲ受ケ書留郵便ヲ以テ之ヲ内閣恩給局ニ差出スヘシ
  - 第五條 本屬廳其ノ他ノ經由廳ニ於テ恩給請求書類ヲ受付ケタルトキハ恩給金額計算書(第十六號乃至第二十一號書式)ヲ作り證據書類ヲ添附シ内閣恩給局ニ送付スヘシ但シ數個ノ經由廳アルトキハ最終ノ經由廳ニ於テ計算書ヲ作成スヘシ
  - 第六條 内閣恩給局ニ於テ給與ノ裁定ヲ爲シタルトキハ貯金局ニ其ノ旨ノ通知ヲ爲スト共ニ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ作り請求者ニ之ヲ交付スヘシ
  - 第七條 恩給ノ請求ヲ却下シタル場合ニ於テハ内閣恩給局長ハ請求者ニ對シ直接其ノ旨ヲ通知スルト共ニ其ノ要旨ヲ關係廳ニ通知スヘシ
  - 第八條 内閣恩給局ニ於テ恩給給與規則第二十五條ノ規定ニ依リ誤謬ヲ訂正シ又ハ裁定ノ改訂ヲ爲シタル場合ニ於テハ貯金局ヲ經テ權利者ニ通知シ又ハ新證書ヲ交付スヘシ
  - 第九條 恩給給與規則第三十一條ニ該當スル場合ニ於テハ其ノ宣告又ハ取消ヲ爲シタル裁判所ハ別紙様式(第二十二號又ハ第二十三號ノ書式)ニ準シ貯金局ヲ經テ内閣恩給局ニ通知スヘシ
  - 第十條 恩給給與規則第三十六條ノ規定ニ依リ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ申請セムトスル者ハ概ネ別紙様式(第二十四號書式)ニ準シ再交付申請書ヲ作り左ノ書類ヲ添附シ之ヲ内閣恩給局ニ差出スヘシ
    - 一 恩給證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シタルモノナルトキハ亡失ノ顛末及亡失後ニ於テ執リタル措置ヲ記載シタル書類並其ノ事實ヲ證スルニ足ルヘキ警察官署等ノ公ノ證明書但シ裁定通知書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ警察官署等ノ公ノ證明ヲ要セズ
    - 二 恩給證書又ハ裁定通知書ヲ毀損シタルモノナルトキハ其ノ顛末書及毀損シタル恩給證書又ハ裁定通知書
  - 第十一條 恩給給與規則ニ依リ支給廳ヲ經テ内閣恩給局ニ差出スヘキ書類ハ支給郵便局ニ差出スヘシ

第十二條 恩給法施行令第十四條又ハ十七條ノ規定ニ依ル加算ヲ爲スヘキ勤務ニ服シタルトキハ其ノ所屬長官ハ勤務日誌ヲ作り恩給請求ニ際シ其ノ寫ヲ差出スヘシ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
左ノ閣令ハ之ヲ廢止ス

官吏恩給法施行規則

官吏遺族扶助法施行規則

軍人恩給法施行規則

明治二十四年閣令第二號

明治二十四年法律第四號施行規則

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補助法補則施行規則

明治三十四年閣令第一號

明治三十五年法律第四十五號施行手續

明治三十九年法律第二十號施行手續

明治四十三年閣令第九號

明治四十四年法律第五十九號施行手續

公立學校職員退職料及遺族扶助料支給規則

明治二十九年法律第十三號施行規則

在外指定學校職員退職料及遺族扶助料等支給規則

大正十一年閣令第五號

別表 第一號書式

普通恩給請求書

年月日(官職)ヲ退職致候ニ付普通恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名  
本籍地  
現住所

年月日

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

氏 名印

第二號書式

普通恩給請求書

增加恩給請求書

年月日(官職)ヲ退職致候ニ付普通恩給及增加恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名  
本籍地  
現住所

年月日

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

第一編 發務 第三章 會計

第三號書式

增加恩給請求書

年月日(官職)ヲ退職致候處在職中ノ傷疾(疾病)爾後重症ニ赴キ候ニ付增加恩給ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

退職當時ノ官職名  
本籍地  
現住所

年月日

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

氏 名印

第四號書式

扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者

右者年月日死亡候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也

本籍地  
現住所

年月日

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

氏 名印

備考 請求者ノ氏名ニハ振假名ヲ附スヘシ

一一三七

第五號書式

扶助料請求書

前扶助料權者 氏 名  
右者 年 月 日 失權候ニ付扶助料ヲ給與相成  
度證據書類相添ヘ請求候也  
公務員又ハ普通恩給  
權者トノ身分關係  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第六號書式

一時恩給請求書

年 月 日(官職)ヲ退職致候ニ付一時恩給  
ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也  
退職當時ノ官職名  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第七號書式

一時扶助料請求書

公務員又ハ普通恩給權者 氏 名  
右者 年 月 日 退職當時ノ官職名  
ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類  
相添ヘ請求候也  
公務員又ハ普通恩給  
權者トノ身分關係  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第八號書式

一時扶助料請求書

公務員ノ官職名 氏 名  
右者 年 月 日 在職中死亡候ニ付恩給法第八  
十二條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證  
據書類相添ヘ請求候也  
公務員トノ身分關係  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第九號書式

傷病賜金請求書

年 月 日(官職)ヲ退職致候ニ付傷病賜金  
ヲ給與相成度證據書類相添ヘ請求候也  
退職當時ノ官職名  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第十號書式

扶助料轉給請求書

停止中ノ扶助料權者 氏 名  
右者 所在不明ニ因リ扶助料停止期間中扶助料ヲ  
轉給相成度證據書類相添ヘ請求候也  
公務員トノ身分關係  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局

第十一號書式

扶助料停止請求書

停止セラレハキ扶助料權者 氏 名  
右者 年 月 日 以來所在不明ニ付扶助料ヲ停  
止相成度證據書類相添ヘ請求候也  
公務員トノ身分關係

年 月 日 申請者 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿

第十二號書式

再審査請求書

年 月 日 退職ニ因リ普通恩給及增加恩  
給ヲ給セラレ候處未タ傷病(疾病)回復セサルヲ  
以テ再審査相成度證據書類相添ヘ請求候也  
退職當時ノ官職名  
本籍地 現住所

年 月 日 氏 名 印

内閣恩給局長氏名殿  
支給郵便局 ○○郵便局













準スヘキモノノ現住證明書ヲ添ヘ速ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第七條 第一條ノ新證書ヲ發行シタルトキハ交付請求書ヲ差出シタル者ニ對シ貯金局ヲ經テ其ノ旨ヲ通知ス  
受給權者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ從前ノ證書ニ新證書ノ受領證印ヲ爲シ之ト引換ニ新證書ノ交付ヲ受ケヘシ

前項ノ場合ニ於テ止ムコトヲ得サル事由ニ因リ從前ノ證書ヲ提出スルコトヲ得サルトキハ内閣恩給局ノ承認書ヲ以テ從前ノ證書ニ代フルコトヲ得

前項ノ承認書ヲ受ケムトスル者ハ恩給證書ヲ提出スルコトヲ得サル事由ヲ詳記シタル書面ヲ内閣恩給局ニ差出スヘシ

第八條 支給額票ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ貯金局ヲ經テ内閣恩給局ニ其ノ再交付ヲ請求スヘシ

第九條 大正九年七月三十一日以前ノ日附アル證書ハ大正十二年十月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

第十條 大正九年八月一日以後大正十二年九月三十日迄ノ間ニ於ケル日附アル證書及之ニ貼附シタル支給額票ハ大正十四年三月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

第十一條 恩給法第百三條ノ規定ニ依リ新ニ恩給又ハ扶助料ヲ請求スル者ハ恩給給與規則第一條及第二條又ハ第七條及第八條ノ規定ニ依ルノ外尙第七師團長及陸軍大臣ヲ經テ其ノ請求書ヲ差出スヘシ

第十二條 從前ノ規定ニ依リ給スル恩給又ハ扶助料ヲ恩給法第百一條乃至第百三條ノ規定ニ依リ更正増額スル場合ニ於テハ第一條乃至第七條ノ規定ニ依リ先ツ同法第百一條又ハ第百一條及第百二條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲シ更ニ受給權者ノ請求ヲ俟ツテ同法第百三條ノ規定ニ依リ更正増額ヲ爲ス

前項ノ請求ヲ爲ス者ハ更正請求書(第三號様式)ヲ第七師團長及陸軍大臣ヲ經テ内閣恩給局長ニ差出スヘシ

第十三條 陸軍大臣前條ノ更正請求書ヲ受付ケタルトキハ恩給金額計算書ヲ添附シ其ノ他恩給給與規則ノ例ニ依リ之ヲ内閣恩給局長ニ進達スヘシ

第十四條 恩給ノ更正ニ關シ本令ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ恩給給與規則ヲ準用ス

附 則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

大正十三年壹月渡以降更正支給額表

更正證書記號番號	更正 年 額
現證書記號番號	更正 一 期 額
肩 書 及 氏 名	

(内閣恩給局)

注意 (一)本票ハ證書表面金額ノ上部ニ貼附スヘシ  
(二)更正額ニ對スル新證書ハ追テ交付スヘキニ付其ノ際現證書ハ之ヲ還納スヘシ

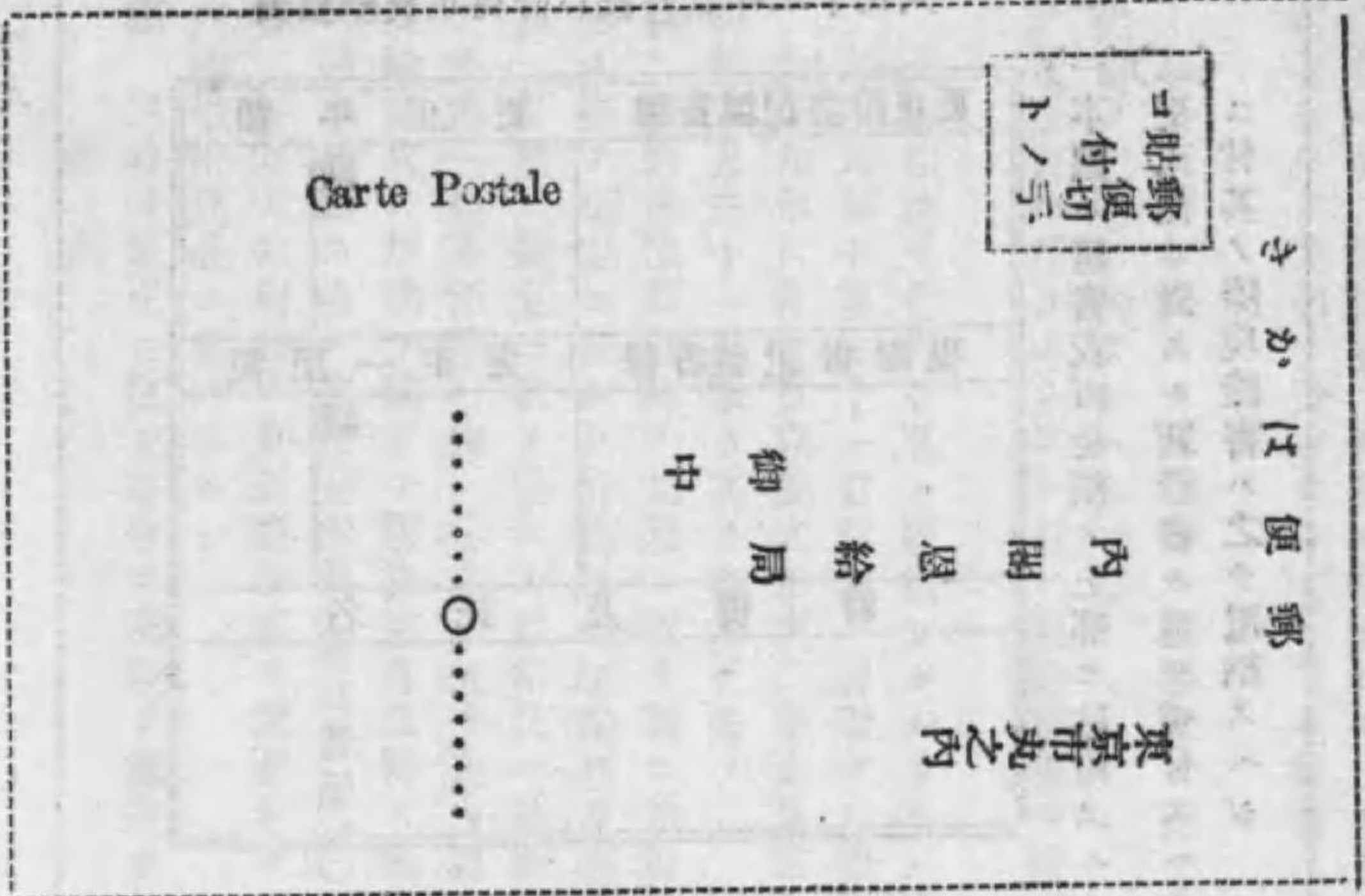
第二號様式(裏面)

交 付 請 求 書

現住地 受給者 氏名印 右現住者タルコトヲ證明ス 大正 年 月 日 警察 署長 分署長 町村長	恩給法ニ依ル更正證書及請求候也 局
--	----------------------

證書記號番號 受給者 氏名 支給額 現住地 便局名 府 縣

(表面)



(第三號様式)

更正請求書		退職當時ノ官職	
氏名		年月日生	
一 退職年月日	年 月 日	第 年	第 月 日
一 證書ノ記號番號	年 月 日	金	圓
一 證書ノ日附	年 月 日	現恩給又ハ扶助料年額	金
一 現恩給又ハ扶助料年額	金	圓	
一 支給郵便局名(又ハ新ニ支給ヲ受ケ)	ムトスル郵便局名		
恩給法第百三條ノ規定ニ依リ前記扶助料年額更正相成度此段請求候			
年月日	本籍地	現住地	請求者 氏名
内閣恩給局長氏名殿			

(注意)  
 一 請求書ハ第七師團司令部ニ差出スヘシ  
 二 請求書提出後本籍地又ハ現住地ヲ變更シタルトキハ速ニ内閣恩給局ニ届出ツヘシ支給郵便局ヲ變更セムトスルトキ亦同シ

### 恩給法附則ニ依ル増額恩給更正規則

大正十二年九月一日 逓信省令第五十七號

恩給法附則ニ依ル増額恩給更正規則左ノ通定ム

恩給法附則ニ依ル増額恩給更正規則

- 第一條 貯金局ニ於テ大正十二年閣令第五號其ノ他恩給法第百一條乃至第百三條ノ施行ニ關スル規定ニ依リ從前ノ恩給、扶助料等ノ證書ニ支給額票貼附ノ手續ヲ爲サムトスルトキハ其ノ旨ヲ受給者ニ通知ス
- 第二條 受給者前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ從前ノ恩給、扶助料等ノ證書ヲ支給郵便局ニ差出シ支給額票ノ貼附ヲ請求スヘシ
- 支給郵便局ニ於テ前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ當該證書ノ表面上部欄外ニ支給額票ヲ貼附シ日附印ヲ以テ契印シタル上之ヲ受給者ニ返付スヘシ
- 第三條 受給者現ニ年金恩給支給規則第十條ニ依リ從前ノ恩給、扶助料等ノ證書ヲ貯金局ニ寄託セルモノナルトキハ貯金局ニ於テ前條ニ準シ當該證書ニ對スル支給額票貼附ノ手續ヲ爲ス
- 前項ノ場合ニ於テハ新ニ保管證書ヲ作成シ支給郵便局ヲ經テ舊保管證書ト引換ニ之ヲ受給者ニ交付ス
- 第四條 受給者新證書交付ノ通知ヲ受ケタルトキハ支給額票ヲ貼附シタル從前ノ證書又ハ裁定官廳ノ承認書表面餘白ニ新證書ニ對スル受領證印ヲ爲シ之ヲ指定ノ郵便局ニ差出シ引換ニ新證書ノ交付ヲ受ケヘシ
- 前項ノ場合ニ於テ同時ニ支給郵便局ヲ改訂スルモノナルトキハ郵便局ノ交付スル用紙ニ依リ印鑑届ヲ作成シ之ヲ新支給郵便局ニ差出スヘシ
- 第五條 第三條ノ支給額票ヲ貼附シタル從前ノ證書ニ對スル新證書ハ貯金局ニ於テ之ヲ引換ヘ保管ス
- 第六條 恩給ノ更正ニ關シ本規則ニ別段ノ規定ナキ事項ニ付テハ年金恩給支給規則ヲ準用ス

附則

本規則ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ● 郵便官署ヲシテ年金、恩給等ノ支給事務ヲ取扱ハシムルノ件

明治四十三年三月十六日  
勅令第二十五號

改正 大正一四年四月第一二二號

朕郵便官署ヲシテ年金、恩給等ノ支給事務ヲ取扱ハシムルノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
國庫ノ支辨ニ屬スル年金及恩給ノ支給ニ關スル事務ハ逓信省、朝鮮總督府、臺灣總督府、關東廳、樺太廳及南洋廳  
ノ所管ニ屬スル郵便官署ヲシテ之ヲ取扱ハシム  
前項給與金ノ支給手續ニ關シテハ逓信大臣ノ定ムル所ニ依ル  
第一項給與金ノ支拂ニ關シテハ歳入金歳出金並歳入歳出外現金ノ交互振替及繰替受拂ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ● 恩給法施行令第十七條第一項第一號ニ規定スル勤務ニ關スル件

大正十三年四月二十六日  
內閣告示第二號

恩給法施行令第十七條第一項第一號ニ規定スル勤務左ノ通定メ恩給法施行ノ日以後ノ勤務ニ付適用ス  
一 左ノ場所ニ於テ有毒ノ瓦斯若ハ蒸氣又ハ爆藥類ノ研究又ハ製造ニ直接從事スル勤務

處名	場	所
內務省警保局	壓縮又ハ液化ノ鹽素、亞硫酸、フオスゲン	等ノ瓦斯ノ研究室爆藥類ノ研究室
東京及大阪衛生試驗所	鹽素、フオスゲン、フオスゲン、芳香系「アミド」化合物、亞硝酸、燐化水素、硫化水素等ノ有毒瓦斯ヲ多量ニ發生シ又ハ使用スル研究室又ハ作業室	
廳府縣立ノ衛生試驗所	毒性化合物ノ製造及加工作業室	

陸軍造兵廠	陸軍技術本部	陸軍科學研究所
硝酸製造及回收作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 依的兒ノ製造及回收作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室 毒性化合物ノ研究及作業室 芳香系硝化物ノ研究及加工作業室 硝酸「アンモニア」爆藥ノ研究及作業室 毒性化合物ノ製造及加工作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室	硝酸製造及回收作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 依的兒ノ製造及回收作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室 毒性化合物ノ研究及作業室 芳香系硝化物ノ研究及加工作業室 硝酸「アンモニア」爆藥ノ研究及作業室 毒性化合物ノ製造及加工作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室	硝酸製造及回收作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 依的兒ノ製造及回收作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室 毒性化合物ノ研究及作業室 芳香系硝化物ノ研究及加工作業室 硝酸「アンモニア」爆藥ノ研究及作業室 毒性化合物ノ製造及加工作業室 混酸作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 無煙藥壓延作業室 無煙藥乾燥作業室 鉛ノ熔融作業室 磷ノ加工作業室 芳香系硝化物ノ研究及作業室 「ニトログリセリン」ノ製造及加工作業室 雷汞及窒化物ノ研究及作業室



官發第五二七號

大正十二年十月一日

內務大臣子爵 後藤 新平殿  
照會

宮內大臣子爵 牧野 伸顯

今般宮內省恩給令制定相成候ニ付テハ同令ニ依ル年金タル恩給ヲ停止スルノ關係有之候間其ノ恩給ヲ受クル者恩給法ニ規定スル公務員トシテ就職シタルトキ本屬廳ヨリ其ノ旨當省ニ通知相成候様御管下ニ告知方御配慮相煩度

### ●年金恩給支給規則

大正十二年十一月十日  
逕信省令第九十二號

年金恩給支給規則左ノ通改正ス  
年金恩給支給規則

#### 第一章 總則

第一條 國庫ノ支辨ニ屬スル左ノ給與金ノ支給手續ニ關シテハ本規則ノ定ムル所ニ依ル

一、明治二十七年勅令第七十三號金鷄勳章年金令ニ依ル給與金

二、大正十二年法律第四十八號恩給法ニ依ル給與金

三、特ニ賜與ニ係ル年金、恩給ノ給與金

第二條 前條ノ給與金ハ特別ノ場合ヲ除クノ外受給者ノ指定シタル郵便局ニ於テ之ヲ支給ス

第三條 給與金ノ支給期日ハ當該支給期月ノ十一日ヨリ二十日迄トス

一時限ノ給與金ニ付テハ前項ノ期日ニ拘ハラズ之ヲ支給ス

第四條 受給者居所ヲ變更シタルトキハ其ノ届書ニ給與ニ關スル證書ノ種類、記號番號ヲ附記シ支給郵便局ニ差出スヘシ

第五條 受給者轉居又ハ其ノ他ノ事由ニ依リ支給郵便局ヲ變更セムトスルトキハ給與ニ關スル證書ノ種類、記號番

號及新舊支給郵便局名ヲ記載シタル變更請求書ヲ作成シ新支給郵便局又ハ舊支給郵便局ニ差出スヘシ  
郵便局ニ於テ支給郵便局變更ノ手續ヲ了シタルトキハ其ノ旨ヲ受給者ニ通知ス

第六條 代人ニ於テ本規則ニ依リ各種ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ本人ノ委任狀ヲ差出シ代人タルコトヲ證明シ且記名調印ヲ要スル書類ニハ代人タルノ肩書ヲ附シ記名調印スヘシ

前項ノ委任狀ハ本人ニ於テ當該書類ニ委任文ヲ記載シ記名調印シ之ヲ作成スルコトヲ得

#### 第二章 繼續支給

第七條 繼續支給セラルヘキ給與ニ關スル證書ヲ受領シタル者ハ支給ヲ受ケムトスル郵便局ニ就キ其ノ交付スル用紙ニ依リ印鑑届ヲ作成シ之ヲ差出スヘシ但シ年金タル恩給ヲ受クル者ハ其ノ恩給請求書ニ記載シタル支給郵便局ニ之ヲ差出スコトヲ要ス

受給者印章ヲ改メタルトキハ適宜ノ用紙ニ依リ改印届ヲ作成シ支給郵便局ニ差出スヘシ

第八條 受給者給與金ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ年金證書、恩給證書其ノ他給與ニ關スル證書ヲ支給郵便局ニ呈示シ權利者タルコトヲ證明シタル上郵便局ノ交付スル用紙ニ依リ作成シタル給與金受領證書ヲ現金ト引換ニ差出スヘシ

前項給與金受領證書ノ用紙ハ郵便局ノ交付スル用紙ト同一様式ノモノニ限リ之ヲ私製シ使用スルコトヲ得

第九條 受給者支給期月ヲ經過シタル後ニ於テ給與金ノ支給ヲ受ケムトスルトキハ給與ニ關スル證書ノ種類及記號番號、給與金高竝支給郵便局名等ヲ記載シタル支給請求書ヲ貯金局ニ差出スヘシ

受給者前項ノ請求ニ對シ貯金局ヨリ支給ノ通知ヲ受ケタルトキハ前條第一項ノ例ニ依リ現金受領ノ手續ヲ爲スヘシ

第十條 受給者ハ給與ニ關スル證書ヲ豫メ貯金局ニ寄託シ其ノ給與金ヲ支給期毎ニ自己ノ郵便貯金ニ振替預入ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ給與金ハ其ノ支給期毎ニ貯金局ニ於テ之ヲ受給者ノ郵便貯金ニ組入ノ手續ヲ爲ス

第十一條 受給者振替預入ノ請求ヲ爲サムトスルトキハ振替預入ヲ受ケムトスル郵便貯金通帳ノ記號番號、給與ニ關スル證書ノ種類及記號番號並請求ノ要旨ヲ記載シタル請求書ニ給與ニ關スル證書ヲ添ヘ之ヲ支給郵便局ニ差出

スヘシ

第十二條 貯金局ニ於テ前條ノ請求ニ依リ給與ニ關スル證書ノ寄託ヲ受ケタルトキハ其ノ保管證書ヲ當該受給者ニ交付ス

第十三條 前條ニ依リ保管證書ノ交付ヲ受ケタル受給者ハ給與金ノ支給期毎ニ郵便貯金通帳ヲ支給郵便局ニ差出シ之ニ振替預入金ノ記入ヲ受ケヘシ

第十四條 受給者第十條ニ依リ振替預入ヲ廢止セムトスルトキハ其ノ旨ヲ記載シタル届書ニ保管證書ヲ添ヘ之ヲ貯金局ニ差出スヘシ

第十五條 貯金局ニ於テ前項ノ届書ヲ受ケタルトキハ其ノ保管スル給與ニ關スル證書ハ之ヲ受給者ニ還付ス

第十六條 受給者保管證書ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ、之ヲ毀損シタルトキハ保管證書ヲ添ヘ貯金局ニ其ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第十七條 保管證書ノ再交付ヲ爲シタルトキハ從前ノ保管證書ハ其ノ效力ヲ失フ

第十八條 一時支給

第十九條 一時限ノ給與金ヲ受ケル者ニハ貯金局ヨリ支給郵便局ヲ經由シテ支給通知書ヲ送付ス

第二十條 受給者前條ノ支給通知書ニ依リ給與金ヲ受領セムトスルトキハ裁定官廳ノ裁定通知書ヲ支給郵便局ニ呈示シテ權利者タルコトヲ證明シタル上支給通知書ノ受領證ノ部ニ記名調印シ現金ト引換ニ之ヲ差出スヘシ

第二十一條 前項ノ場合ニ於テ支給郵便局ハ必要ニ依リ受給者ニ對シ市區町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ作成シタル印鑑證明書ヲ提出ヲ求ムルコトアルヘシ

附則  
本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 恩給法第一百一條又ハ第一百二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給中神奈川縣知事ノ管掌ニ係ルモノ、更正手續

大正十二年十二月六日  
縣令第一百一號

恩給法第一百一條又ハ第一百二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ恩給中神奈川縣知事ノ管掌ニ係ルモノノ更正手續左ノ通定ム

更正手續  
第一條 恩給法第一百一條又ハ第一百二條ノ規定ニ依リ増額スヘキ退隱料、扶助料、給助年金等ニシテ大正十二年九月三十日以前ノ日附ヲ以テ證書交付済ノモノニ付テハ受給權者ノ請求ニ依リ之ヲ更正シ其ノ更正年額ヲ表示シタル新證書ヲ交付ス

第二條 第一條ノ新證書ハ現住地ノ市區町村長又ハ警察官署長ヲ經テ受領書(第二號様式)ト引替ニ之ヲ受給權者ニ交付ス

第三條 第一條ノ新證書ノ交付ヲ受ケムトスル者ハ交付請求書(第一號様式)ニ現住地ノ市區町村長又ハ警察官署長ノ現住證明ヲ受ケ之ニ從前ノ證書、戶籍謄本及在官在職中ノ履歷書(任免、俸給等詳記)ヲ添付シ當廳ニ提出スヘシ

第四條 從前ノ證書ヲ添付スルコトヲ得サル者ハ其ノ事由ヲ詳記シタル書面ヲ添付スヘシ

第五條 前條ノ交付請求書提出後現住地ヲ變更シタルトキハ其ノ現住地ノ市區町村長又ハ警察官署長ノ現住證明書ヲ添ヘ遲滞ナク其ノ旨當廳ニ届出ツヘシ

第六條 大正十二年九月三十日以前ノ日附アル退隱料、扶助料等ノ證書ハ大正十三年三月三十一日限り其ノ效力ヲ失フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ施行シ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ適用ス

第一號様式 (用紙半紙判)  
交付請求書  
恩給法ニ依ル更正證書下付相成度關係書類相添ヘ及請求候也

何 某

神奈川縣知事宛  
右肩書地ニ現住セルコトヲ證明ス

新證書受領書  
恩給法ニ依ル更正證書受領候也

年月日

現住地 何府何郡何町何番地  
元官職(故官職何某寡婦等)

何 某

第二號様式 (用紙半紙判)

神奈川縣知事宛

### 〔大正九年法律第十號〕ニ依ル恩給扶助料等ノ増額及 明治二十三年勅令第二百五十四號ニ依ル休職給ノ増 額ニ關スル件

大正九年八月十九日  
勅令第二百七十八號

朕〔大正九年法律第十號〕ニ依ル恩給扶助料等ノ増額及明治二十三年勅令第二百五十四號ニ依ル休職給ノ増額ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
第一條 〔大正九年法律第十號〕第一條第一項、第三條及第五條ノ規定ニ依リ恩給、退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキモノノ年額ヲ増額スル場合ニ於テハ其ノ年額算出ノ基礎ト爲リタル俸給年額ニ付左ノ區分ニ依リ増額シタル金額ヲ俸給年額ト爲シ之ヲ基礎トシテ算出シタル年額ヲ以テ其ノ恩給、退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキモノノ年額トス

基礎俸給年額	増額俸給年額
六千五百圓ヲ超エ七千五百圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ五百分ノ加ヘタル額トス
五千五百圓ヲ超エ六千五百圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ七百分ノ加ヘタル額トス
三千五百圓ヲ超エ五千五百圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ七百分ノ加ヘタル額トス
二千二百圓ヲ超エ三千五百圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ七百分ノ加ヘタル額トス
三百六十圓ヲ超エ二千二百圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ七百分ノ加ヘタル額トス
三百圓ヲ超エ三百六十圓ヲ未滿ノモノ	基礎年額ニ七百分ノ加ヘタル額トス
三百圓以下ノモノ	基礎年額ニ其ノ十割ニ相當スル金額ヲ加ヘタル額トス

退隱料、扶助料又ハ之ニ準スヘキモノニシテ月俸額ヲ其ノ年額算出ノ基礎ト爲スモノニ付テハ前項ノ基礎俸給年額及増額俸給年額ヲ十二等分シ前項ノ規定ヲ準用ス  
退隱料又ハ扶助料ニ準スヘキモノニシテ俸給額ヲ其ノ年額算出ノ基礎ト爲ササルモノニ付テハ前項ノ規定ニ準シ算出シタル金額ヲ以テ其ノ退隱料又ハ扶助料ニ準スヘキモノノ年額トス  
第二條 〔大正九年法律第十號〕第一條第二項ノ規定ニ依リ加算スヘキ金額ハ左ノ區分ニ依ル

在職最終俸給年額	加算額
六千五百圓ヲ超エ七千五百圓ヲ未滿ノモノ	千五百圓
五千五百圓ヲ超エ六千五百圓ヲ未滿ノモノ	千五百圓
三千五百圓ヲ超エ五千五百圓ヲ未滿ノモノ	千五百圓
二千二百圓ヲ超エ三千五百圓ヲ未滿ノモノ	千五百圓
三百六十圓ヲ超エ二千二百圓ヲ未滿ノモノ	三百圓
三百圓ヲ超エ三百六十圓ヲ未滿ノモノ	三百圓
三百圓以下ノモノ	在職最終俸給年額ノ十割ニ相當スル金額



退隱料又ハ扶助料ニシテ月俸額ヲ其ノ年額算出ノ基礎ト爲スモノニ付テハ前項ノ加算金額ヲ十二等分シ前項ノ規定ヲ準用ス

第三條 第一條第一項ノ規定ハ「大正九年法律第十號」第四條ノ休職給ニ付之ヲ準用ス

第四條 大正九年七月三十一日現在ニ於テ明治二十三年勅令第二百五十四號ニ依ル休職判事ノ受クル休職給ハ第一條ノ規定ニ準シ算出シタル金額ヲ以テ其ノ休職給トス

附則

本令ハ大正九年七月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス但シ第三條及第四條ノ規定ハ大正九年八月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス

### ● 恩給又ハ扶助料ノ仕拂ヲ請求スル者ノ生存證書ニ關スル件

明治三十三年三月十三日  
勅令第四十四號

朕恩給又ハ扶助料ノ仕拂ヲ請求スル者ノ生存證書ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
恩給又ハ扶助料ノ仕拂ヲ請求スル者ハ自今生存證書ヲ提出スルコトヲ要セス

### ● 官吏ノ勤續ニ關スル件

明治二十六年十月三十一日  
勅令第九十八號

朕官吏ノ勤續ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
廢官廢廳若クハ官名改定ノ際其ノ廢改ニ係ル官職ニ在ル者即日他官ニ任セラレ、トキハ勤續者トス

### ● 地方長官ノ主管ニ屬スル巡查看守ノ退隱料及遺族扶

#### 助料取扱規程

明治三十四年七月三十一日  
內務省令第二十二號

巡查看守退隱料及遺族扶助料法施行令ニ依リ地方長官主管ニ屬スル退隱料及遺族扶助料取扱規程左ノ通之ヲ定ム

第一條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ退隱料又ハ一時金ヲ受クヘキ者ハ退職當時ノ本屬廳府縣長官ニ請求スヘシ

第二條 前條ノ請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 在職履歷書
- 二 戶籍謄本

但シ一時金請求書ニハ戶籍謄本ノ添付ヲ要セス

巡查看守退隱料及遺族扶助料法第三條第一項及第四條第三項ニ依ル退隱料年額増加ノ請求書ニハ前項書類ノ外前ニ受ケタル退隱料證書ヲ添付スヘシ

第三條 職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退隱料ヲ請求スル者ハ前條ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類ヲ以テ其ノ事實ヲ證明スヘシ

- 一 傷疾又ハ疾病ノ職務ニ起因シタル事實ヲ認ムヘキ證據書類
- 二 醫師ノ診斷書

第四條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依リ扶助料ヲ受クヘキ遺族ハ戶籍謄本及第五條乃至第九條ノ書類ヲ添付シ巡査タリシ者ノ最終ノ本屬廳府縣長官ニ請求スヘシ

第五條 退隱料ヲ受ケタル後死亡シタル者ノ遺族ニシテ扶助料ヲ請求スルモノハ死者ノ受ケタル退隱料證書ヲ添付スヘシ

第六條 扶助料ヲ受クル者死亡シ又ハ權利消滅シタルトキ其ノ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ前者ノ扶助料證書ヲ添付スヘシ

第七條 重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタルニ因リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其ノ事實ヲ證明スヘキ

確定裁判ノ謄本ヲ添付スヘシ

第八條 六箇月以上行方不明トナリタルニ因リ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其ノ事實ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ添付スヘシ

第九條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法第十條若ハ第十三條ニ當リ扶助料ヲ請求スル者ハ自活スルコト能ハサル事實ニ付テハ市町村長ノ證明書、篤疾癱疾ニ付テハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

第十條 廳府縣長官ニ於テ退隱料扶助料若ハ一時金ノ支給ヲ許可シタルトキハ證書ヲ作り之ヲ本人ニ下付スヘシ

第十一條 退隱料及扶助料ハ其ノ年額ヲ四分シ四月、七月、十月、一月ニ於テ其ノ前三箇月分ヲ支給ス但シ退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シ又ハ權利消滅シ若ハ停止ノトキ及一時支給ノ金額ハ期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第十二條 退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者死亡シ若ハ權利消滅シタルトキハ其ノ遺族又ハ本人ヨリ之ヲ給與テ行フ廳府縣長官ニ届出ヘシ

第十三條 退隱料又ハ扶助料證書ヲ亡失シタル者ハ給與テ行フ廳府縣長官ニ届出ヘシ

第十四條 前項ノ届出ヲ受ケタル廳府縣長官ハ證書ノ謄本ヲ作り之ヲ本人ニ下付スヘシ

第十五條 前項ノ届出ヲ受ケタル廳府縣長官ハ證書ノ裏面ニ其ノ事實ヲ記載シ長官署名捺印ノ上之ヲ本人ニ下付スヘシ

第十六條 本規程ニ於テ廳府縣長官ニ屬スル事務ハ廢官廢廳ノ場合ニ在テハ事務ノ引繼ヲ受ケタル官廳ニ移ルモノトス

第十七條 巡查看守給助例ニ依リ退職給助、傷痍給助又ハ死亡給助ヲ受クル者若ハ受クヘキ者ハ其ノ給與ノ種類ニ從ヒ退隱料一時金又ハ扶助料ヲ受クル者若ハ受クヘキ者ニ準シ第十一條ヲ除クノ外本令ノ規程ヲ準用ス

第十八條 市制町村制ヲ施行セサル地方ニ於テハ本令ニ於テ市町村長ノ爲スヘキ職務ハ戶長又ハ之ニ準スヘキ者ニ於テ之ヲ行フ

第十八條 本令ハ明治三十四年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ● 巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依ル給與金ノ國庫負擔ニ屬スルモノノ支給方

明治三十八年三月二十七日  
大藏省令第十六號

巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依ル給與金ニシテ國庫ノ負擔ニ屬スルモノノ支給ニ關スル件左ノ通之ヲ定ム

第一條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法ニ依ル給與金ニシテ國庫ノ負擔ニ屬スルモノハ明治三十八年度分ヨリ「大藏省所管ノ經費ヲ以テ退隱料扶助料又ハ一時金ヲ受クル者ノ住所地ノ地方廳ヲ經テ」之ヲ支給ス

第二條 巡查看守退隱料及遺族扶助料法實施ノ後巡查看守給助例ニ依リ内閣恩給局長又ハ臺灣總督ノ發シタル給助金ノ證書ニ對シテハ其年額ヲ四分シ四月七月十月一月ニ於テ其前三箇月分ヲ支給ス但シ權利消滅若クハ停止ノトキハ期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第三條 「退隱料又ハ扶助料ヲ受クル者住所地ヲ轉シタルトキハ官吏恩給法施行規則第九條ノ例ニ依ル」

### ● 地方長官ノ主管ニ屬スル警部補ノ退隱料一時金及遺族扶助料取扱方

明治四十三年三月二十九日  
內務省令第八號

巡查看守退隱料及遺族扶助料法施行令ニ依リ地方長官主管ニ屬スル退隱料及遺族扶助料取扱規程ハ警部補ノ退隱料、一時金及其ノ遺族ノ扶助料取扱ニ關シ之ヲ準用ス

附則

本令ハ明治四十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ● 巡查看守等轉任ノ節滿年賜金支給方

明治十五年一月二十日  
内務省達乙第三號

警視廳 府縣 東京府  
ヲ除ク

巡查監獄看守等經濟ヲ異ニスル向ヘ轉任スル節ハ一旦打切滿年賜金ヲ給スヘク此旨相達候事

### 府縣分合等ノ節ハ巡查看守滿年賜金ヲ支給セス

明治二十六年四月一日  
内務省訓令第四號

府縣 東京府  
ヲ除ク

府縣ノ分合又ハ管轄替ニ依リ巡查看守等甲廳ヨリ乙廳ニ引繼キ勤務スル者ハ勤績トシ明治十五年一月當省達乙第三號ニ依リ滿年賜金ヲ支給スルノ限リニアラス

### 府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員等ノ退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料支給ニ關スル規定ノ件

明治三十三年四月六日  
内務省令第十四號

改正 大正元年一二月内務省令第一九號 三年七月第二二號  
府縣郡ヨリ給料給與ヲ受クル吏員職員ニ對シ府縣郡ニ於テ退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料ノ支給ニ關スル規定ヲ設クルノ必要アルトキハ法律命令中別段ノ規定アルモノヲ除ク外府縣ニ在テハ府縣會ノ議決ヲ經ヘク、郡ニ在テハ郡會ノ議決ヲ經府縣知事ノ許可ヲ受クヘシ

### 縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則施行細則

明治三十九年三月二十九日  
告示第五十七號

改正 大正八年二月告示第一九號

縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則施行細則左ノ通之ヲ定ム

縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則施行細則

第一條 退隱料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料ヲ受クヘキ者ハ其ノ請求書ヲ知事ニ差出スヘシ

第二條 退隱料、退職給與金、死亡給與金請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ但シ退職給與金請求書ニハ戶籍謄本死亡給與金請求書ニハ履歷書ノ添付ヲ要セス

一、在職中履歷書

二、戶籍謄本

退隱料ノ増加ヲ請求スル者ハ前項書類ノ外前ニ受ケタル退隱料證書ヲ添付スヘシ

第三條 公務ニ依リ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退隱料ヲ請求スル者ハ前條ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類ヲ以テ其ノ事實ヲ證明スヘシ

一、事實ヲ認ムヘキ證據書類

二、醫師ノ診斷書

第四條 扶助料請求書ニハ戶籍謄本及左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、退隱料ヲ受ケタル後死去シタル者ノ遺族ニシテ扶助料ヲ請求スル者ハ死者ノ受ケタル退隱料證書

二、扶助料ヲ受クル者死去シ又ハ權利消滅シタルトキ其ノ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ前者ノ扶助料證書

三、扶助料ヲ受クル者公權ヲ停止セラレタルトキ其ノ扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ確定裁判ノ謄本

四、規則第二十八條又ハ第三十條ニ依リ扶助料ヲ請求スル者ハ市町村長ノ證明書及醫師ノ診斷書

第五條 知事ニ於テ第一條ノ請求ヲ許可シタルトキハ證書ヲ作り之ヲ本人ニ下付ス

第六條 退隱料及扶助料ハ其ノ金額ヲ四分シ四月、七月、十月、一月ニ於テ其ノ前三ヶ月分ヲ支給ス但シ死去又ハ權利ノ消滅若ハ停止ノトキ及一時支給ノ金額ハ期月ニ拘ラス之ヲ支給ス

第七條 前條ニ依リ退隱料又ハ扶助料ノ支給ヲ受クヘキ者ハ各支給期月ノ初メニ於テ若ハ支給ヲ受クヘキ事由ノ生シタルトキ規則第十三條第十四條又ハ第二十九條第三十條但書第三十一條第三十二條ノ事實ノ有無ニ關スル市町村長ノ證明書ヲ知事ニ差出スヘシ但シ一時支給ノ金額ニ關シテハ此ノ限ニ在ラス

第八條 規則第十三條第十四條第三十一條第三十二條ニ當リタル者ノ退隱料又ハ扶助料支給ノ終始ハ左ノ各號ニ依ル

- 一 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其ノ失ヒタル日、重罪ノ刑ニ處セラレタルトキハ確定裁判ノ言渡ヲ受ケタル日、失職ニ該當スヘキ現職中ノ所爲確定シタルトキハ其ノ確定ノ日ヲ以テ支給ヲ終ル
- 二 判任以上ノ官ニ任セラレ俸給ヲ受クルトキ又ハ縣經濟ヨリ俸給ヲ受クル縣吏員其ノ他ノ職員ニ採用シタルトキハ俸給ノ受得ヲ始ムル日ノ前日ヲ以テ支給ヲ終リ其ノ退官又ハ退職シタルトキハ俸給ノ受得ヲ終リタル日ノ翌日ヨリ支給ヲ始ム
- 三 公權ヲ停止セラレタルトキハ禁錮ノ刑ニ處セラレ若ハ監視ニ付セラレヘキ確定裁判ノ言渡ヲ受ケタル日ヲ以テ支給ヲ終リ刑期滿限ノ日ノ翌日ヨリ支給ヲ始ム

規則第三十條但書ノ場合ハ前項第二號ノ例ニ準ス

- 第九條 規則第七條ニ掲ケル最下金額十分ノ七マテノ増加退隱料ノ等差ハ左ノ如シ
  - 第一 兩眼ヲ盲シ若ハ二肢以上ヲ亡シタルトキ 十分ノ七
  - 第二 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ六
  - 第三 一肢ヲ亡シ若ハ二肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ五
  - 第四 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ四
  - 第五 一眼ヲ盲シ若ハ一肢ノ用ヲ失ヒタルトキ 十分ノ三
  - 第六 前項ニ準スヘキ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキ 十分ノ二

傷痍疾病ノ等差ハ文官傷痍疾病等差例ニ依ル

第十條 退隱料又ハ扶助料ヲ受ケル者死去シ若ハ權利消滅シ其ノ遺族等ニシテ扶助料ヲ受クヘキ權利ヲ有スル者ナキトキハ退隱料證書又ハ扶助料證書ハ之ヲ回收ス

第十一條 退隱料又ハ扶助料ヲ受ケル者住所ヲ轉シ若ハ氏名ヲ改メタルトキハ知事ニ届出ヘシ但シ氏名ヲ改メタル者ニ在テハ其ノ屆書ニ戸籍謄本若ハ抄本及第五條ノ證書ヲ添付スヘシ

第十二條 退隱料證書又ハ扶助料證書ヲ亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ知事ニ届出ヘシ知事ニ於テ前項ノ届出ヲ受ケタルトキハ證書ノ謄本ヲ作り之ヲ本人ニ下付ス其ノ謄本ハ本證書ト同一ノ效力アレモノトス

### ●縣吏員職員退隱料遺族扶助料増給規則

大正十年一月四日 縣令第一號

縣吏員退隱料遺族扶助料増給規則通常縣會ノ議決ヲ經左ノ通定ム

第一條 大正九年七月三十一日現在ニ於テ縣經濟ヨリ退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受ケ又ハ受クヘキ者ニ對シ本則ノ定ムル所ニ依リ退隱料又ハ遺族扶助料ヲ増額支給ス

第二條 増額支給スヘキ退隱料又ハ遺族扶助料年額ハ左ノ區分ニ依リ加算ス但シ之カ計算方法ハ明治三十九年二月奈川縣令第九號縣吏員職員退隱料遺族扶助料與金死亡給與金遺族扶助料規則ニ依ル

在職最終俸給年額	千貳百圓ヲ超エ參千圓ヲ超エサルモノ	參百六拾圓ヲ超エ千貳百圓ヲ超エサルモノ	拾圓ヲ超エ參百六拾圓ヲ超エサルモノ	參百圓以下ノモノ
加算金額	在職最終俸給年額ノ十分ノ三ニ相當スル金額ニ加ヘタル額	在職最終俸給年額ノ五分ニ相當スル金額ニ加ヘタル額	參百圓	在職最終俸給年額ノ十分ノ二ニ相當スル金額

附則

本則ハ公布ノ日ヨリ施行シ大正九年七月一日以後ノ分ヨリ之ヲ適用ス

●縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則ノ適用ヲ受クヘキ縣吏員職員

大正五年五月九日 告示第九十一號

改正 大正六年五月告示第一二三號、六月第一三三號、九年四月第一五一號、六月第二四六號、一〇年一月第一二號、五月第一六三號、九月第二七九號、一一年九月第二八七號、一二年九月第二七〇號、一三年四月第八七號、六月第二一二號、一四年三月第一五一號

明治三十九年二月神奈川縣令第九號縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則ノ適用ヲ受クヘキ縣吏員職員左ノ通之ヲ定ム  
一 薰育院助手ニシテ大正四年十二月神奈川縣令第六十四號施行以前ヨリ勤続シ現ニ其ノ職ニ在ル者退職ノ場合ハ大正五年三月三十一日退職シタルモノト看做シ同則ヲ適用ス

- 一 學校衛生主事
- 一 社會教育主事
- 一 社會教育主事補
- 一 社會事業主事
- 一 建築技師
- 一 警察技師
- 一 道路工師
- 一 土木工師
- 一 縣書記

- 一 建築技師
  - 一 檢稅吏員
  - 一 小學校教科指導員
  - 一 穀物檢査員
  - 一 警察技師
  - 一 警察通譯
  - 一 警察書記
  - 一 蠶業取締吏員
  - 一 病院調劑員、事務員
  - 一 武術教師
  - 一 船長
  - 一 機關士
  - 一 消毒手
  - 一 道路工手
  - 一 土木工手
- 委任文官又ハ判任文官ト同一ノ待遇ヲ受クル縣吏員職員ニハ縣吏員職員退隱料退職給與金死亡給與金遺族扶助料規則第四章死亡給與金ニ關スル規定ニ限り之ヲ適用ス

●縣吏員職員恩給基金規則

大正五年二月十五日 告示第三十一號

改正 大正一三年二月告示第一八號  
縣吏員職員恩給基金規則左ノ通通常縣會ノ議決ヲ經タリ  
縣吏員職員恩給基金規則

- 第一條 縣吏員職員ノ退隱料遺族扶助料(一時扶助金ヲ除)及恩給法第二十四條第三號該當縣費所屬職員ノ恩給(普及扶助料以下同シ)ニ充ツル爲大正五年度ヨリ縣吏員職員恩給基金ヲ設ケ特別會計トス
- 第二條 縣吏員職員退隱料遺族扶助料與金死亡給與金遺族扶助料規則第一條ノ二及恩給法第五十九條第三項ノ納金ハ之ヲ本會計ニ屬スル恩給基金ニ編入スルモノトス
- 第三條 恩給基金ヨリ生スル收入ハ大正五年度以降三十年間ハ恩給基金トシテ之ヲ蓄積シ該期間滿了ノ翌年度ヨリ其ノ基金ノ收入ヲ以テ退隱料遺族扶助料及恩給ノ支出ニ充ツ
- 前項蓄積期間中ニ於テ支出ヲ要スル退隱料遺族扶助料及恩給又ハ期間滿了後基金收入ヲ以テ支出ニ充テ尙不足ノ場合其ノ不足額ハ縣一般會計ヨリ之ヲ補充ス
- 第四條 恩給基金ハ大藏省預金又ハ確實ナル銀行ニ利付預ケト爲シ若ハ公債證書其ノ他ノ有價證券ニ換ヘ保管スルモノトス

### ●他府縣巡查退隱料及遺族扶助料支給方受託ノ件

明治四十四年七月十四日  
訓令第三十八號

郡役所 市役所

他府縣ヨリ巡查退隱料及遺族扶助料ノ支給ニ際シ其ノ證書ノ檢閱並金券交付方直接囑託ヲ受ケタルトキハ之ニ應ス

### ●巡查退隱料遺族扶助料療治料給助料弔祭料給與手續

明治三十四年十月二十九日  
告示第二百四十九號

本文(本章第二節條給、諸給與ニ輯ム)

## 第四章 兵事

### ●徵兵令

明治二十二年一月二十二日  
律第法一號

改正 明治二十二年一月法律第二十九號、二六年三月第四號、二八年三月第一五號、三七年九月勅令第二一二號、三九年四月法律第四三號、大正七年四月第二四號、八年七月第六一號  
朕徵兵令改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

#### 徵兵令

##### 第一章 總則

- 第一條 日本帝國國民ニシテ滿十七歳ヨリ滿四十歳迄ノ男子ハ總テ兵役ニ服スルノ義務アルモノトス
- 第二條 兵役ハ分テ常備兵役後備兵役補充兵役及國民兵役トス
- 第三條 常備兵役ハ分テ現役及豫備役トス
- 現役ハ陸軍ハ三箇年海軍ハ四箇年ニシテ滿二十歳ニ至リタル者之ニ服シ豫備役ハ陸軍ハ四箇年四箇月海軍ハ三箇年ニシテ現役ヲ終リタル者之ニ服ス
- 第四條 後備兵役ハ陸軍ハ十箇年海軍ハ五箇年ニシテ常備兵役ヲ終リタル者之ニ服ス
- 第五條 補充兵役ハ陸軍ニ在リテハ十二箇年四箇月海軍ニ在リテハ一箇年ニシテ其ノ年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服ス
- 第六條 國民兵役ハ分テ第一國民兵役第二國民兵役トス
- 第一國民兵役ハ陸軍ニ在リテハ後備兵役又ハ召集セラレタル補充兵ニシテ其ノ役ヲ終リタル者海軍ニ在リテハ後備兵役ヲ終リタル者之ニ服シ第二國民兵役ハ常備兵役後備兵役補充兵役及第一國民兵役ニ在ラサル者之ニ服ス
- 第七條 各兵役ノ期限既ニ滿ルト雖モ戰時或ハ事變ニ際スルトキ若クハ臨時ニ演習或ハ觀兵ノ舉アルトキ若クハ航海中或ハ外國駐劄中ハ其期ヲ延スコトアル可シ

第七條ノ二 第十二條又ハ第十三條ニ依ル場合ヲ除クノ外志願ニ由リ兵籍ニ編入セラルル者ノ服役ニ關シテハ勅令ノ定ムル所ニ依ル

前項ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者滿四十歳迄ニ兵籍ヨリ除カルルニ至リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ兵役ニ服ス

第八條 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ハ兵役ニ服スルコトヲ許サス

第二章 服役

第九條 現役兵及補充兵ハ毎年所要ノ人員ニ應ジ壯丁ノ身材藝能職業ニ從ヒ勅令ノ定ムル各兵及雜卒ニ區別シ抽籤ノ法ニ依リ徵集順序ヲ定メ之ニ充ツ

警備隊ヲ置キタル島嶼ノ壯丁近衛師團ニ編入ハ總テ之ヲ警備隊ニ充テ其地ニ於テ服役セシム但在營期限ハ一箇年以内トス

第十條 雜卒ノ現役期限ハ其職務ニ因リ之ヲ短縮スルコトアル可シ但常備兵役ノ全期ハ之ヲ減スルコトナシ

第十一條 抽籤番號ノ順序ニ由リ其年ノ補充兵役所要員ニ超過スル者ハ國民兵役ニ服セシム

第十二條 二十歳ニ至ラスト雖モ滿十七歳以上ノ者ハ志願ニ由リ現役ニ服スルコトヲ得

第十三條 左ニ掲グル者ニシテ陸軍豫備役後備役將校同相當官タルノ希望ヲ有スル滿十七歳以上二十一歳未滿ノモ

ノハ志願ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得此場合ニ於テハ其現役中ノ食料被服裝具等ノ費用ハ自辨トス但費用ノ一部ヲ官給スルコトアル可シ

第一 官立學校ノ別科ヲ除ク 師範學校又ハ中學校ヲ卒業シタル者

第二 勅令ノ定ムル所ニ依リ中學校ノ學科程度ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シ又ハ學校ノ課程ヲ修了シタル者

前項ニ掲グル學校ニ在學スル者ニシテ二十二歳未滿迄ニ卒業又ハ修了シ入營スルコトヲ得ルモノ亦前項ニ同シ

前項ニ依リ志願ヲ爲シタル者ハ卒業又ハ修了迄入營ヲ延期ス

第十四條 二十歳未滿ニシテ師範學校ヲ卒業シタル者又ハ滿二十歳以上ニシテ師範學校ニ在學シ滿二十三歳迄ニ之ヲ卒業スヘキ者ハ一箇年間陸軍現役ニ服セシム

前項ニ依リ現役ニ服スル者ハ其現役中ノ一年現役兵ト稱ス

第一項ノ場合ニ於テ師範學校在校中ノ者ハ卒業迄入營ヲ延期ス

一年現役兵トシテ現役ニ服スヘキ者、其現役中ノ者又ハ其現役ヲ終リタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ之ヲ徵集ス但滿二十一歳以上ノ者ノ徵集ハ抽籤ノ法ニ依ラサルモノトス

第一 滿二十三歳迄ニ師範學校ヲ卒業セサルニ至リタルトキ

第二 師範學校卒業ノ年ニ入營シタル者其現役ヲ終リタル日ヨリ六箇月ヲ經過シタル後ニ於テ小學校ノ教職ニ在ラサルコトアルトキ

第三 師範學校卒業ノ年ニ入營セサル者卒業ノ日ヨリ二箇年ヲ經過シタル後ニ於テ小學校ノ教職ニ在ラサルコトアルトキ

第四 小學校ノ教職ニ就クノ資格ヲ有セサルニ至リタルトキ

一年現役兵ノ現役ヲ終リタル者前項ニ依リ徵集セラレタルトキハ一箇年現役期間ヲ短縮ス

第十五條 現役中殊ニ勤務ニ熟シ品行方正ナル者ハ歸休ヲ命スルコトアル可シ

第十六條 豫備兵後備兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス平常ニ在テハ毎年一度六十日以内勤務演習ノ爲メ之ヲ召集シ又毎年一度簡點呼ヲ爲ス

第十七條 陸軍補充兵及海軍補充兵ハ現役兵ノ補缺ニ充テ又戰時若クハ事變ニ際シ之ヲ召集ス但陸軍補充兵ヲ以テ現役兵ノ補缺ニ充ツルハ其服役ノ初年ニ限ル

陸軍補充兵ハ平常ニ在テ百五十日以内教育ノ爲メ之ヲ召集ス其他勤務演習及簡閱點呼ヲ爲スコト豫備兵ニ同シ  
第十八條 國民兵ハ戰時若クハ事變ニ際シ後備兵ヲ召集シ仍ホ兵員ヲ要スルトキニ限リ之ヲ召集ス

第三章 免役及延期

第十九條 兵役ヲ免スルハ癩疾又ハ不具等ニシテ徵兵検査規則ニ照シ兵役ニ堪ヘサル者ニ限ル  
第二十條 左ニ掲クル者ハ徵集ヲ延期ス次年ニ於テ仍ホ徵集ニ適セサル者ハ國民兵役ニ服セシム  
第一 體格完全且強壯ナルモ身幹未タ定尺ニ至ル者  
第二 疾病中又ハ病後ニシテ勞役ニ堪ヘサル者

第二十一條 禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキ犯罪ノ爲メ豫審若クハ公判中ノ者犯罪ノ爲メ拘禁中ノ者刑ノ執行停止中ノ者又ハ假出獄中ノ者ハ徵集ヲ延期ス  
第二十二條 徵集ニ應スルトキハ其家族自活シ能ハサルノ確證アル者ハ本人ノ願ニ由リ徵集ヲ延期ス其事故三箇年ヲ過クルモ仍ホ止マサル者ハ國民兵役ニ服セシム但分家又ハ絶家廢家再興ノ故ヲ以テ本條ニ當ル者其他自活シ能ハサル事故ヲ作爲シタル者ハ其願ヲ許可セス

第二十三條 一年志願兵トシテ服役スヘキ者ニシテ勅令ノ定ムル所ニ依リ修業年限三箇年以上ノ專門學校若クハ之ト同等以上ト認ムル學校又ハ高等學校ニ在スルモノニ對シテハ本人ノ願ニ由リ其學校ノ修業年限ニ應シ滿二十七歲迄入營ヲ延期ス  
一年志願兵トシテ服役スヘキ者其服役ヲ爲ササルトキハ之ヲ徵集ス但滿二十一歲以上ノ者ノ徵集ハ抽籤ノ法ニ依ラサルモノトス

第二十三條ノ二 滿二十歲ニ至ラサル前ヨリ露國領沿海州、露國領薩哈連、支那、香港及澳門以外ノ外國ニ在ル者ニ對シテハ本人ノ願ニ由リ滿三十七歲迄徵集ヲ延期ス  
前項ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者延期ノ事由消滅シタルトキハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集シ滿三十七歲ヲ過キタルトキハ國民兵役ニ服セシム

第二十三條ノ三 第七條ノ二第二項ニ依リ兵役ニ服スヘキ者又ハ第十四條第五項若クハ前條第二項ニ依リ徵集セラレヘキ者ニシテ滿二十七歲迄ノモノハ志願ニ由リ一箇年間陸軍現役ニ服スルコトヲ得此場合ニ於テハ第十三條ヲ適用ス

前項ニ依リ志願ヲ爲シタル者ニ對シテハ第二十三條第一項ニ依リ延期ヲ爲サス  
第二十四條 餘人ヲ以テ代フ可カラサル職務ヲ奉スル官吏及市町村長、助役及收入役ハ豫備兵後備兵ニ在ルト陸軍補充兵ニ在ルトトキ間ハ勤務演習簡閱點呼ノ爲メ召集スルコトナシ  
法律ヲ以テ設立シタル議會ノ議員其開會中亦同シ

第四章 雜則  
第二十五條 第三條第二項、第十二條、第十三條第一項第二項第四項、第十四條、第五項但書、第二十三條第二項但書及第二十三條ノ三第一項ニ掲クル年齢ハ十二月一日ニ於ケル年齢トス

第二十五條ノ二 毎年一月一日ヨリ十一月三十日迄ニ滿二十歲ト爲ル者ハ其年一月中ニ、十二月一日ヨリ同月三十一日迄ニ滿二十歲ト爲ル者ハ翌年一月中ニ書面ヲ以テハ禁止者ナルトキハ戶主ノ法定代理人ヨリ本籍ノ市町村長ニ届出ツ可シ但現役ヲ終ヘタル者又ハ現役中ノ者ニ付テハ此限ニ在ラス

第十四條第五項、第二十三條第二項若クハ第二十三條ノ二第二項ニ該當スル者又ハ第二十三條第一項ニ依リ延期ノ事由止ミタル者ハ十四日以内ニ書面ヲ以テ本籍ノ市町村長ニ届出ツ可シ  
第二十六條 徵集ハ本籍所在ノ徵集區ニ於テスルモノトス

第二十七條 疾病又ハ犯罪等ノ爲メ期限ニ際シ入營シ難キ者ハ翌年之ヲ徵集ス  
第二十八條 兵役ヲ免レンカ爲メ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒ又ハ逃亡若クハ潛匿シタル者又ハ正當ノ事故ナク身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

第二十九條 服役年期ノ計算ハ現役豫備役補充役及海軍後備役ニ在テハ各其役ニ就ク年ノ十二月一日ヨリ陸軍後備役ニ在テハ其役ニ就ク年ノ四月一日ヨリ起算ス但第七條ニ依リ延期シタルモノト雖モ服役年期ノ計算ハ延期セサル者ニ同シ  
第十三條ニ依リ服役スル者ノ現役豫備役後備役年期又ハ一年現役兵ノ現役年期ハ前項ニ依ラス勅令ヲ以テ定ムル日ヨリ起算ス

現役中六年未滿ノ徵役若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ逃亡シタル者其刑期中及逃亡中ノ日數ハ現役年期ニ算入セラル者ニ同シ  
第一編 警務 第四章 兵事  
一一七六



ス其豫備役年期ハ現役ヲ終ル年ヨリ起算シ陸軍ニ在テハ第六年目ノ三月三十一日迄海軍ニ在テハ第五年目ノ十一月三十日迄トス但第十條ニ依リ現役年期ヲ短縮シタルモノハ其現役ヲ短縮シタル場合ニ於ケル豫備役年期ニ應ジ本項ニ準シテ計算ス

豫備役後備役及補充役中犯罪ノ爲メ又ハ正當ノ事由ナクシテ召集ヲ缺キタル者其召集ヲ缺キタル年ハ服役年期ニ算セス

第二十九條ノ二 本令中市町村長トアルハ勅令ヲ以テ指定スル市ニ在リテハ區長、市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者トス

第五章 罰則

第三十條 第二十五條ノ二第一項ノ届出ヲ爲ササル者ハ科料ニ處ス

第三十條ノ二 第二十五條ノ二第二項ノ届出ヲ爲ササル者及正當ノ事故ナクシテ身體ノ検査ヲ受ケサル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ三圓以上ノ科料ニ處ス

第三十一條 兵役ヲ免レンカ爲メ逃亡シ又ハ潛匿シ若クハ身體ヲ毀傷シ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ用ヒタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

附 則(大正七年法律第二十四號)

本法ハ大正八年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス

本法ノ適用ニ付テハ舊刑法舊陸軍刑法又ハ舊海軍刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、其ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者、其ノ公權ノ剝奪又ハ停止ヲ附加スヘキ重罪ノ爲豫審又ハ公判中ノ者ハ禁錮以上ノ刑ニ該ルヘキ犯罪ノ爲豫審又ハ公判中ノ者ト看做ス

本法施行ノ際舊法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ徵集猶豫中ノ者ノ其ノ事故ニ依ル徵集猶豫及其ノ事故止ミタル場合ニ於ケル届出ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

本法施行ノ際舊法第二十三條第一項ノ規定ニ依リ徵集猶豫中ノ者又ハ從前ノ規定ニ依リ一年志願兵タルノ資格ヲ有スル者ノ一年志願兵ノ志願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

前二項ニ掲クル者ノ外本法施行ノ際徵集猶豫ヲ受クルコトヲ得ル學校ニ在学中ノ者ノ其ノ事故ニ依ル徵集猶豫及其ノ事故止ミタル場合ニ於ケル届出並一年志願兵ノ志願ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

前二項ノ規定ニ依リ一年志願兵ヲ志願シタル者ハ本法ニ依リ一年志願兵ヲ志願シタル者ト看做ス

本法施行ノ際師範學校ニ在学中ノ者又ハ從前ノ規定ニ依リ六週間現役兵タル資格ヲ有スル者ハ仍從前ノ規定ニ依リ之ヲ六週間陸軍現役ニ服セシム

前項ノ規定ニ依ル六週間陸軍現役ヲ終リタル者又ハ其ノ服役中教職ヲ罷メタル者ノ服役ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

本法施行ノ際一年志願兵若ハ六週間現役兵タル者又ハ其ノ服役ヲ終リタル者ノ服役ニ關シテハ仍從前ノ規定ニ依ル六週間陸軍現役中ノ者又ハ其ノ服役ヲ終リタル者滿二十八歳迄ニ教職ヲ罷ムルトキハ十四日以内ニ本籍ノ市町村長ニ届出ツヘシ

前項ノ市町村長ニ付テハ第二十九條ノ二ノ規定ヲ準用ス

第三項、第五項又ハ第十項ノ届出ヲ爲ササル者ノ罰第三十條ノ二ニ同シ

從前ノ規定ニ依リ徵集ヲ猶豫セラレタル者ヲ徵集スル場合ニ於テハ抽籤ノ法ニ依ラスシテ之ヲ徵集ス

本法施行ノ際露國領沿海州、露國領薩哈噠、支那、香港及澳門以外ノ外國ニ在リテ徵集猶豫中ノ者ハ第二十三條ノ二第一項ニ掲クル者ト看做シ其ノ者ノ徵集猶豫ノ願出ハ同項ノ規定ニ依ル願出ト看做ス

● 徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程

改正 明治四一年三月陸軍省訓令第九號

明治四十年四月五日 陸軍省訓令甲第一號

徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程左之通定ム

警視廳 道廳 府縣

第一條 警視總監及地方長官ハ隨時所轄内ノ島司、郡長、市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊

第一編 警務 第四章 兵事

長ヲシテ徵兵終決處分未済者及徵兵相當者ニシテ所在不明ナル者ノ調査ヲ爲サシムヘシ

第二條 地方長官ハ毎年所轄内ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分未済者ノ原籍氏名生年月日ヲ官報ニ掲載スヘシ

前項ノ徵兵終決處分未済者ニシテ死亡、徵兵處分済、滿四十歳超過等ノ爲爾後調査ヲ要セサルトキ前項ニ同シ

第三條 警視總監及地方長官ハ第一條ノ調査ニ關シ絶エス相互ニ聯絡ヲ保持シ且必要ノ事項ハ時機ヲ失セス所轄内ノ官公署ニ通知シ又ハ之ヲシテ報告若ハ通報セシムヘシ

第四條 第一條ノ調査ニ關シテハ左ノ各項ニ依ルノ外時機ヲ利用シテ適當ノ手段ヲ採ルヲ要ス

一 島司、郡長、市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊長ハ所轄内ニ本籍ヲ有スル所在不明ノ

徵兵終決處分未済者ニ對シテハ本人ノ鄰佑親戚其ノ他心當リノ者ニ就キ平素ノ行動行先キ等ヲ調査シ又ハ親

戚ヲシテ捜査セシメ其ノ端緒ヲ得タルトキハ必要ノ事項ヲ具シ直ニ當該地ノ市町村長、警察署長、警察分署

長、憲兵隊長又ハ憲兵分隊長ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタル市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊長ハ直ニ捜査ヲ爲シタル上相

當ノ處置ヲ爲シ且通知ヲ爲シタル官公署ニ通知スヘシ

二 島司、郡長、市町村長、警察署長、警察分署長、憲兵隊長、憲兵分隊長ハ第二條第一項ニ依リ官報ニ掲載シ

タル者ノ所在ヲ發見シタルトキハ直ニ關係ノ官公署ニ通報シ且其ノ踪跡ヲ失セサルノ手段ヲ採ルヘシ

前項ノ外所轄内ニ本籍ヲ有セサル現住者ニシテ故ナク徵兵終決處分ヲ受ケスト認ムル者アルトキハ直ニ之ヲ

本籍地ト認定シタル市町村長ニ通知スヘシ

三 市町村長ハ毎年一月其ノ年ノ壯丁名簿ニ編入スヘキ者(前年假決ノ者ヲ含ム)ノ在不在ヲ調査シ其ノ不在者ニ對シテハ

戸主又ハ家事擔當者若ハ親戚ヲシテ捜査ヲ爲サシムヘシ

第五條 第一條ノ調査ヲ爲スニ際シテハ鐵山、工場其ノ他壯年者ノ集團スル場所ニ對シテハ特ニ注意ヲ加フルヲ要

ス

第六條 本規程ノ實行ニ關シ必要ナル細則ハ警視總監及地方長官之ヲ定ム

第七條 本規程中郡長トアルハ北海道ニ在リテハ支廳長、市長トアルハ東京市、京都市、大阪市、北海道及沖繩縣

ニ在リテハ區長、町村長トアルハ町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ該當ス

附 則

所在不明ノ徵兵終決處分未済者調査ニ關スル從前ノ訓令ハ之ヲ廢止ス

明治三十五年以後明治三十九年以前ニ係ル所在不明ノ徵兵終決處分未済者ニ關シテハ本年ニ於テ第二條第一項ノ手

續ヲ爲スヘシ

明治三十四年以前ニ係ル所在不明ノ徵兵終決處分未済者ニ關シテハ明治四十一年中ニ第二條第一項ノ手續ヲ爲スヘ

シ

● 徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程

明治四十年七月二十三日  
訓令第四十號

改正 明治四一年四月訓令第二五號

郡役所 警察署 警察分署 市役所 町村役場

徵兵處分ヲ受クヘキ所在不明者調査規程左ノ通之ヲ定ム

第一條 郡長、警察署長、分署長、市町村長ハ隨時徵兵終決處分未済者及徵兵相當者ニシテ所在不明ナル者ノ調

査ヲ爲スヘシ

第二條 郡市長ハ所轄内ニ於ケル所在不明ノ徵兵終決處分未済者ノ原籍、氏名、生年月日ヲ調査シ毎年徵兵署閉鎖

後五日限リ當廳ニ報告(第一様式)スヘシ

前項徵兵終決處分未済者ニシテ死亡、徵兵處分済、滿四十歳超過等ノ爲爾後調査ヲ要セサルモノハ毎年徵兵署閉

鎖後五日限リ當廳ニ報告スヘシ

郡市長ハ所在不明ノ徵兵終決處分未済者ノ轉籍ハ其ノ都度當廳ニ報告(第二様式)スヘシ

第三條 郡市長ハ徵兵相當者ノ所在不明ナルモノヲ前條第一項ノ例ニ依リ調査シ毎年二月十五日限リ當廳ニ報告シ

爾後所在發見シタルトキハ其ノ都度報告スヘシ

第四條 第二條ニ依リ調査シタルモノハ官報ニ第三條ニ依ルモノハ神奈川縣公報ニ登載ス

第五條 郡長、警察署長、市町村長ハ第一條ノ調査ニ關シ絶ヘス相互ニ且憲兵隊長又ハ憲兵分隊長トモ聯絡ヲ保持シ時機ヲ失セス處理スヘシ

第六條 第一條ノ調査ニ關シテハ左ノ各項ニ依ルノ外時機ヲ利用シテ適當ノ手段ヲ採ルヲ要ス

郡長、警察署長、市町村長ハ所轄内ニ本籍ヲ有スル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者ニ對シテハ本人ノ隣佑親戚其ノ他心當リノ者ニ就キ平素ノ行動行先キ等ヲ捜査シ又ハ親戚ヲシテ捜査セシメ其ノ端緒ヲ得タルトキハ必要ノ事項ヲ具シ直チニ當該地ノ警察署長、憲兵隊長又ハ憲兵分隊長、市町村長ニ通知スヘシ  
前項ノ通知ヲ受ケタル警察署長、市町村長ハ直チニ捜査ヲ爲シタル上相當ノ處置ヲ爲シ且通知ヲ爲シタル官公署ニ通知スヘシ

二、郡長、警察署長、市町村長ハ第二條及第三條ニ依リ官報及神奈川縣公報ニ掲載シタル者ノ所在ヲ發見シタルトキハ直チニ關係ノ官公署ニ通報シ且其ノ踪跡ヲ失セサルノ手段ヲ採ルヘシ  
前項ノ外所轄内ニ本籍ヲ有セサル現住者ニシテ故ナク徵兵終決處分ヲ受ケスト認ムル者アルトキハ直チニ之ヲ本籍地ト認定シタル市町村長ニ通知スヘシ

三、市町村長ハ毎年一月其ノ年ノ壯丁名簿ニ編入スヘキ者(前年假決者ヲ含ム)ノ不在ヲ調査シ其ノ不在者ニ對シテハ戶主又ハ家事擔當者若ハ親戚ヲシテ捜査ヲ爲サシムヘシ

第七條 第一條ノ調査ヲ爲スニ際シテハ鑛山、工場其ノ他壯丁者ノ集團スル場所ニ對シテハ特ニ注意ヲ加フルヲ要ス

第八條 郡長、警察署長、市町村長ハ名簿(第二條ノ様式)ヲ設ケ之ヲ整理スヘシ

附則  
所在不明ノ徵兵終決處分未濟者捜査ニ關スル從前ノ訓令ハ之ヲ廢止ス  
郡市長ハ明治三十五年以後明治三十九年以前ニ係ル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者ハ第二條ノ例ニ依リ本年八月三十日限り當廳ニ報告スヘシ  
郡市長ハ明治三十四年以前ニ係ル所在不明ノ終決處分未濟者ニ關シテハ本年七月三十一日迄ニ當廳ニ報告(第一條ノ様式)スヘシ

【第一様式】

明治何年ニ於テ生シタル所在不明ノ徵兵終決處分未濟者左ノ如シ

(所在不明ノ徵兵終決處分未濟者中徵兵處分濟、滿四十歲超過、死亡等ノ爲爾後調査ヲ要セサル者左ノ如シ)

何郡(市)			
本籍	氏名	生年月日	
何市何一ノ二	何某	明治一五、八、三	

本籍區畫ニハ成ルヘク同町村ノモノヲ併記スヘシ	第三條ニ依リ報告スルモノモ亦本表ニ準スヘシ								
【第二様式】									
徵兵終決處分未濟者(徵兵相當者所在不明者)調査名簿									
摘	要	住	所	氏	名	生	年	月	日
所在發見年月日及其ノ事實									

● 徵發令

明治十五年八月十二日  
太政官布告第四十三號

徵發令別冊ノ通制定ス  
右奉 勅旨布告候事  
(別冊)

徵發令

第一條 徵發令ハ戰時若クハ事變ニ際シ陸軍或ハ海軍ノ全部又ハ一部ヲ動カスニ方リ其所要ノ軍需ヲ地方ノ人民ニ賦課シテ徵發スルノ法トス但平時ト雖モ演習及ヒ行軍ノ際ハ本條ニ准ス  
第二條 徵發ハ陸軍若クハ海軍官憲ノ徵發書ヲ以テ之ヲ行フ  
第三條 左ニ記列スル官憲ハ徵發書ヲ出スノ權ヲ有ス  
一 (陸軍卿海軍卿領臺)司令官及ヒ鎮守府長官

二 陸軍ニ於テハ特命司令官軍團長師團長旅團長分遣隊長若クハ演習及ヒ行軍ノ軍隊長  
 三 海軍ニ於テハ特命司令官艦隊司令長官艦隊司令官分遣艦隊長若クハ操練及ヒ航海ノ艦隊司令官又ハ艦長  
 第四條 徵發ス可キモノノ種類ニ依リ徵發區ニ准ス  
 一 第十二條第一項ハ

- 二 第十二條第二項及ヒ第三項ハ
- 三 第十二條第四項以下各項及ヒ第十三條各項ハ
- 四 船舶會社所有ノ船舶及ヒ鐵道會社所有ノ汽車ハ

府 縣  
 郡 區  
 町 村  
 會 社

第五條 徵發ス可キモノハ徵發區内ニ現在スルモノニ限ル  
 第六條 徵發書ハ徵發區ニ從ヒ府知事(縣令)郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ付ス可シ  
 第七條 徵發書ヲ受ケタル府知事(縣令)郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ハ時期ヲ誤ルコトナク其供給ヲ完全セシムルノ責アルモノトス

第八條 各徵發區ニ於テハ臨時徵發ニ應ス可キ便宜ノ方法ヲ豫定ス可キモノトス  
 第九條 徵發ヲ課セラレタルモノハ時期ニ違フコトナク之ヲ供給スルノ義務アルモノトス若シ其時期ニ違フトキハ府知事(縣令)郡區長戸長他ノ方法ヲ以テ調達シ爲メニ生シタル費用ハ本人ヲシテ之ヲ辨償セシム但會社ニ係ルモノハ陸海軍官憲直ニ其處分ヲ爲ス可シ

第十條 徵發ヲ課セラレタルモノノ商用其他ノ事故ヲ以テ供給ヲ拒ミ又ハ供給ス可キモノヲ藏匿シタルトキハ直ニ之ヲ使用スルコトヲ得  
 第十一條 供給ヲ受ケタル陸海軍官憲ハ其受領證票ヲ府知事(縣令)郡區長戸長若クハ停車場長船舶會社ノ店長ニ交付スヘシ

第十二條 徵發ス可キモノノ左ノ如シ  
 一 米麥秣藜鹽味噌醬油漬物梅干及ヒ薪炭  
 二 乘馬馱馬駕馬車輛其他運搬ニ供スル獸類及ヒ器具  
 三 人夫

- 四 宿舍既圍及ヒ倉庫
  - 五 飲水石炭
  - 六 船舶
  - 七 鐵道汽車
  - 八 演習ニ要スル地所
  - 九 演習ニ要スル材料器具
- 第十三條 戰時若クハ事變ニ際シテハ第十二條ノ諸項ニ掲グルモノノ外徵發ス可キモノノ左ノ如シ但平時ノ演習及ヒ行軍ニハ徵發スルコトヲ得ス
- 一 造船所工作所及ヒ軍事ノ工作ニ要スル材料器具
  - 二 職工礦夫洗濯人ノ類
  - 三 被服裝具艸鞋兵器彈藥船具寢具藥劑治療器械及ヒ綳帶
  - 四 水車搗春ノ類
  - 五 病院

第十四條 第十二條第二項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノノ左ノ如シ  
 一 皇族所用ノ車馬  
 二 外國公使館並ニ領事館ニ屬スル車馬  
 三 乘馬本分タル職務ニ要スル馬匹  
 四 郵便用ノ車馬  
 五 公認セラレタル種牛種馬

第十五條 第十二條第四項中徵發ノ免除ヲ受ク可キモノノ左ノ如シ  
 一 公務ニ屬スル邸署  
 二 皇族ノ邸宅  
 三 外國公使館領事館及ヒ其所屬館

第一編 警務 第四章 兵事

- 四 鐵道電信郵便ノ建造物
- 五 陸海軍將校並ニ同等官現住ノ家屬
- 六 博物館書籍館
- 七 病院盲啞院養兒院
- 八 學校但陸戰合圍地境內ニ在リテハ此限ニ在ラス
- 九 製造場内機械室
- 第十六條 第十二條第二項ニ掲グルモノノ使用ハ其原用ヲ轉シテ他用ニ供スルヲ許サス但戰時若クハ事變ニ際シテハ此限ニ在ラス
- 第十七條 第十二條第二項ニ掲グルモノハ其差出場所ヨリ六里未滿ノ地ニ於テ使用スルヲ例トシ一日ノ使用ハ六里ニ越ユルコトヲ得ス但戰時若クハ事變ニ際シテハ六里以外ノ地ニ使用スルコトヲ得
- 第十八條 第十二條第四項ニ掲グルモノハ合圍地境內ヲ除クノ外居住者ノ起隊及ヒ營業ニ必用ナル場所ヲ徵用スルコトヲ得ス但營業ニ必要ナルモ旅店等ハ此限ニ在ラス
- 第十九條 宿舍ノ廣狹ハ其地家屋ノ數ト隊伍ノ編成トニ從ヒ一定シ難シ故ニ臨時適宜ニ之ヲ定ム
- 第二十條 第十二條第四項ニ掲グルモノハ陸軍若クハ海軍ノ都合ニ依リ特ニ其場所ヲ指定スルコトアル可シ
- 第二十一條 宿舍ヲ定メタルノ後ハ區町村ノ便宜ヲ以テ他ニ移轉セシムルコトヲ許サス廐園倉庫亦同シ
- 第二十二條 宿舍廐園ノ徵發ヲ課セラレタルモノハ併セテ人馬ノ食飼ヲ供給ス可シ但駐軍三日以上ニ至ルトキハ第四日ヨリ食飼ハ陸軍若クハ海軍ノ自辨トス
- 第二十三條 第十二條第六項ノ徵發ニ係リ其乘載人馬ノ食飼ヲ要スルモノハ併セテ供給セシム
- 第二十四條 第十二條第六項及ヒ第七項ニ掲グルモノハ戰時若クハ事變ニ際シ借切トシテ之ヲ徵用スルコトアル可シ
- 第二十五條 第十二條第二項第六項及ヒ第七項ニ掲グルモノハ其操業者ヲ併セテ徵用スルヲ例トス但時宜ニ依リ各個ニ分別シテ徵用スルコトヲ得
- 第二十六條 第十二條第六項ニ掲グルモノヲ操業者ト各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル但船橋

及ヒ船橋ニ充ツルモノハ此限ニ在ラス

- 第二十七條 第十二條第七項ニ屬スル汽車其屬具鐵道建築所用ノ材料器具及ヒ操業者ヲ各個ニ分別シテ徵用スルハ戰時若クハ事變ノ際ニ限ル
- 第二十八條 第十三條第五項ニ掲グルモノハ陸海軍病院ノ補助トシテ徵用スルヲ例トス但合圍地境內ニ在リテハ全ク明渡サシムルコトヲ得
- 第二十九條 徵發ニ係ルモノハ第三十一條乃至第五十條ニ定ムル所ノ方法ニ從ヒ賠償ス
- 第三十條 徵發物件ヲ差出場所ニ輸送スルハ徵發區ノ義務トシ其輸送賃ヲ支辨セス
- 第三十一條 賠償ハ平時ト戰時トヲ論セス其時々之ヲ支辨スルモノトス但戰時若クハ事變ニ際シ紛擾ノ爲メ延滞シテ三ヶ月ヲ越ユルトキハ年六分ノ割ヲ以テ其利子ヲ付ス
- 第三十二條 賠償ハ徵發區毎ニ一括シテ府知事(縣令)郡區長戸長停車場長船舶會社ノ店長ヨリ之ヲ請求スヘシ
- 第三十三條 徵發物件ノ其使用ノ爲メニ毀損シタルモノハ賠償ス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス
- 其毀損ハ持主若クハ操業者ヨリ速ニ其地ニ在ル陸海軍官憲若クハ戸長ニ届出可シ其届出ハ徵用濟引渡ノ後左ノ期限ヲ超ユ可カラス若シ其期限ヲ越ヘ又ハ期限内持主若クハ操業者ニ於テ使用セシトキハ無効トス
- 一 西洋形船舶 七日間
- 二 地所 評價委員ノ告示スル時日間
- 三 其他ノ物件 一日間
- 第三十四條 第十二條第一項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地市場ノ前三ヶ年間ノ平均價ヲ取リ之ヲ定ム其平均價ノ取リ難キモノハ評價委員ノ評定ニ任ス
- 第三十五條 第十二條第二項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其郡區平常ノ賃價トス但物件ト操業者トヲ各個ニ分別シテ徵用シタルトキハ其郡區平常ノ雇賃及ヒ借賃ニ准シテ賠償ス
- 第三十六條 第十二條第二項ノ徵發ニ係ルモノヲ宿泊セシメ連日使用スルトキ及ヒ六里以外ノ地ニ於テ使用スルトキハ第三十二條ノ例ニ拘ハラズ賃價ノ半額ヲ前給シ宿泊食飼ヲ官給ス但此場合ニ於テハ賃價ノ四分ノ一ヲ減ス

- 第三十七條 第十二條第二項及第六項ニ掲タルモノヲ買上ケルトキハ勿論其他使用ノ都合ニ依リ價格ノ確定ヲ要スルトキハ其金額ヲ定メ置ク可シ其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス
- 第三十八條 第十二條第三項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五條ニ准シテ賠償シ第三十六條ヲ適用ス
- 第三十九條 第十二條第四項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ陸海軍省ニ於テ之ヲ定ム
- 第四十條 第十二條第五項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ其地平常ノ代價トス
- 第四十一條 第十二條第六項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノ、外左ノ區別ニ從フ
  - 一 出船ノ定時アリテ定路ヲ航スルモノハ平常ノ定賃
  - 二 定路ヲ航スルモ特ニ出船時日ヲ命シタルトキハ其乘載量五分ノ三ニ滿チタル以上ハ前項ノ例ニ准ス若シ之ニ滿タサルモ五分ノ三ニ値ル平常ノ定賃
  - 三 出船及ヒ航路ノ定メナクシテ定賃ナキモノ又ハ運送ヲ以テ營業トセサルモノ等其賠償金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定額
- 第四十二條 第二十四條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者平常ノ給料航泊實費及ヒ船舶ノ損料トス其損料ハ一ヶ月ニ各船舶買入代價金六十四分ノ一トス
- 第四十三條 第二十六條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料船舶ニハ第四十二條ノ損料トス但船橋及ヒ舳船ニ充テタルモノ、賠償金額ハ第四十一條第三項ニ准ス
- 第四十四條 第十二條第七項ノ徵發ニ係ル賠償金額ハ別ニ命令書アルモノ、外平常ノ定賃トス
- 第四十五條 第二十七條ノ場合ニ於ケル賠償金額ハ操業者ニハ平常ノ給料物件ニハ其地平常ノ代價若クハ損料トス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス
- 第四十六條 第十二條第八項ノ徵發ニ係ルモノハ其植物ニ損害ヲ加ヘ又ハ地形ヲ變更シタルトキニ限り賠償ス其金額ハ評價委員ノ評定ニ任ス
- 第四十七條 第十二條第九項ノ徵發ニ係ル者ハ其地平常ノ代價若クハ相當ノ損料ヲ賠償ス
- 第四十八條 第十三條第一項第三項及ヒ第四項ノ徵發ニ係ルモノハ其地平常ノ代價若クハ損料ヲ賠償ス其金額ニ就キ供給者ト熟議調和セサルトキハ評價委員ノ評定ニ任ス

- 第四十九條 第十三條第二項ノ徵發ニ係ルモノハ第三十五條ニ准シテ賠償シ第三十六條ヲ適用ス
- 第五十條 第十三條第五項ノ徵發ニ係ルモノハ通常患者ノ例ニ從フテ賠償ス全ク明渡サシムルトキハ第三十九條ノ例ニ准ス
- 第五十一條 徵發ヲ拒ミ或ハ忌避シ或ハ漫リニ使役ヲ離レタルモノ及ヒ之ヲ教唆誘導シタルモノハ一月以上一年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處〔シ〕三箇以上三十箇以下ノ罰金ヲ附加〔ス〕
- 第五十二條 徵發ノ命令ヲ受ケタル府知事〔縣令〕郡區長戸長停車場長船舶會社ノ店長其處置ヲ爲ササルモノハ二月以上二年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處〔シ〕貳拾圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加〔ス〕其懈怠ニ出ルモノハ貳拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第五十三條 徵發書ヲ出スノ權ヲ有スル官憲安ニ徵發書ヲ出シ又ハ其權ヲ有セサル官憲徵發書ヲ出シタルトキハ一年以上四年以下ノ〔輕禁錮〕ニ處〔シ〕將校ハ剝官ヲ附加〔ス〕

### ●馬匹徵發事務細則

大正四年三月十一日  
陸軍省令第四號

改正 大正五年一〇月陸軍省令第一〇號、九年八月第二七號、一四年四月第八號

馬匹徵發事務細則左ノ通改正ス

馬匹徵發事務細則

#### 第一章 總則

- 第一條 本則ハ動員ノ爲師團ニ於テ行フ馬匹徵發ニ關スル準備及實施ノ事務ヲ規定スルモノトス
- 第二條 馬匹ノ徵發ハ別表ニ示ス徵馬管區ニ從テ之ヲ行フ
- 第三條 徵馬管區内ノ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發ノ準備及實施ニ關シテハ本則ニ依ルノ外尙當該管區ヲ管轄スル師團長ノ規定スル所ニ從フヘシ
- 第四條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方官衙公署ニ於ケル馬匹徵發準備ノ整否ヲ檢閲シ又ハ聯隊區司令官及其ノ他部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ

第五條 地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ馬匹徵發事務ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシム

第六條 師團長、地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長前二條ノ檢閲ヲ爲シ又ハ爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

第七條 師團長馬匹徵發事務ニ關シ規程ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ

第八條 陸軍召集令第十四條乃至第十六條ノ規定ハ本則ニ之ヲ準用ス

第二章 徵發準備

第九條 馬匹徵發事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ遺漏ナク計畫準備シ徵發實施ニ當リ支障ナカラシムルコトヲ要ス

第十條 馬匹徵發擔任ノ官吏公吏ニ於テ馬匹徵發ニ關シ準備シタル書類ハ馬匹ノ異動ヲ知りタル毎ニ直ニ訂正シ諸官衙公署ニ關係アルモノハ其ノ異動ヲ該官衙公署ニ報告又ハ通報スヘシ

第十一條 師團長ハ徵發馬匹差出場所ニ於テ馬匹ノ檢査ヲ爲シ且該所ニ於ケル徵發及輸送ノ事務ヲ掌ラシムル爲馬匹徵發委員ヲ設ケ又徵發馬匹陸路輸送中ニ於ケル宿泊及給養ノ事務ヲ掌ラシムル爲馬匹給養委員ヲ設ケヘシ

第十二條 師團長ハ關係アル地方長官、憲兵隊長及徵發馬匹管區内ノ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出場所一覽表及徵發馬匹宿泊日割表ヲ送付シ鐵道(船舶)搭載及卸下地並給養停車場ノ地名ヲ通知スヘシ

第十三條 師團長ハ徵發馬匹管區内ノ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出日割表ヲ送付シ同郡市長ニ同表及馬匹徵發書ヲ送付シ且馬匹徵發準備ニ關シ必要ナル事項ヲ指示スヘシ

第十四條 地方長官第十二條ノ規定ニ依リ書類ノ送付及通知ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ必要ナル事項ヲ關係アル郡市長、警察署長及同分署長ニ指示スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及同分署長ヘノ指示ハ警視總監之ヲ爲スモノトス

第十五條 地方長官警視總監 徵發馬匹差出場所、同宿泊所及輸送ニ關スル所要ノ設備、人馬給養ノ準備並之ニ伴フ經費ノ積算等ニ關シ師團長ヨリ要求アルトキハ郡市長ヲシテ之カ計畫ヲ爲サシムヘシ

第十六條 憲兵隊長第十二條ノ規定ニ依リ書類ノ送付及通知ヲ受ケタルトキハ之ニ基キ必要ナル事項ヲ關係アル憲兵分隊長ニ指示スヘシ

第十七條 郡市長第十三條ノ規定ニ依リ徵發馬匹差出日割表ノ送付ヲ受ケタルトキハ指定ノ期日ニ於テ指定ノ馬數ヲ確實ニ差出シ得ヘキ準備ヲ爲スヘシ但シ郡長ニ在リテハ馬匹調査及檢査施行規則第七條ニ規定スル馬調査表ニ基キ徵發馬數ヲ町村ニ配當シ之ヲ町村長ニ送スヘシ

第十八條 郡市長第十三條ノ規定ニ依リ馬匹徵發書ノ送付ヲ受ケタルトキハ確實ニ之ヲ保管スヘシ

第十九條 郡市長馬匹ノ異動ニ依リ師團長ノ指示シタル馬數ヲ差出シ能ハサルコトヲ豫知シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ師團長ニ報告シ指示ヲ請フヘシ

第二十條 憲兵分隊長、警察署長及同分署長第十四條又ハ第十六條ノ指示ヲ受ケタルトキハ徵發馬匹差出場所、同宿泊所、鐵道(船舶)搭載卸下地及給養停車場其ノ他必要ナル地ニ憲兵又ハ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ但シ憲兵ヲ派遣スルハ概ネ其ノ屯在地ニ限ルモノトシ其ノ派遣シアル地ニ在リテハ警察官吏ハ豫メ之ト協議スヘキモノトス

第二十一條 郡市町村長ハ馬匹徵發事務ニ關シ馬匹徵發實施業務書ヲ作り之ニ動員實施ニ當リ業務擔當者ノ行フヘキ業務ヲ記入スヘシ

前項ノ業務書ハ業務擔當ノ區分毎ニ別冊ト爲シ各業務擔當者カ動員實施ニ當リ他ノ條規表面等ヲ參照セサルモ其ノ業務ヲ實施シ得ヘク且業務擔當者ノ臨時交代スルコトアルモ業務ノ實施ニ支障ナキ如ク調製スヘシ

業務書ニ記入スヘキ業務ハ業務分擔ノ情況ニ依リ前項ニ準シ召集實施業務書中ニ區分シテ記載スルコトヲ得

憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長モ亦前各項ニ準シ馬匹徵發實施業務書ヲ調製シ又ハ召集實施業務書

中ニ其ノ業務ヲ記載スヘシ

第三章 徵發實施

第二十二條 馬匹ノ徵發ハ當該師團動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十三條 動員令ノ通達ニ關シテハ左記各號ニ依ルモノトス

一 充員召集ト同時ニ馬匹ヲ徵發スヘキ場合及師管内ニ在リテ馬匹ノミヲ徵發シ又ハ徵發馬匹差出場所、同宿泊所ノミヲ設置シ若ハ馬匹輸送及人馬給養ノ設備ノミヲ爲スヘキ場合ニ於テハ陸軍召集令第二十四條乃至第二十八條ノ規定ニ依ル

二 師管外ノ徵馬管區及師管外ニ在リテ徵發馬匹差出場所、同宿泊所ノミヲ設置シ又ハ馬匹輸送及人馬給養ノ設備ノミヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル郡市長ニ對シテハ師團長之ヲ達ス

三 前號ニ依リ動員令ヲ達シタルトキハ師團長ハ之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知シ地方長官ハ之ヲ警察署長及同分署長ニ、憲兵隊長ハ之ヲ憲兵分隊長ニ達ス但シ東京府ニ在リテハ警察署長及同分署長ヘノ達ハ警察總監之ヲ爲スモノトス

陸軍召集令施行細則第四條及第五條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十四條 郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ指定ノ動員區分及其ノ保管スル馬匹徵發書ニ基キ徵發馬匹差出日割表ノ指示スル到着期日ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ差出日次ヲ定メ郡長ニ在リテハ速ニ馬匹徵發通達書<sup>第一</sup>ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ町村長ニ達シ市長ニ在リテハ第二十五條ニ準シ馬匹徵發告知書ヲ馬匹所有者ニ交付スヘシ

第二十五條 町村長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ第十七條ノ規定ニ依リ達セラレタル事項ニ基キ速ニ馬匹徵發告知書<sup>第二</sup>ニ所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ馬匹所有者ニ交付スヘシ

馬匹調査及檢査施行規則第二十八條及第三十條ノ規定ニ依リ馬匹所有者管理人又ハ總代人ヲ置キタルトキハ前項告知書ハ管理人又ハ總代人ニ對シ之ヲ交付スルコトヲ得此ノ場合ニ在リテハ交付ヲ受ケタル管理人又ハ總代人ハ速ニ之ヲ馬匹所有者ニ通報シ馬匹徵發ニ應スヘキ措置ヲ爲スヘシ

第二十六條 陸軍召集令施行細則第六條ノ規定ハ前二條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十七條 馬匹徵發ノ實施ニ當リ其ノ事務ニ係ル文書ヲ發送スルニハ動員用封筒<sup>第三</sup>ヲ用フヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位置ニ受領日時ヲ記入シ記名捺印ノ上返付スヘシ

馬匹徵發告知書ヲ馬匹所有者、管理人又ハ總代人ニ交付スルニハ總テ封筒ヲ用サレモノトス

第二十八條 徵發馬匹差出場所、同宿泊所、馬匹ノ輸送及人馬ノ給養ニ關シ設備ヲ爲スヘキ地ヲ管轄スル郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ豫定ノ計畫ニ從ヒ直ニ所要ノ設備ニ著手シ指定ノ時日ニ其ノ完成ヲ期スヘシ又設備ニ關シ馬匹徵發委員若ハ馬匹給養委員ヨリ市町村長ニ要求アルトキハ該市町村長ハ之ニ應スヘキモノトス

第二十九條 市町村長第二十四條及第二十五條ノ手續ヲ終リタルトキハ應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人ノ氏名、徵發馬匹ノ頭數、徵發馬匹差出場所ノ地名、該差出場所到着期日及時刻ヲ速ニ憲兵及警察官吏<sup>憲兵無キ地ニ在リ</sup>ニ通知スヘシ

第三十條 憲兵分隊長、警察署長及同分署長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ豫定ノ計畫ニ從ヒ部下憲兵警察官吏ヲ派遣シ馬匹徵發委員及馬匹給養委員ト協議ノ上徵發馬匹差出場所等ノ取締ニ任シ又郡市町村長ノ職務執行ニ關シ所要ノ便宜ヲ與フヘシ

第三十一條 郡長第二十四條ノ手續ヲ終リタルトキハ徵發馬匹到着期日前ニ差出場所ニ到着スヘシ

市町村長第二十九條ノ手續ヲ終リタルトキハ徵發馬匹出場所簿<sup>第四</sup>式二通及徵發馬匹名票<sup>第五</sup>式二所要ノ記入ヲ爲シ之ヲ携ヘテ徵發馬匹到着期日前ニ差出場所ニ到着シ町村長ハ徵發馬匹出場所簿二通ヲ郡長ニ差出スヘシ

郡市長ハ前項ノ連名簿一通<sup>市</sup>市長ニ在リテハ徵發馬匹名票ト共ニ<sup>郡</sup>馬匹徵發委員長ニ差出シ當該郡市徵發馬匹ノ檢査ニ立會ヒ馬匹ノ集合ヲ監視スヘシ

町村長ハ徵發馬匹名票ヲ馬匹徵發委員長ニ差出シ當該町村ノ馬匹徵發ニ關シ郡長ヲ補助スヘシ

第三十二條 應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人ハ馬匹徵發告知書ヲ携ヘ馬匹ヲ牽連レ二十四時間ニ陸路約十二里ノ割合ヲ以テ旅行シ市町村長ノ指定スル到着期日及時刻ニ徵發馬匹差出場所<sup>市</sup>町村長ヨリ集合所ヲ指定セラレ上ニ到着シ其ノ旨市町村長ニ届出ツヘシ

第三十三條 應徵馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人其ノ馬匹疾病ノ爲徵發ニ應スルコト能ハサルトキハ告知書ノ交付ヲ受ケタル時ヨリ二十四時間以内ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ以テ現住地ノ市町村長ニ、又應徵ノ途中馬匹



疾病ノ爲徴發ニ應スルコト能ハサルトキ及牽連人ノ事故若ハ道路橋梁等故障ノ爲指定ノ期日及時刻ニ差出場所等ニ到着スルコト能ハサルトキハ速ニ最寄市町村長ニ届出ツヘシ

第三十四條 市町村長前條ノ届出ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ徴發馬匹差出場所ニ在ル馬匹徴發委員町村長ニ在リテ

第三十五條 郡市長馬匹徴發委員長ヨリ採用馬匹ノ爲徴發馬匹受領證票第六乙號及丙號ヲ受ケタルトキハ乙號ハ之ヲ保管シ丙號ハ之ヲ馬匹所有者、管理人又ハ總代人ニ交付スヘシ

第三十六條 採用馬匹ヲ徴發馬匹差出場所ヨリ之ヲ編入スル部隊ノ兵營、厩又ハ乘車停車場若ハ乘船地等ニ至ル迄牽連セシムル爲馬匹ノ操業者ヲ徵用ス

第三十七條 馬匹徴發ニ關スル費用ハ左記各號ニ依リ之カ仕拂ヲ請求スヘシ  
前項馬匹ノ操業者ハ之ヲ口付人ト稱ス

甲 郡市長ヨリ師團長ニ  
一 師團長ノ要求ニ依リ郡市長ノ實施シタル徴發馬匹差出場所、同宿泊所、馬匹輸送及人馬給養ニ關スル設備費

二 官吏公吏等ニシテ徴發事務ニ關シ徴發馬匹差出場所等ニ出張執務シタル者ノ旅費其ノ他官衙公署ニ於テ使用シタル郵便電信料、使丁賃金等總テ徴發實施ニ關スル諸費但シ道廳府縣及警察官署等ノ吏員ニ係ルモノニ在リテハ當該官廳ヨリ之ヲ請求スルモノトス

三 馬匹買上代請求ノ際ハ徴發馬匹受領證票乙號ヲ添付スヘシ

四 採用馬匹輸送途中疾病其ノ他ノ事故ニ依リ地方ニ預託シタルトキ之ニ關スル經費

乙 口付人ヨリ馬匹編入ノ各部隊長ニ  
一 編入部隊ニ馬匹ヲ交付シタル後歸郷スル口付人ノ旅費

二 口付人ノ徵用賃金前給賃金ヲ控

丙 市町村長ヨリ馬匹徴發委員長又ハ馬匹給養委員長ニ  
一 馬匹徴發委員又ハ馬匹給養委員ノ要求ニ依リ市町村長ノ實施シタル徴發馬匹差出場所又ハ徴發馬匹宿泊

所ノ設備費

二 應徴ノ爲徴發區外ニ於ケル馬匹ノ輸送諸費

三 不合格又ハ過剩ノ爲牽歸ラシムル馬匹ノ輸送諸費

四 馬匹採用セラレ徴發馬匹差出場所ヨリ歸郷スル馬匹所有者、管理人又ハ總代人ノ旅費

五 採否未定ニシテ徴發馬匹差出場所ニ滞在ヲ命ジタル馬匹ニ關スル諸費

六 口付人ノ前給賃金本人ノ請求ス

七 採用馬匹ノ輸送途中疾病其ノ他ノ事故ニ依リ地方ニ預託シタル場合該馬匹ノ口付人ヲ歸郷セシムルニ要スル旅費但シ本經費ハ時宜ニ依リ停車場司令官等ニ請求スルコトヲ得

前各號ノ内乙號ノ一、丙號ノ三、同四及同七ニ關シテハ徴發區ノ内外ヲ問ハス差出場所(解備地)ヨリ應徴馬匹ノ所有者、管理人又ハ總代人(口付人)現住地市町村ニ至ル間ニ付支給スルモノトス

第三十八條

前條馬匹徴發ニ關スル費用ノ額ハ左記各號ニ依ルモノトス

一 甲號ノ一及丙號ノ一ノ設備費並甲號ノ四ノ内藥價及診斷料ハ實費トス

二 甲號ノ二ノ旅費ハ左ノ區分ニ依ル

イ 府縣郡ノ官吏ニ係ル旅費ハ内國旅費規則ノ規定ニ依ル但シ警察官吏ニ在リテハ内務省所定ノ警察官吏内國旅費規則ノ規定ニ依ル

ロ 市町村ノ吏員等ニ係ル旅費ハ内務省所管旅費規則ノ規定ニ依ル

三 甲號ノ二ノ使丁賃金ハ實費トス

四 甲號ノ四ノ預託料ハ一頭一日五拾錢以内トス

五 乙號ノ一、丙號ノ四及丙號ノ七ノ旅費ハ陸路ニ在リテハ一里以上十二里迄ヲ一日行程トシ一人一日五拾錢六里未滿ノ鐵道及水路ニ在リテハ汽車賃及船賃ノ實費トス但シ鐵道旅行ニ在リテハ二百哩毎全距離ニ

ノモノハ半額百哩ノ額ニ日當參拾錢ヲ增加ス

六 乙號ノ二ノ徵用賃金ハ一人一日七拾錢トス

- 七 丙號ノ二及丙號ノ三ノ輸送諸費ハ一頭一日壹圓以内トス
- 八 丙號ノ五ノ馬匹ニ關スル諸費ハ滞在翌日ニ五ルトキハ一頭壹圓爾後一日ヲ増ス毎ニ一頭壹圓トス
- 第三十九條 師團長動員實施中及動員完結後復員ニ至ル間ニ於テ馬匹ヲ徵發セムトスルトキ又ハ戰時事變ニ際シ動員令ニ準スヘキ臨時命令ニ依リ馬匹ヲ徵發セムトスルトキハ別ニ聯隊區司令官ニ徵發馬匹差出日割表ヲ達シ郡市長ニ同表及馬匹徵發書ヲ送付スヘシ但シ動員令ニ準スヘキ臨時命令ニ依リ馬匹ヲ徵發スル場合ニ於テ第十三條ノ規定ニ依リ送付シタル書類ヲ以テ之ヲ實施セムトスルトキハ豫メ所要ノ事項ヲ關係アル聯隊區司令官及郡市長ニ達スヘシ

前項馬匹ノ徵發ニ關シテハ本則ヲ準用ス

附則

- 第四十條 本則ハ大正四年九月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 第四十一條 本則ハ馬匹調査及檢査施行規則ヲ實施セサル島嶼ニハ之ヲ適用セス
- 第四十二條 本則施行ノ際郡市役所及町村役場ニ現在スル準備書類ニシテ本則ノ規定スル様式ト異ルモノニ在リテハ適宜訂正ノ上之ヲ使用スルコトヲ得

様式(略ス)

馬匹徵發事務取扱手續

明治三十五年二月二十日 廳訓第十二號

警察署 警察分署

馬匹徵發事務取扱手續左ノ通之ヲ定ム  
右訓令ス

馬匹徵發事務取扱手續

- 第一條 馬匹徵發ニ關スル書類ハ必ス他ノ書類ト類別シ且有効期限ノ年度毎ニ區分シ確實ニ之ヲ保管スヘシ
- 第二條 馬匹徵發ニ關スル秘密ノ書類及之ニ關スル書類ヲ發送スルニハ其封筒上ニハ必ス「軍事秘密」ト朱書シ更ニ

- 之ヲ他ノ封筒ニ納メ此封筒上ニハ宛名ノ傍ニ「至急親展」ノ文字ノミヲ附記スヘシ
- 第三條 馬匹徵發ニ關スル事務ニシテ郡市長及憲兵隊長ト互ニ相關連スル事項ハ毎年三月三十一日マテニ協議計畫シ其事項ヲ知事ニ報告スヘシ但シ其事項ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々本條ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第四條 馬匹徵發事務細則第六條ノ動員用封筒及同細則第三十二條ノ證明書ハ豫メ準備シ置クヘシ
- 第五條 知事ハ警察署警察分署ニ於ケル馬匹徵發ニ關スル事務ノ整否ヲ檢閲シ若ハ部下官吏ヲシテ檢閲セシムルコトアルヘシ

陸軍召集令

大正二年十一月五日 勅令第二百九十九號

改正 大正八年七月勅令第三三九號、一二年一月第二五號、一四年三月第二七號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ陸軍召集令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
陸軍召集令

第一章 總則

- 第一條 在郷軍人及國民兵ノ召集並に在郷軍人ノ簡閱點呼ニ關シテハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 召集ヲ分チテ充員召集、臨時召集、國民兵召集、演習召集、教育召集及補缺召集トス
- 第三條 召集及簡閱點呼ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外在郷軍人及國民兵ノ本籍地所管師團長之ヲ掌ル
- 第四條 將官同相當官ニ對スル召集ノ令達ハ師團長直ニ之ヲ行フ
- 第五條 軍司令官、師團長、旅團長、守備隊司令官、聯隊長、獨立隊長、若ハ之ト同等以上ノ權ヲ有スル軍隊指揮官、要塞司令官又ハ分遣隊長ハ時機切迫交通斷絶シテ命令ヲ請フコト能ハサルトキハ獨斷ヲ以テ充員召集、臨時召集、國民兵召集ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テ該司令官又ハ隊長ハ召集ニ關シ師團長ト同一ノ職權ヲ有ス
- 第六條 召集事務ニ關シ師團長ノ定メタル規程ハ地方長官、憲兵隊長及其ノ所部ノ官吏公吏之ヲ遵行スヘシ

前項ノ規程ニシテ公示ヲ要スルモノニ付テハ明治二十六年勅令第九十九號第一條乃至第三條ノ規定ヲ準用ス

第一編 警務 第四章 兵事

第七條 師團長ハ定期又ハ臨時ニ地方行政廳ノ召集事務ヲ檢閲シ又ハ部下將校ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ  
地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ召集事務ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシムヘシ  
第八條 召集及簡閱點呼ハ令狀ニ依リ之ヲ爲ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ傳達  
ノ方法ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得

召集令狀ニハ召集部隊、到着地及到着日時ヲ指定シ點呼令狀ニハ點呼場及到着日時ヲ指定スヘシ  
演習召集又ハ教育召集中ノ者ニ對シ充員召集又ハ臨時召集ヲ令達スルノ方法ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第九條 應召員令狀又ハ召集ノ傳達ヲ受ケタルトキハ指定ニ從ヒ應召スヘシ  
事故ニ依リ指定ニ從ヒ應召スルコト能ハサル者ニ付テハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第十條 召集ニ應スル爲旅行ヲ爲ス者ニハ旅費ヲ給ス  
簡閱點呼ニ參會スル者ニハ旅費ヲ給ス

第十一條 本令中在郷軍人ト稱スルハ特命休職停職豫備役後備役ノ將校同相當官准士官、豫備役後備役ノ下士卒、  
歸休兵、補充兵及十二月一日以後ニ於テ未タ入營セサル現役兵ヲ謂フ

第十二條 本令中國民兵ニ關スル規定ハ志願ニ依リ國民軍編入ヲ許可セラレタル者ニ之ヲ適用ス

第十三條 本令中應召員ト稱スルハ召集ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第十四條 本令中郡ニ關スル規定ハ郡長ヲ置カサル地ニ在リテハ郡ニ準スヘキモノニ、市ニ關スル規定ハ區長ヲ以  
テ戶籍ニ關スル事務ヲ管掌スル者ト爲シタル市ニ在リテハ區ニ、町村ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セサル地ニ在  
リテハ町村ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第十五條 本令中郡長ニ關スル規定ハ郡長ヲ置カサル地ニ在リテハ郡長ニ準スヘキ者ニ、市長ニ關スル規定ハ區長  
ヲ以テ戶籍ニ關スル事務ヲ管掌スル者ト爲シタル市ニ在リテハ區長ニ、町村長ニ關スル規定ハ町村制ヲ施行セサ  
ル地ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者ニ之ヲ適用ス

第十六條 本令中地方長官ニ關スル規定ハ東京府ニ在リテハ警視總監ニ、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ニ亦之ヲ適用  
ス

第十七條 師團長ハ本令ノ一部ヲ實施スルコト能ハサル島嶼ニ付キ適宜ノ方法ヲ設ケルコトヲ得

第十八條 陸軍大臣ハ朝鮮、臺灣、關東州又ハ滿洲ニ於テ行フヘキ召集及簡閱點呼ニ關シ特別ノ規定ヲ設ケルコト  
ヲ得

第二章 充員召集

第一款 通則

第十九條 充員召集トハ動員ニ當リ諸部隊ノ要員ヲ充足スル爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第二十條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ハ平時之ニ關スル諸件ヲ遺漏ナク計畫準備シ召集實施ニ當リ支障ナカラ  
シムルコトヲ要ス

第二十一條 地方長官ハ第六條ノ規定ニ依ル場合ノ外充員召集ノ準備又ハ實施ニ關シ師團長ヨリ要求ヲ受ケタルト  
キハ之ニ應ジ又ハ自ら召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ爲スヘシ

第二款 充員召集ノ準備

第二十二條 師團長ハ要員ノ配當其ノ他充員召集ノ準備ニ關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ  
聯隊區司令官ハ前項ノ達ニ基キ充員召集名簿及充員召集令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付スヘシ

第三款 充員召集ノ實施

第二十三條 充員召集ハ動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第二十四條 師團長ハ動員令ヲ聯隊區司令官及師團司令部所在地外ニ在ル衛戍司令官ニ達シ且其ノ要旨ヲ關係アル  
地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十五條 聯隊區司令官動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル郡市長ニ達スヘシ

第二十六條 師團司令部所在地外ニ在ル衛戍司令官動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ要旨ヲ其ノ地ニ在ル憲兵分隊  
長又ハ憲兵分遣所長ニ通知スヘシ

第二十七條 憲兵隊長動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ衛戍地外ニ在リテ該動員ニ關係アル憲兵分隊長ニ之ヲ達スヘ  
シ

第二十八條 地方長官動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察署長、警察分署長及區長ヲ以テ戶籍ニ關スル事務ヲ  
管掌スル者ト爲シタル市ノ市長ニ通知スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及警察分署長ヘノ通知ハ警視總監之

第一編 警務 第四章 兵事

ヲ爲スヘシ

第二十九條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送付スヘシ  
市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ町村長前項令狀ノ送付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第四款 充員召集ノ解除

第三十條 充員召集ノ解除ハ復員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アルトキハ復員令ニ依ラス一部ノ召集解除ヲ行フコトヲ得

第三十一條 前條ノ復員令ニ付テハ第二十四條乃至第二十八條ノ規定ヲ準用ス  
第三十二條 郡長復員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第三章 臨時召集

第三十三條 臨時召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ必要アル場合ニ於テ臨時在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ  
第三十四條 充員召集實施後缺員ヲ補充スル場合ヲ除クノ外臨時召集ヲ實施スヘキ時期ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第三十五條 臨時召集事務ニ關シ職責アル者ハ召集實施ニ當リ支障ナカラシムル爲所要ノ準備ヲ整頓シ置クコトヲ要ス  
第三十六條 師團長ハ臨時召集ノ命令ヲ聯隊區司令官ニ對シ且其ノ要旨ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第三十七條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ直ニ臨時召集令狀ヲ作り之ヲ關係アル郡市長ニ送付スヘシ  
郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ  
市町村長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第三十八條 臨時召集ニ關シテハ第二十一條及第三十條乃至第三十二條ノ規定ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第三十九條 國民兵召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ國民兵ヲ召集スルヲ謂フ

第四十條 國民兵召集ハ第四十七條ノ場合ヲ除クノ外動員令ニ依リ之ヲ實施ス

第四十一條 師團長ハ要員ノ配當其ノ他國民兵召集ノ準備ニ關シ必要ナル事項ヲ聯隊區司令官ニ達シ且召集スヘキ國民兵ノ種類及年齡ヲ地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第四十二條 聯隊區司令官ハ前條ノ達ニ基キ國民兵ノ要員ヲ各郡市長ニ配當シ且必要ナル事項ヲ郡市長ニ達スヘシ  
第四十三條 郡長前條ノ配當及達ヲ受ケタルトキハ各町村ニ對シ其ノ當該國民兵ノ總員ニ比例シテ要員ヲ配當シ且必要ナル事項ヲ町村長ニ達スヘシ

第四十四條 市町村長國民兵要員ノ配當及達ヲ受ケタルトキハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ應召員ヲ定メテ國民兵召集令狀ヲ作り之ヲ保管スヘシ

第四十五條 第四十條ノ動員令ニ付テハ第二十四條乃至第二十八條ノ規定ヲ準用ス  
第四十六條 郡長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

市町村長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ  
第四十七條 動員令ニ依リ國民兵召集實施ノ後缺員ヲ補充スルトキ其ノ他必要アルトキハ臨時ニ國民兵召集ヲ實施ス此ノ場合ニ於テハ第三十四條、第三十六條、第四十二條及第四十三條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ聯隊區司令官ハ召集ノ命令ヲ關係アル郡市長ニ達シ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市町村長ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ應召員ヲ定メテ召集令狀ヲ作り之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ  
第四十八條 國民兵召集ニ關シテハ第二十一條、第三十條乃至第三十二條及第三十五條ノ規定ヲ準用ス

第四十九條 陸軍大臣特別ノ事情ニ因リ必要アリト認ムルトキハ國民兵召集ノ手續ニ關シ臨時前九條ノ規定ト異ナル規定ヲ設クルコトヲ得

第五章 演習召集

第五十條 演習召集トハ徵兵令第十六條、第十七條及陸軍軍人服役令第三條、第十六條ノ規定ニ依リ勤務演習ノ爲在郷軍人ヲ召集シ又ハ陸軍補充令第三十七條ノ規定ニ依リ勤務演習ノ爲國民兵役ニ入りタル者ヲ召集スルヲ謂フ  
充員召集ノ演習ヲ爲スノ目的ヲ以テ實施スル演習召集ヲ特ニ臨時演習召集ト謂フ  
第五十一條 臨時演習召集ニ關シテハ陸軍大臣ノ設ケタル規定アル場合ヲ除クノ外第二章第三款及第四款ノ規定ヲ

第一編 警務 第四章 兵事

準用ス

第五十二條 演習召集ノ召集部隊ハ在郷軍人本籍地師管内ニ在ル部隊トス但シ其ノ師管内ニ演習ヲ爲スヘキ部隊ナキトキハ他ノ師管内ニ在ル部隊トス

他ノ師管ニ寄留スル者ハ勤務演習ノ爲寄留地師管内ニ在ル部隊ニ之ヲ召集スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ召集ハ寄留地所管師團長之ヲ掌ル

一年志願兵終末試験ニ及第シ豫備役ニ入りタル者又ハ一年現役兵終末試験ニ及第シ國民兵役ニ入りタル者ヲ士官ニ任スル爲ニ行フ勤務演習ノ召集部隊及近衛師團ニ召集スヘキ者ニ關シテハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五十三條 師團長ハ演習召集ノ期日、人員、部隊及日數ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第五十四條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付スヘシ郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

市町村長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ應召員ニ交付シ又ハ召集傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第五十五條 教育召集トハ教育ノ爲未タ教育セサル補充兵ヲ召集スルヲ謂フ

第五十六條 教育召集ニ關シテハ第五十二條第一項第三項、第五十三條及第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第五十七條 補缺召集トハ平時ニ於テ兵員ノ補缺ヲ要スルトキ臨時歸休兵ヲ召集スルヲ謂フ

第五十八條 補缺召集ハ陸軍大臣ノ命ニ依リ又ハ其ノ認可ヲ得テ師團長之ヲ行フ

第五十九條 師團長ハ補缺召集ノ期日、人員及部隊ヲ聯隊區司令官ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第六十條 補缺召集ニ關シテハ第五十四條ノ規定ヲ準用ス

第六十一條 簡閱點呼トハ豫備役後備役ノ下士兵卒、歸休兵及補充兵ヲ參會セシメテ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第六十二條 簡閱點呼ハ在郷軍人本籍地師管ニ於テ之ヲ行フ

他ノ師管ニ寄留スル者ノ簡閱點呼ハ寄留地師管ニ於テ之ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ簡閱點呼ハ寄留地所管師團長之ヲ掌ル

第六十三條 陸軍大臣ハ簡閱點呼ノ執行ヲ要セスト認メタル者ニ對シテハ其ノ執行ヲ免除スルコトヲ得

第六十四條 僻陬ノ地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ者僅少ナルトキ其ノ他已ムコトヲ得サル場合ニ在リテハ師團長ハ簡閱點呼ヲ省略スルコトヲ得

第六十五條 師團長ハ簡閱點呼ノ時期ヲ定メ之ヲ聯隊區司令官ニ達シ且部下ノ將校ニ簡閱點呼執行官ヲ命スヘシ但シ師團長ハ部下ニ非サル將校ニ當該將校ノ在職スル部隊ノ長ト協議シ簡閱點呼執行官ヲ命スルコトヲ得

第六十六條 聯隊區司令官前條ノ達ヲ受ケタルトキハ點呼場、點呼區域及點呼日割ヲ定メテ師團長ノ認可ヲ受ケ之ヲ地方長官、憲兵隊長、簡閱點呼執行官及郡市長ニ通知スヘシ

第六十七條 地方長官前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ警察署長及警察分署長ニ通知スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察總監之ヲ通知スヘシ

郡長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ通知スヘシ

憲兵隊長前條ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ憲兵分隊長ニ達スヘシ

第六十八條 聯隊區司令官ハ第六十五條ノ達ニ基キテ點呼令狀ヲ作り之ヲ郡市長ニ送付シ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市町村長ハ簡閱點呼ヲ受クヘキ者ニ該令狀ヲ交付シ又ハ點呼傳達ノ手續ヲ爲スヘシ

第六十九條 令狀又ハ點呼ノ傳達ヲ受ケタル者ハ指定ニ從ヒ簡閱點呼ヲ受クヘシ

第七十條 郡市町村長ハ簡閱點呼ニ參列シ簡閱點呼執行官ノ要求アルトキハ其ノ事務ヲ補助スヘシ

郡市町村長ハ點呼參會者ニ訓示ヲ與フルコトヲ得

附則

本令ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師團長ハ必要ト認ムルトキハ本令ノ一部ニ付キ五月以内仍從前ノ規定ニ依ルコトヲ得

陸軍召集條例及明治四十三年勅令第百八十三號ハ之ヲ廢止ス

### ●陸軍召集令施行細則

大正二年十一月五日  
陸軍省令第十一號

改正 大正六年二月陸軍省令第三號、八年七月第二二號、一二年一月第二二號、一四年三月第五號、五月第二三號

陸軍召集令施行細則左ノ通定▲  
陸軍召集令施行細則

#### 第一章 總則

第一條 郡市町村長ハ充員召集、臨時召集及國民兵召集ニ關シ各召集實施業務書ヲ作り之ニ動員又ハ召集實施ニ當リ各業務擔當者ノ行フヘキ業務ヲ記入スヘシ

前項ノ業務書ハ業務擔當ノ區分毎ニ別冊ト爲シ各業務擔當者カ動員若ハ召集實施ニ當リ他ノ條規表面等ヲ參照セサルモ其ノ業務ヲ實施シ得ヘク且業務擔當者ノ臨時交代スルコトアルモ業務ノ實施ニ支障ナキ如ク調製スヘシ

召集實施業務書ニハ召集事務以外ノ動員ニ關スル事務ヲ記入スルコトヲ得

憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長モ亦前各項ニ準シ召集實施業務書ヲ調製スヘシ

第二條 市町村長ハ在郷軍人名簿第一及第一國民兵名簿第一様式ヲ調製スヘシ

第三條 召集擔任ノ官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正シ諸官衙公署ニ關係アルモノハ其ノ異動ヲ該官衙公署ニ報告又ハ通報スヘシ

充員召集、臨時召集及國民兵召集ニ當リ使用スル爲準備セル各種用紙及簿表ニハ平時ニ於テ記入シ得ヘキ不動ノ文字ハ悉ク記入シ置キ且使用ノ目的及記入ノ方法ヲ詳記セル凡例ヲ添付シ置クヲ要ス

第四條 動員令ノ通達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用フルモノトス但シ電話ヲ以テ豫報スルコトヲ得

動員令ノ通達及其ノ返信ノ爲發スル電報様式ハ之ヲ第一種及第二種ニ分チ聯隊區司令官ヨリ郡市長ニ發スルモノ及其ノ返電、國民兵召集ニ於テ郡長ヨリ町村長ニ發スルモノ及其ノ返電ヲ第一種ト爲シ其ノ他ノモノヲ第二種ト爲ス

〔神奈川警〕

動員令ヲ使丁ヲ以テ傳達スルトキ様式ノ行進速度ハ一時間一里ヲ以テ基準トス

電話ヲ以テ動員令ヲ豫報シタルトキト雖電信又ハ使丁ニ依リ迅速ヲ遲延スルコトヲ得ス

陸軍召集令第二十八條ノ規定ニ依ル動員令ノ通知ハ迅速ト確實トヲ害セサル限リ電話ノミチヲ以テスルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送話者並受話者ハ送話ノ全文、通話者相互ノ氏名及通話ヲ終リタル日時ヲ筆記シ置クヲ要ス

師團長ヨリ師團司令部所在地外ノ聯隊區司令官ニ動員令ヲ傳達スルニ當リテハ衛戍司令官アル地ニ在リテハ該官ヲ經由スルモノトス又憲兵分隊長、同分遣所長ニ對スル動員令ノ通達ニ關シ規定ナキモノニ付テハ師團長之ヲ定ムヘシ

第五條 郡市長聯隊區司令官ヨリ電信ヲ以テ動員令ヲ達セラレタルトキ及國民兵召集ニ於テ町村長郡長ヨリ電信ヲ以テ動員令ヲ達セラレタルトキハ直ニ其ノ電報ノ全文ヲ返電スヘシ其ノ他ノ者別ニ規定アルニシテ電信又ハ電話ヲ以テ動員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ全文ヲ文書ヲ以テ返報スヘシ

第六條 充員召集令狀及臨時召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ同令狀及國民兵召集令狀ヲ市町村長ヨリ各人ニ交付スルニハ使丁ヲ用フルモノトス其ノ行進速度ノ基準ハ第四條第三項ニ同シ

第七條 充員召集、臨時召集及國民兵召集ノ實施ニ當リ其ノ事務ニ係ル文書令狀ヲ發送スルニハ動員用封筒様式ヲ用フヘシ其ノ文書ヲ受領シタル者ハ封筒上ニ設ケタル位置ニ受領日時ヲ記入シ記名捺印ノ上返付スヘシ

第八條 市町村長ハ其ノ所管外ニ在郷軍人又ハ國民兵ノ轉籍シタル者アルトキハ在郷軍人ニ在リテハ本人ニ關スル在郷軍人名簿調製上必要ナル事項ヲ又第二國民兵ニ在リテハ單ニ該兵役ニ在ル旨ヲ轉籍地市町村長ニ通知シ第一國民兵ニ在リテハ其ノ戰時名簿ヲ送付スヘシ

第九條 聯隊區司令官ハ演習召集、教育召集、補缺召集及簡閱點呼ノ令狀交付濟ノ者ニシテ召集又ハ簡閱點呼期日以前ニ所管外ニ轉籍シタル者アルトキハ其ノ旨ヲ轉籍地所管聯隊區司令官ニ通報スヘシ

第十條 應召員ノ到者スル地ニ召集事務所ヲ設ク

第十一條 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長ハ各種召集ノ實施及解除並簡閱點呼ノ執行ニ際シ連令者

ナカラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要アルトキハ其ノ狀況ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第十二條 應召員及簡閱點呼ニ參會スヘキ者ノ差出ニヘキ屆、願書ニ添付スル醫師ノ診斷書ニハ病名、原因、經過、

現症、豫後、療法ヲ詳記シ自己ノ傷痍疾病ニ係ル診斷書ニ在リテハ特ニ到着地又ハ點呼場ニ到ルコト能ハサル理

由ヲ明カナラシムルヲ要ス

第十三條 師團長、地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長陸軍召集令第七條ノ檢閲ヲ爲シタルトキ及爲サシメタルトキ

ハ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ

地方長官及憲兵隊長ハ前項ノ報告ト同時ニ其ノ地所管ノ師團長ニ之ヲ通報スヘシ

第十四條 師團長召集事務ニ關シ規程ヲ定メタルトキハ之ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規程ヲ公示シタルトキ亦同

第十五條 本則中何日迄ニ、何日以内ニ又ハ前何日ニ達、通知、送付、差出、報告スヘシトアルハ到達ノ期日ヲ謂フ

第十六條 陸軍召集令中第十一條乃至第十七條ノ規定ハ本則ニ亦之ヲ準用ス

本則中召集通報人ト稱スルハ應召員寄留旅行等ノ爲不在ナルトキ之ニ召集其ノ他軍衙ノ命ヲ傳達スヘキ者タルコ

トヲ聯隊區司令官ニ届出テタル者ヲ謂フ

第二章 充員召集

第一款 充員召集ノ準備

第十七條 聯隊區司令官ハ充員召集名簿及令狀ヲ郡市長ニ送付シタル後該名簿及令狀ニ異動アルトキハ其ノ都度之

ヲ通知シ異動ニ伴ヒ必要ナル令狀ヲ送付スヘシ

第十八條 郡市長聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿及充員召集令狀<sup>第六式</sup>ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ充員召集名簿ニ照校

シ市長ニ在リテハ更ニ之ヲ在郷軍人名簿ニ照校シ動員ノ區分ニ從ヒ郡長ニ在リテハ先ツ動員ノ區分各別ニ袋ニ納

レ保管スヘシ

第十九條 郡市長聯隊區司令官ヨリ充員召集名簿異動ノ通知及其ノ異動ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ市長ニ在リテ

在郷軍人名簿ニ充員召集名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ

照校シタル後

前項ニ依リ訂正ノ結果不要トナリタル令狀アルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第二十條 郡市長在郷軍人ノ死亡其ノ他異動ノ屆書又ハ報告ヲ受ケタルトキハ充員召集名簿及充員召集令狀ヲ訂正

シ其ノ屆書又ハ報告ハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

前項異動ノ結果不要トナリタル令狀ハ屆書又ハ報告ニ添ヘ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

市長ハ在郷軍人ニシテ本籍地外ニ寄留又ハ旅行中ノ者アルトキハ召集通報人ノ住所氏名ヲ記シタル紙片ヲ充員召

集令狀ニ貼附シ置キ復歸シタルトキ之ヲ除去スヘシ

第二十一條 郡市長ハ演習召集、教育召集中ノ者及短期在營ノ現役兵ニシテ入營中ノ者ノ充員召集令狀ニ其ノ召集

又ハ入營期間青色紙<sup>解除又ハ退營</sup>ヲ符箋シ置クヘシ

第二十二條 地方長官<sup>東京府ニ在リ</sup>ハ師團長ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ警察署長及同分署長ニ指示シテ召集事務

所其ノ他必要ナル地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在リテハ警察官吏ヲ

シテ豫メ之ヲ協議セシムヘシ

第二十三條 憲兵隊長ハ師團長ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ憲兵分隊長ニ指示シテ召集事務所其ノ他必要ナル地ニ

部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ召集部隊所在地ニ在リテハ該部隊長ト協議セシムヘシ

第二款 充員召集ノ實施

第二十四條 郡市長動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ニ該當スル充員召集令狀欄外記載ノ到着日次ヲ動員令ニ示ス動

員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ之ヲ令狀表面到着日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ直ニ豫定ノ方法ヲ以

テ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第二十五條ノ規定ニ準シ之ヲ各人ニ交付スヘシ但シ第二十一條ノ規定ニ依リ

青色紙ヲ符箋シアル令狀ハ交付セサルモノトス

汽車汽船ニ乘ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ニハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第二十五條 町村長郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ在郷軍人名簿ニ照校シ鐵道乘車證明書ヲ添ヘ直ニ之ヲ應召員ニ

交付スヘシ

町村長ハ應召員不在ノ爲之ニ令狀ヲ交付スルコト能ハサルトキハ召集通報人ニ交付シ召集通報人ヲ設ケサル不在

者アルトキ又ハ召集通報人不在ナルトキハ其ノ戸主又ハ家族中家事ヲ擔當スル者ニ交付スヘシ  
町村長ハ應召員又ハ前項ノ受領人不在ナルトキハ適當ノ方法ニ依リ應召員ニ令狀ヲ交付シ又ハ召集ノ旨ヲ傳達ス  
ヘシ

第二十六條 令狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ該令狀ニ添付シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印シタル者ハ記名捺  
印直ニ之ヲ返付スヘシ

第二十七條 應召員ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ召集部隊、到着地及到着日時ヲ本人ニ  
通報到着遅延ノ虞アル場合其ノ他必シ其ノ令狀ヲ速ニ交付スルノ處置ヲ爲スヘシ

第二十八條 應召員令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到リ召集事務所ニ届出  
シヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受ケル爲到著遅延ノ虞アル場合ニ於テハ令狀ヲ携フルヲ要セス  
令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタル日時ノ關係上指定ノ日時ニ到着地ニ到ルコト能ハサル者ハ所在地ノ憲兵又ハ警察  
官吏ニ就キ令狀又ハ通報ヲ受ケタル日時及出發日時ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ  
前項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第二十九條 應召員中令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領セル際傷痍疾病ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ聯隊區司令官  
ニ宛テタル届書ニ令狀及醫師ノ診斷書ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差出ス  
ヘシ

應召員中傳染病豫防ノ爲交通遮斷隔離又ハ停留ヲ命セラレ到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ聯隊區司令官ニ宛テタ  
ル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀又ハ通報受領後二十四時間以内ニ之ヲ本籍地市町村長ニ差  
出スヘシ

令狀又ハ通報受領後出發迄ノ間ニ於テ前二項ノ事故ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサルニ至リタル者ハ直ニ前二項ノ  
手續ヲ爲スヘシ

前三項ノ場合ニ於テ寄留地又ハ旅行先ヨリ届出ヲ爲ス者ハ其ノ届書ニ第一項ノ診斷書又ハ第二項ノ證明書及令狀  
ヲ添ヘ直ニ本籍地市町村長ニ宛テ發送スヘシ  
犯罪又ハ所在不明等ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者アルトキハ令狀ヲ受領シタル者ヨリ聯隊區司令官ニ宛テタ

ル届書ニ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書及令狀ヲ添ヘ令狀受領後二十四時間以内ニ本籍地市町村長ニ差出スヘシ

第三十條 前條ノ場合ニ於テ到着地ニ到ルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地市町村長ニ届出ツヘ  
シ

第三十一條 應召員途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ到着遅延ノ虞アルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ直ニ召集部隊長ニ届出  
テ出發シ得ルニ至レハ速ニ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

傷痍疾病ノ外已ムコトヲ得サル事故ニ因リ到着遅延ノ虞アルトキハ其ノ地ノ郡市町村長、憲兵、警察官吏、船長  
又ハ隊長ノ證明書ヲ受ケ到着ノ上召集事務所ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ集合場ニ到着スヘキ者ハ直ニ召集部隊ニ到ルヘシ

第三十二條 應召員非常事變ニ因リ交通遮斷シタル爲到著地ニ到ルコト能ハサルトキハ其ノ旨ヲ最寄部隊ニ  
テハ郡市町村長、憲兵又ハ警察官吏ニ届出ツヘシ

第三十三條 前條ノ届出ヲ受ケタル者ハ適宜ノ處置ヲ爲シ本人ヲシテ到着地ニ到着セシメ得ルニ至レハ證明書ヲ與  
ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到着スヘキ者ニ在リテハ直ニ召集部隊ニ到着セシムヘシ

本人ヲシテ到着地ニ到着セシメ得ルニ至レハ證明書ヲ與ヘ出發セシムヘシ但シ集合場ニ到着スヘキ者ニ在リテハ  
直ニ召集部隊ニ到着セシムヘシ

第三十四條 令狀ノ交付スルコト能ハノ交付ヲ終リタルトキハ直ニ其ノ發送及交付ヲ終リタル月日時及交付人員ヲ市  
長ハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名住所及其ノ召集部隊ヲ速ニ憲兵及警察官吏  
ハ警察官吏ノ通知スヘシ  
全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名住所及事由ヲ市長ハ聯隊區司令官、  
憲兵及警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ



受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取纏メ市長ハ聯隊區司令官ニ送付シ町村長ハ郡長ニ差出シ又其ノ人名住所及事由ハ之ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第三十六條 事故ノ爲到着地ニ到ルト能ハサリシ應召員ヨリ事故止ミタル旨ノ届出アリタルトキハ直ニ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

第三十七條 全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀アルトキハ市長ハ召集期日後十四日以内ニ之ヲ聯隊區司令官ニ送付シ町村長ハ召集期日後七日以内ニ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

第三十八條 市町村長ハ令狀ノ受領證ヲ編綴シ召集期日後六月間保存ノ上之ヲ焼却スヘシ

第三十九條 郡長第三十四條第一項ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時及交付人員並各町村中令狀ノ交付ヲ終リタル最終ノ月日時ヲ直ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十條 郡長第三十四條第三項第四項及第三十五條ノ規定ニ依ル報告、届書及令狀ヲ受ケタルトキハ毎日之ヲ取纏メテ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第四十一條 郡長第三十六條ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十二條 郡長第三十七條ノ規定ニ依ル令狀ヲ受ケタルトキハ召集期日後十四日以内ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第四十三條 郡市長ハ第二十四條第一項但書ニ依リ交付セサル令狀アルトキハ第三十四條第一項又ハ第三十九條ノ規定ニ依ル通知ト共ニ聯隊區司令官ニ送付スヘシ但シ郡長ニ在リテハ其ノ人名短期在營ノ現 町村長ニ達スヘシ

第四十四條 聯隊區司令官ハ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名郡ニ在リテハ役兵ヲ除ク 町村長ニ達スヘシ 郡長ハ前項ノ人名ヲ直ニ町村長ニ達シ且其ノ理由ヲ調査シ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

市町村長第一項ノ通知又ハ前項ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名ヲ直ニ憲兵及警察官吏ニ通知シ且市長ニ在リテハ其ノ理由ヲ調査シ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第四十五條 聯隊區司令官ハ第三十六條又ハ第四十一條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ更ニ令狀ヲ調製シ之ヲ各人ニ交付スヘシ其ノ交付ノ方法ニ關シテハ第三章ノ規定ヲ準用ス

第四十六條 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長ハ勅員令ノ達又ハ通知ヲ受ケタルトキハ豫定ノ召集事務所其ノ他必要ノ地ニ部下憲兵警察官吏ヲ派遣シ應召員等ノ取締ニ任シ且之ニ所要ノ便宜ヲ與ヘシムヘシ但シ其ノ事務ノ執行ニ關シテハ當該召集部隊長又ハ召集事務取扱者ト協議シ又停車場司令部ノ設ケアル停車場ニ在リテハ該司令官ノ指揮ヲ受ケシムヘシ

第三款 充員召集ノ解除

第四十七條 地方長官、憲兵隊長及聯隊區司令官復員令ヲ通達スルニハ電信ヲ用ヒス電話、使丁又ハ郵便ニ依ルチ例トス但シ電話ヲ以テ通達スル場合ニ在リテハ第四條第五項ノ規定ヲ準用ス

第四十八條 復員令ニ依ラズシテ充員召集ヲ解除スヘキ時期ハ特別ノ規定アルモノヲ除クノ外陸軍大臣之ヲ定ム

第四十九條 聯隊區司令官ハ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

郡長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

市町村長第一項ノ通知又ハ前項ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及住所ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第五十條 召集ヲ解除セラレタル者ハ其ノ解除セラレタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地ニ歸郷セサルトキハ本籍地市町村ニ於テ召集其ノ他軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者ニ限ル 未成年者ヲ定メ連署ヲ以テ同期日以内ニ本籍地町村長及郡長又ハ市長ヲ經テ聯隊區司令官ニ届出ツヘシ

前項ニ依リ届出テタル通報人死亡其ノ他ノ事故ニ依リ變更ヲ要スルトキハ前項ニ準シ通報人ヲ定メ十四日以内ニ届出ツヘシ

第三章 臨時召集

第五十一條 郡市町村長ハ平時ヨリ臨時召集令狀ヲナルヘク速ニ送付又ハ交付スヘキ準備ヲ整頓シ置キ令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ直ニ郡長ニ在リテハ之ヲ町村長ニ送付シ市町村長ニ在リテハ第二十五條ノ規定ニ準シ之ヲ各人ニ交付スヘシ

第五十二條 聯隊區司令官ハ特別ノ規程アル場合又ハ必要アル場合ニ在リテハ臨時召集令狀ニ在リテハ臨時召集令狀及臨時召集名簿ヲ調製ノ上前條ノ規定ニ依リ取扱ハサル旨ノ通知ト共ニ之ヲ郡市長ニ送付シ保管セシムヘシ其ノ召集令狀及召集名簿ノ取扱ニ關シテハ第十七條乃至第二十一條ノ規定ヲ準用ス

前項ニ依リ保管スル令狀ニ對シ召集ヲ違セラレタルトキノ取扱ハ第二十四條及第二十五條ノ規定ヲ準用ス

第五十一條ノ三 聯隊區司令官ハ演習召集又ハ教育召集中臨時召集ヲ令セラレタル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知シ郡長ハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第五十二條 郡市長ハ充員召集名簿ニ記載シアル者ニシテ臨時召集ヲ令セラレタル者アルトキハ其ノ充員召集令狀ヲ直ニ聯隊區司令官ニ返付スヘシ

第五十三條 臨時召集ニ關シテハ第二十六條乃至第四十二條、第四十四條、第四十五條及第四十七條乃至第五十條ノ規定ヲ準用ス

第四章 國民兵召集

第五十四條 聯隊區司令官ハ第一國民兵役ニ轉入スヘキ者ノ人名書ヲ毎年十月三十一日迄ニ郡市長ニ送付スヘシ

第五十五條 郡長前條ノ人名書ヲ受ケタルトキハ十一月十日迄ニ、又第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第五十六條 市町村長第一國民兵役ニ轉入シタル者ノ戰時名簿ヲ受ケタルトキハ之ニ依テ其ノ人名及其ノ他ノ事項ヲ第一國民兵名簿ニ追記シ異動アル毎ニ戰時名簿ヲモ訂正スヘシ

第五十七條 郡長國民軍編入ヲ許可シタル指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第五十八條 市町村長國民軍編入ヲ許可シタル指令ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一國民兵名簿ニ追記スヘシ

第五十九條 市町村長ハ國民兵ノ現在員及國民兵役ニ轉入スヘキ者ニ基キ國民兵人員表第七式及退役將校名簿第八式ヲ市長ハ十二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ、町村長ハ十一月三十日迄ニ郡長ニ差出スヘシ

第六十條 郡長ハ前條ノ規定ニ依ル人員表及名簿ニ基キ其ノ管内ニ在籍スル者ノ國民兵人員表及退役將校名簿ヲ作リ十二月十五日迄ニ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第六十一條 退役將校名簿ニ異動年齢滿チタル爲國民兵役ヨリ退ク者ニ關スルモノヲ除ク 年生シタルトキハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ハ之ヲ郡長ニ報告スヘシ

郡長前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第六十二條 市町村長陸軍召集令第四十二條又ハ第四十三條ノ規定ニ依ル配當及達ヲ受ケタルトキハ國民兵召集令第九式ト共ニ國民兵召集名簿第十二式ニ通テ調製シ令狀ハ師團長ノ指定ニ從ヒ區分シテ之ヲ保管シ名簿ノ内一通國民

兵ニ在リテハ應召員ノ市市長ニ在リテハ聯隊區司令官ニ、町村長ニ在リテハ郡長ニ差出スヘシ  
戰時名簿ヲ之ニ添ヘテ前項ノ令狀及名簿調製後國民兵ニ異動アリタルトキハ直ニ令狀ヲ訂正シ且其ノ都度市長ニ在リテハ聯隊區司令官ニ通知シ町村長ニ在リテハ郡長ニ報告スヘシ

第六十三條 郡長前條第一項ノ規定ニ依ル國民兵召集名簿及應召員ノ戰時名簿ヲ受領シタルトキハ直ニ之ヲ聯隊區司令官ニ差出シ同第二項ノ規定ニ依ル報告ヲ受ケタルトキハ直ニ之ヲ同官ニ通知スヘシ

第六十四條 市長ハ聯隊區司令官、町村長ハ郡長ヨリ國民兵動員令ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ通知ニ係ル到著日次ヲ動員令ニ示ス動員第一日ヨリ起算シテ實際ノ曆日ニ換算シ令狀表面到著日時ヲ記入スヘキ空位ニ記入シ第二十

五條ノ規定ニ準シ直ニ之ヲ各人ニ交付スヘシ

汽車汽船ニ乗ルヘキ日時ヲ記入スヘキ令狀ハ聯隊區司令官ノ通知ニ基キ之ヲ記入スルモノトス

第六十五條 動員令ニ依リ實施スヘキ國民兵召集ニ關シテハ第二十二條、第二十三條及第四十六條ノ規定ヲ準用ス

第六十六條 陸軍召集令第四十七條ノ規定ニ依リ臨時ニ國民兵召集ヲ實施スル場合ニ於テハ市町村長ハ聯隊區司令官又ハ郡長ヨリ達スル召集ノ命令ニ依リ國民兵召集令狀ト共ニ國民兵召集名簿二通ヲ作り令狀ハ第二十五條ノ規定ニ準シテ直ニ之ヲ各人ニ交付シ該名簿ノ内一通ニ應召員ノ戰時名簿ヲ添ヘ市長ニ在リテハ聯隊區司令官ニ、町

村長ニ在リテハ郡長ニ差出シ郡長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第六十七條 國民兵召集ニ關シテハ第二十六條乃至第三十六條、第三十八條乃至第四十一條、第四十四條及第四十七條乃至第四十九條ノ規定ヲ準用ス

第五章 演習召集、教育召集

第六十八條 演習又ハ教育ノ爲召集スヘキ者ノ召集年次及日數等ハ左ノ各號ニ依ル

一 召集年次及日數ハ別段ノ規定アル場合ノ外附表第一ニ依ル

二 飛行機操縦術ヲ修得シタル豫備役將校准士官下士ハ豫備役第二年ニ召集シ爾後豫備役間二年置キニ之ヲ召集ス但シ召集該當年ニ於テ年齢三十年ニ達スル者ニ在リテハ其ノ年及爾後豫備役間召集セズ

三 豫備役後備役准士官下士兵卒ニシテ士官勤務適任證書又ハ下士適任證書ヲ有スル者ノ勤務演習ハ附表第一ノ現官等級相當ノ召集年次及日數ニ依ル但シ各部下士適任證書ヲ有スル者ノ召集ハ當該下士ノ召集年次及日數



部隊所管師團長間ノ通報等ハ必要ナルモノニ限リ本籍地所管師團長ヲ經由スヘシ

第七十條 師團長ハ其ノ師管内ニ演習又ハ教育ヲ爲スヘキ部隊無キ爲他ノ師管内ノ部隊ニ召集スヘキ者アルトキハ該召集部隊所管ノ師團長ニ協議シテ召集日時等ヲ定メ第六十八條ノ五第一項及第三項ノ例ニ依リ聯隊區司令官ニ達シ召集部隊所管ノ師團長ハ之ヲ該部隊長ニ達スヘシ

第七十一條 師團長士官ニ任スル爲ニ行フ勤務演習ニ召集スヘキ者ノ中他ノ師管ニ居住スル者ヲ召集スルニハ召集ノ日時、人名及部隊ヲ定メ日數ト共ニ少クモ召集期日前三十五日ニ本人本籍地所管ノ師團長ニ通知スヘシ  
本籍地所管ノ師團長前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ但シ本人ノ居住地本籍地師管ナラサルトキハ尙之ヲ其ノ居住地所管ノ師團長ニ通知シ該師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第七十二條 聯隊區司令官 第七十一條第二項但書ノ場合ニ在リテハ第六十八條ノ五及第六十九條乃至第七十一條ノ規定ニ依ル達ニ基キ演習(教育)召集名簿 第十一 二通及演習(教育)召集令狀 第十二 ヲ作り令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ送付シ名簿ハ召集期日五日前迄ニ之ヲ召集部隊長ニ送付スヘシ

前項ノ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第七十三條 師團長ハ到著期日ノ延期又ハ事故ニ因ル應召遅延ノ者ノ最終ノ到著期日ヲ定メテ聯隊區司令官ニ達シ應召員中途中ニ於テ傷疾疾病ニ罹リ到著遅延ノ者アリタルトキ之ニ歸郷ヲ命スヘキ期日ヲ定メテ召集部隊長ニ達スヘシ

第七十四條 師團長及聯隊區司令官ハ到著期日ノ延期ヲ許可スルニ當リ其ノ期ノ召集ニ應セシメサル者ノ指令ニハ令狀ヲ市町村長ニ返付スルコトヲ附記スヘシ

第七十五條 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ヲ召集セムトスルトキハ召集ノ期日、日數、部隊、本籍地、徵集年、役種、兵種及官等級ヲ寄留地所管ノ聯隊區司令官ヨリ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ  
聯隊區司令官前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ將校同相當官ニ關スル事項ニ限リ師團長ニ之ヲ報告スヘシ

第七十六條 應召員中傷疾疾病、犯罪、所在不明等ノ爲到著地ニ到ルコト能ハサル者ハ應召員又ハ之ニ代リ令狀ヲ

受ケタル者ヨリ聯隊區司令官ニ宛テタル届書及令狀又ハ召集ノ通報ヲ受領シタル日ヨリ七日以内ニ其ノ以後ニ事トキハ直ニ又令狀若ハ通報受領後七日 本籍地市町村長 寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受

以內ニ應召スヘキ者ハ到著日時迄ニ 痲疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ、犯罪、所在不明等ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ  
前項ノ手續ヲ爲スニ當リ未タ令狀ヲ受領セサル者ハ受領後別ニ之ヲ差出スヘシ

第七十七條 前條ノ場合ニ於テ到著地ニ到ルコト能ハサル者其ノ事故止ミタルトキハ直ニ本籍地市町村長 寄留地ニニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者 二届出ツヘシ  
ニ在リテハ寄留地市町村長 二届出ツヘシ

第七十八條 應召員中父母妻子ノ疾病危篤又ハ死亡、同一戸籍内ニ在ル者、ノ死亡、本人住家ノ火災、流失又ハ倒塌其ノ他之ニ準スル天災ノ爲及應召ニ際シ同一戸籍内ニ在ル者疾病危篤ニシテ且本人ヲ要スルニ非サレハ他ニ看護ヲ爲ス者ナキトキ到著期日ノ延期ヲ出願セムトスル者ハ將官ニ在リテハ師團長其ノ他ニ在リテハ聯隊區司令官ニ宛テタル願書ヲ市町村長ニ差出スヘシ但シ父母妻子又ハ同一戸籍内ニ在ル者ノ疾病危篤ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ、其ノ他ニ係ルトキハ市町村長、警察官吏又ハ憲兵ノ證明書ヲ添付スヘシ

寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ前項ノ願書ハ寄留地所管師團長又ハ同聯隊區司令官ニ宛テ寄留地市町村長ニ差出スヘシ  
到著期日ノ延期ヲ出願シタル後ト雖別ニ指令ナケレハ指定ノ日時ニ應召スヘシ

第七十八條ノ二 前條ニ依ル到著期日延期ノ爲ノ事故突發シ師團長又ハ聯隊區司令官ノ指令ヲ受クル暇ナキ場合ニ限リ市町村長ハ其ノ事實ヲ查覈シ三日以内到期日延期ノ承認ヲ與フルコトヲ得  
市町村長前項ノ承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ事由及日數ヲ記載シタル書面ヲ前條ノ願書及書類ニ添付シ迅速ナル方法ヲ以テ師團長又ハ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第七十九條 聯隊區司令官郡市長ヨリ第七十七條ノ規定ニ依ル届出ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ第七十三條ノ規定ニ依ル最終到著期日以内ニ到著セシメ得ル者ニ在リテハ更ニ令狀ヲ作り之ヲ本人ニ交付スヘシ其ノ交付ニ關シテハ本章ノ規定ヲ準用ス

第八十條 第七十八條ノ規定ニ依ル願書ヲ受ケタルトキハ市長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付シ町村長ハ之ヲ郡長ニ差出スヘシ

郡長前項ノ願書ヲ受ケタルトキハ之ヲ聯隊區司令官ニ送付スヘシ

第八十一條 召集部隊長ハ召集期日ニ至レハ召集事務所ヲ開設シ應召員到著シタルトキハ直ニ身體検査ヲ行ヒ召集名簿ニ應召不應召其ノ他ノ事故ヲ記入シ其ノ一通ヲ召集期日後三日以内ニ聯隊區司令官ニ宛テ發送スヘシ

傷痍疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者ニハ歸郷ヲ命シ現役ニ堪ヘサル者、現役豫備役及後備役ニ堪ヘサル者、豫備役及後備役ニ堪ヘサル者、補充兵役ニ堪ヘサル者又ハ永久服役ニ堪ヘサル者ニ在リテハ召集期日後三日以内ニ其ノ診斷書ヲ聯隊區司令官ニ宛テ發送スヘシ

召集期日後到著シタル者ノ取扱ニ關シテハ前二項ノ規定ニ準ス但シ名簿發送後ナルトキハ直ニ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十二條 召集部隊長ハ應召員中途中ニ於テ傷痍疾病ニ罹リ第七十三條ノ規定ニ依リ師團長ヨリ達セラレタル期日以内ニ到著スルコト能ハサル者アリタルトキハ之ニ歸郷ヲ命シ其ノ旨ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十三條 聯隊區司令官召集名簿中ニ他ノ聯隊區ニ本籍ヲ有スル者アリタルトキハ第八十一條及第八十二條ノ規定ニ依ル通知ニ基キ其ノ應召不應召ヲ直ニ其ノ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ應召シタル者ノ人名、召集期日、日數及召集部隊ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第八十四條 聯隊區司令官ハ應召員中事故ニ因リ歸郷ヲ命セラレタル者ノ人名及事由並應召セサル者ノ中其ノ届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第八十五條 郡市長前條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ達シ市長ハ其ノ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

前項應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ニ在リテハ郡市長其ノ理由ヲ調査シ速ニ聯隊區司令官ニ通知スヘシ

第八十六條 町村長前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ其ノ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第八十七條 召集部隊長ハ召集中ノ者ニ休暇ヲ許可スルニ當リ其ノ休暇中ニ召集ノ解除ヲ爲スヘキ者アルトキハ直ニ召集ヲ解除スヘシ

第八十七條ノ二 召集部隊長ハ召集中傷痍疾病ニ因リ演習又ハ教育ニ堪ヘサル者アルトキハ其ノ召集ヲ解除スルコトヲ得

第八十八條 師團長ハ進級ノ爲又ハ其ノ他ノ事由ニ因リ召集日數ヲ増加スヘキ者アルトキハ召集部隊長ヲシテ之ヲ本人ニ達セシムヘシ

第八十九條 召集部隊長ハ召集ノ期限滿了シタルトキハ其ノ翌日召集ヲ解除スヘシ

第九十條 召集部隊長令狀ニ指定セル期日以外ノ期日ニ召集ヲ解除シタルトキハ其ノ人名及事由ヲ聯隊區司令官ニ通知スヘシ但シ令狀ニ指定スル期日以後ニ召集ヲ解除スル者令狀指定ノ期日ニ召集ヲ解除スニ在リテハ一般ノ解除ニ際シ其ノ人名事由及解除期日ヲ通知シ其ノ召集ヲ解除シタル者ニ歸郷ヲ命スル者ニ在リテハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第九十一條 聯隊區司令官ハ召集ヲ解除シタル者ニ歸郷ヲ命スル者アルトキハ其ノ旨ヲ通知スヘシ

通知スヘシ但シ他ノ聯隊區ニ本籍ヲ有スル者ニ關シテハ同時ニ之ヲ本籍地所管ノ聯隊區司令官ニ通知シ本籍地所管ノ聯隊區司令官ハ之ヲ郡市長ニ通知スヘシ

第九十二條 聯隊區司令官第九十條但書ノ者ニ關スル通知ヲ受ケタルトキハ前條ノ例ニ準シ之ヲ通知スヘシ

第九十三條 郡長前二條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ達スヘシ

第九十四條 召集解除又ハ歸郷ヲ命セラレタル者ニシテ其ノ解除又ハ歸郷ヲ命セラレタル日ヨリ十四日以内ニ本籍地ヲ受ケタル者ニ在リテハ該寄留地ニ歸還セサル者ニハ第五十條ノ規定ヲ準用ス但シ寄留地ニ於テ召集ニ應スヘキ許可ヲ受ケタル者ニ在リテハ召集通報人ハ寄留地市町村ニ於テ之ヲ定メ寄留地町村長及郡長又ハ市長ヲ經テ寄留地所管聯隊區司令官ニ届出ツルモノトス

第九十五條 演習召集及教育召集ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條、第二十八條第一項、第二十九條第三十一條第一項第二項、第三十四條第二項、第三十五條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第六章 補缺召集

第一編 警務 第四章 兵事

第九十六條 師團長補缺召集ヲ行フニハ歸休兵ノ徵集年、兵科部、等級、人員、召集部隊及到着日時ヲ定メ之ヲ召集部隊長及聯隊區司令官ニ達スヘシ  
師團長ハ其ノ所管ニアラサル聯隊區司令官ニ前項ノ達ヲ爲サムトスルトキハ其ノ所管師團長ニ通知スヘシ所管師團長ハ之ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ

第九十七條 聯隊區司令官前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ補缺召集名簿式第十一條及補缺召集令狀第十二條ヲ作リ令狀ハ直ニ之ヲ郡市長ニ、名簿ハ召集期日前日迄ニ召集部隊長ニ送付シ且充員召集名簿ヲ訂正スヘシ  
前項ノ名簿調製後發送迄ノ間ニ異動ヲ生シタルトキハ該名簿應否事故ノ區畫ニ之ヲ記入シ爾後ニ生シタル異動ニシテ必要ナル事項ハ其ノ都度召集部隊長ニ通知スヘシ

第九十八條 補缺召集ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條、第二十八條第一項第二項、第三十一條第一項第二項、第三十四條第二項、第三十五條乃至第四十二條、第五十二條、第七十三條、第七十四條、第七十六條乃至第八十二條、第八十四條乃至第八十六條及第九十四條ノ規定ヲ準用ス  
市長令狀ヲ各人ニ交付スルノ方法ニ付テハ第二十五條ノ規定ヲ準用ス

第七節 簡閱點呼

第九十九條 簡閱點呼ハ左ニ掲グル者ノ中豫備役後備役下士兵卒、歸休兵及補充兵未タ教育セザル者ヲ除クニ付一年置キニ、未タ教育セサル補充兵ニ付毎年之ヲ執行ス但シ第九十九條ノ三及第一百條ノ規定ニ該當スル者ハ此ノ限ニ在ラス  
一 兵卒ニシテ徵集セラレタル翌年ヨリ起算シ十二年ニ滿タサル者並一年志願兵出身ノ下士兵卒ニシテ入營ノ翌年四月入營ノヨリ起算シ十二年ニ滿タサル者  
二 前號以外ノ下士ニシテ任官シタル翌年志願ニ依ラスシテ兵卒ヨリ下士ニ任官シタル者ハ徵集セラレタル翌年ヨリ起算シ十二年ニ滿タサル者  
三 補充兵 未タ教育セザル者ニシテ徵集セラレタル翌年ヨリ起算シ十二年ニ滿タサル者  
四 未タ教育セサル補充兵 戰時輸卒隊ニ於テ勤務シタル補充兵役轉重輸卒、各兵科兵卒ニシテ在隊三箇月ニ滿タレタルモニシテ徵集セラレタル翌年ヨリ起算シ四年ニ滿タサル者

前項ノ執行年次ハ任官、入營又ハ徵集セラレタル翌年一年志願兵出身者中四年ヲ執行ノ第一年トシテ計算スルモノトス  
軍事上必要アルトキハ第一項ノ規定ニ拘ラス簡閱點呼ヲ執行スルコトアルヘシ

第九十九條ノ二 傷痍疾病其ノ他ノ事故ニ因リ簡閱點呼ニ參會セサル者 簡閱點呼ヲ免除セラレタル者ハ除ク  
第九十九條ノ三 豫備役下士ニシテ陸軍補充令第三十七條ノ規定ニ依ル勤務演習ヲ終リ少尉同相當官ニ任セラレタル資格ヲ具ヘタル者ノ簡閱點呼ハ之ヲ行ハス

第一百條 充員召集、臨時召集又ハ教育召集ノ解除應召當日ノ、歸休現役又ハ就職滿期等ニ依リ陸軍軍隊、官衙又ハ學校ヨリ歸郷シタル者及演習召集該當年ノ者第九十九條ノ二ノ規定ハ其ノ年ニ限り簡閱點呼ヲ免除ス

第一百一條 師團長ハ簡閱點呼執行官ノ官氏名ヲ聯隊區司令官ニ達スヘシ  
第一百二條 師團長ハ簡閱點呼執行官ニ聯隊區司令部書記已ムヲ得サル場合ニ限一名ヲ附屬セシメ點呼ニ關スル庶務ヲ處理セシムヘシ

第一百三條 師團長ハ陸軍召集令第六十四條ノ規定ニ依リ簡閱點呼ヲ省略スル場合ニ於テハ省略地名及其ノ在郷軍人ノ數等ヲ具シ其ノ狀況ヲ陸軍大臣ニ報告スヘシ  
第一百四條 聯隊區司令官點呼場、點呼區域及點呼日割ヲ定ムルニハ各點呼場間ノ里程及參會人員ニ應シ成ルヘク牛日間ニ點呼ヲ結了スル如クスルヲ要ス

陸軍召集令第六十六條ノ規定ニ依ル通知ハ點呼開始前概ネ四十日迄ニ之ヲ爲スヘシ  
第一百五條 陸軍召集令第六十八條ノ規定ニ依ル點呼令狀ハ第十三條式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第一百五條ノ二 聯隊區司令官ハ點呼令狀ヲ令狀ニ指定シタル點呼參會日前概ネ四十日迄ニ郡市長ニ送付スヘシ  
第一百五條ノ三 郡長ハ聯隊區司令官ヨリ點呼令狀ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

市長ハ聯隊區司令官ヨリ點呼令狀ヲ受ケタルトキハ第二十五條ノ規定ニ準シ之ヲ各人ニ交付スヘシ  
第一百六條 聯隊區司令官ハ各點呼場參會人員概算表及點呼名簿未タ教育セサル補充兵ト作リ簡閱點呼執行官ニ送其ノ他ノ者トテ區分ス

付シ爾後異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ同官ニ通知スヘシ  
前項ノ名簿ハ點呼場毎ニ各別ニ作リ逐次ニ送付スルモ妨ナシ  
第七條 市町村長ハ簡閱點呼ノ免除ヲ受ケタル者アルトキハ令狀ノ交付ヲ終リタルトキ其ノ人名ヲ憲兵及警察官  
吏ニ通知スヘシ

第八條 (削除)

第九條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到着シ簡閱點呼執行官ニ届出ツヘシ  
第十條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷疾、犯罪、所在不明等ノ爲メ參會スルコト能ハサル者ハ本  
人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄ニ簡閱點呼執行官ニ宛テタル届書及令狀ヲ本籍地市町村長  
寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ許可ニ差出スヘシ但シ傷疾ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、犯罪所在不明等  
ニ係ルトキハ憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十條ノ二 簡閱點呼ニ參會スヘキ者ニシテ參會ニ際シ左ノ各號ノ一ニ因ル事故ヲ生シタルモノハ簡閱點呼ノ不  
參ヲ願出ツルコトヲ得  
一 父母妻子ノ疾病危篤又ハ死亡  
二 同一戸籍内ニ在ル者ノ死亡  
三 本人住家ノ火災、流失又ハ倒壊其ノ他之ニ準スル天災  
四 同一戸籍内ニ在ル者疾病危篤ニシテ且本人ヲ要スルニ非サレハ他ニ看護ヲ爲ス者ナキトキ  
前項ニ依リ簡閱點呼ノ不參ヲ出願セムトスル者ハ聯隊區司令官寄留地ニ於テ參會スヘキ許可ヲ受ケタ  
書令狀ヲ市町村長寄留地ニ於テ參會スヘキ許可ヲ受ケ  
ニ差出スヘシ但シ父母妻子又ハ同一戸籍内ニ在ル者ノ疾  
病危篤ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ、其ノ他ニ係ルトキハ市町村長寄留地ニ於テ參會ヲ許可セラレタ、警察官吏  
又ハ憲兵ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十條ノ三 市町村長前條ノ規定ニ依リ願書ヲ受ケタルトキハ速ニ之ヲ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ但シ不參願  
出ノ事故突發シ簡閱點呼執行官ノ指示ヲ受ケル暇ナキ場合ニ限り市町村長ハ其ノ事實ヲ查照シテ不參ノ承認ヲ與  
フルコトヲ得

市町村長前項但書ニ依リ承認ヲ與ヘタルトキハ其ノ事由ヲ記載シタル書面ニ前條ノ願書及證明書ヲ添付シ點呼開  
始迄ニ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ

第十條ノ四 簡閱點呼執行官第十條ノ二ノ規定ニ依リ願書ヲ受ケタルトキハ事實ヲ查照シ不參ノ承認ヲ與フル  
コトヲ得

第十條ノ五 簡閱點呼執行官前條ノ規定ニ依リ承認シタル場合又ハ第十條ノ三ノ規定ニ依リ書類ヲ受ケタルト  
キハ之ヲ取繼メ聯隊區司令官ニ差出スヘシ

第十條ノ六 簡閱點呼ニ參會スヘキ者ニシテ已ムヲ得サル事故アルトキハ參會期日ノ變更ヲ出願スルコトヲ得  
前項ニ依リ簡閱點呼參會期日ノ變更ヲ出願セムトスル者ハ聯隊區司令官寄留地ニ於テ參會スヘキ許可ヲ受ケタ  
宛テタル願書情ヲ具シ參會ヲ合セラレタル期日及希ヲ市町村長寄留地ニ於テ參會スヘキ許可ヲ受ケ  
望スル變更期日ヲ明記スルコトヲ要ス

第十條ノ七 市町村長前條ノ願書ヲ受ケタルトキハ速ニ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ

第十條ノ八 簡閱點呼執行官第十條ノ六ノ願書ヲ受ケタルトキハ事情ヲ查照シ且本人ヲシテ其ノ年他ノ日時ニ  
於テ本人ノ令セラレタル點呼場又ハ自己ノ擔任スル其ノ附近ノモノニ參會セシメ得ル場合ニ限り變更ノ承認ヲ爲  
スコトヲ得

第十一條 市町村長前條ノ規定ニ依リ届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上毎日之ヲ取繼メ其ノ人名及事由ヲ憲  
兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第十二條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲メ交付スルコト能ハサル令狀及傷疾疾病其ノ他ノ事故ニ因リ參會スルコ  
ト能ハサル者ノ届書及令狀ヲ點呼開始迄ニ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ但シ簡閱點呼參列ノ爲メ出發後點呼時刻迄  
ニ受ケタルモノハ點呼ヲ終ル迄ニ之ヲ差出スヘシ

第十三條 市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スルニ當リ在郷軍人名簿ヲ携帯スヘシ

第十四條 簡閱點呼執行官ハ呼名點檢ヲ行ヒ身上ニ關スル異動取扱ノ確否其ノ他所要ノ調査ヲ爲シ參會者ニ必要  
ノ訓示ヲ與フヘシ

第一百五條 選參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ更ニ參會ヲ命スルコトヲ得  
 第一百六條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十五條乃至第二十七條、第三十四條、第三十八條乃至第四十條及第八十  
 三條第一項ノ規定ヲ準用ス

第八章 雜則

第一百七條 召集部隊長ハ演習召集ノ結果陸軍武官進級令ニ依リ進級ノ爲ノ演習ニ召集セムトスル者アルトキハ當  
 該召集終了期約一週間前迄ニ其ノ成績ヲ順序ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ但シ各部士官下士ノ成績ハ其ノ教育主管  
 者ヨリ順序ヲ經テ師團長ニ報告スヘシ

第一百十七條ノ二 正當ノ事由ナクシテ第二十六條、第二十七條、第二十八條第二項、第二十九條第一項乃至第五項、  
 第三十一條第一項第二項、第三十二條、第七十六條第一項、第七十七條、第九十四條、第一百十條ノ規定及之ヲ準  
 用シタル規定ニ違背シタル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處ス

第一百十八條 正當ノ事由ナクシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ三日以上ノ拘留又ハ十圓以上ノ科料ニ處ス  
 第一百十九條 正當ノ事由ナクシテ第三十條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ二月以下ノ懲役又ハ五十  
 圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百二十條 正當ノ事由ナクシテ第五十條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ十日以上ノ拘留又ハ十圓  
 以上ノ科料ニ處ス

附則

本則ハ大正二年十一月十日ヨリ之ヲ施行ス但シ師團長ハ必要ト認ムルトキハ本則ノ一部ニ付五月以内仍從前ノ規定  
 ニ依ルコトヲ得  
 陸軍召集條例施行細則ハ之ヲ廢止ス  
 (様式略ス)

● 陸軍召集事務取扱手續

大正三年八月十八日 訓令第二十八號

警察署 警察分署

陸軍召集事務取扱手續左ノ通り之ヲ定ム

陸軍召集事務取扱手續

- 第一條 警察署長<sup>分署長</sup>ハ駐在所及派出所巡査ヲシテ便宜其區域内ニ於ケル在郷軍人名簿別記第一様式ヲ調製セシ  
 メ在郷軍人ノ異動及召集ニ關シ違令者ナカラシムルコトニ注意シ時々市町村ノ名簿ト對照セシムヘシ
- 第二條 陸軍召集令及同施行細則ニ依リ警察官吏ノ與フル證明書ハ豫メ準備シ置クヘシ
- 第三條 横濱市内警察署長ハ市長ヨリ陸軍召集令施行細則第三十四條及第三十五條ノ通知ヲ受ケタルトキ之ヲ巡査  
 派出所又ハ巡査駐在所ニ達スル書類ハ豫メ準備シ置クヘシ
- 第四條 警察署長<sup>分署長</sup>ハ國民兵召集令ヲ受ケタルトキハ之ヲ巡査派出所又ハ駐在所ニ達スヘシ國民兵召集令違書  
 ハ別記第二様式ニ依リ豫メ準備シ置クヘシ
- 第五條 陸軍召集令施行細則第十一條ニ依リ聯隊區司令官ニ通知シタルトキハ其事項ヲ詳記シ當廳ニ報告スヘシ

附則

明治三十五年十一月十一日 訓令第九十七號ハ之ヲ廢止ス

(第一様式)

在郷軍人名簿

摘要	本籍地	徵集年	兵科部官等級	氏名

- 一、本名簿ハ美濃紙トシ表紙ハ「在郷軍人名簿」ト記載  
 シ左下ニ保管所名ヲ記スヘシ
- 二、寄留旅行等ニ依リ不在ノモノハ行先及召集通報人  
 ノ住所氏名ヲ本籍地欄ニ附箋スヘシ

第一編 警務 第四章 兵事

- 三、入寄留者ニシテ寄留地ニ於テ勤務演習ヲ爲シ又ハ  
 簡閱點呼ヲ受ケルモノアルトキハ本名簿ニ準シ調  
 製シ末尾ニ編綴スヘシ

(第二様式)

動何第 號

- 何 巡査派出所
- 何 巡査駐在所
- 左ノ通り國民兵召集令セラル
- 種類 (第一國民兵何兵)



年齡 何歳(何歳ヨリ) 何歳迄  
集合格 (何郡市町村役場)

大正 年 月 日

何警察署長印

### ●海軍召集令

大正五年十二月二十日  
勅令第二百五十號

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ海軍召集令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム  
海軍召集令

#### 第一章 總則

第一條 在郷軍人ノ召集及簡閱點呼ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 召集ヲ分チテ充員召集及演習召集トス

第三條 將校、機關將校及將校相當官ノ召集ニ關スル事項ハ海軍大臣之ヲ掌リ其ノ召集ノ令達ハ海軍大臣直ニ之ヲ行フ

特務士官、准士官及下士卒ノ召集及簡閱點呼ニ關スル事項ハ在籍鎮守府司令長官之ヲ掌ル

第四條 召集ニハ召集令狀ヲ用キ到着地及到着日時ヲ指定シ簡閱點呼ニハ點呼令狀ヲ用キ點呼場及到着日時ヲ指定ス但シ已ムコトヲ得サル場合ニ於テハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依リ令狀ニ代ヘ傳達ノ方法ヲ用キルコトヲ得

演習召集中ノ者ニ對シ充員召集ノ令達ヲ爲ス方法ハ海軍大臣ノ定ムル所ニ依ル

第五條 召集及簡閱點呼ノ事務ニ關シ鎮守府司令長官ノ定ムル規程ハ地方長官、憲兵隊長及其ノ所部ノ官吏、公吏之ヲ遵行スヘシ

前項ノ規程ニシテ公示ヲ要スルモノニ付テハ明治二十六年勅令第九十九號中警視廳令、北海道廳令又ハ府縣令ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 鎮守府司令長官ハ定期又ハ臨時ニ地方行政廳ノ召集及簡閱點呼ノ事務ヲ檢閲シ又ハ部下將校ヲシテ之ヲ檢閱セシムヘシ  
地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長ハ其ノ所部ノ召集及簡閱點呼ノ事務ヲ檢閲シ又ハ部下官吏ヲシテ之ヲ檢閲セシ

#### ムヘシ

第七條 本令中在郷軍人ト稱スルハ豫備役後備役ノ將校、機關將校、將校相當官、特務士官、准士官及下士卒並歸休中ノ下士卒ヲ謂ヒ應召員ト稱スルハ現ニ行フ召集又ハ簡閱點呼ニ應スヘキ者ヲ謂フ

第八條 本令中地方長官ニ關スル規定ハ警視總監ニ關シ亦之ヲ適用ス

第九條 本令中郡長、市長又ハ町村長ニ關スル規定ハ各左記下欄ノ者ニ關シ之ヲ適用ス

郡長 島司(小笠原島司ヲ除ク)  
島司郡長ニ準スヘキ者  
北海道ニ在リテハ支廳長

市長 區長ヲ以テ戶籍ニ關スル事務ヲ管掌スル者ト爲シタル市ニ在リテハ區長  
北海道又ハ沖繩縣ニ在リテハ區長  
小笠原島司

町村長 島司郡長又ハ之ニ準スヘキ者ヲ置カサル島嶼ニ在リテハ町村長ニ準スヘキ者  
島司郡長若ハ之ニ準スヘキ者又ハ北海道廳支廳長ノ管轄區内ニ於ケル町村長ニ準スヘキ者

#### 第二章 充員召集

##### 第一款 通則

第十條 充員召集トハ戰時又ハ事變ニ際シ充員ヲ行フ爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第十一條 充員召集事務ニ關シ職責アル者ニ常時之ニ關スル事務ヲ整備シ召集ノ實施ニ際シ支障ナカラシムヘシ

第十二條 地方長官ハ充員召集ノ準備又ハ實施ニ關シ鎮守府司令長官ノ要求ニ應シ且自ラ召集ヲ容易ナラシムル措置ヲ爲スヘシ

第十三條 戒嚴ヲ宣告シ得ル權アル諸官時機切迫シ命ヲ請フノ暇ナキトキハ充員召集ニ關シ獨斷專行ヲ爲スコトヲ得

##### 第二款 充員召集ノ準備

第十四條 鎮守府司令長官ハ充員召集ノ準備ニ關シ必要ナル事項ヲ海軍人事部長ニ達スヘシ

第一編 警務 第四章 兵事

海軍人事部長ハ前項ノ規定ニ依ル達ニ基キ召集ニ關スル事務ヲ整備シ充員名簿及充員召集令狀ヲ作り之ヲ都市長ニ送付スヘシ

第三款 充員召集ノ實施

第十五條 充員召集ハ充員令ニ依リ之ヲ實施ス

第十六條 鎮守府司令長官ハ充員令ヲ海軍人事部長及海兵團長ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第十七條 地方長官充員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル都市長、警察署長、警察分署長及區長ヲ以テ戶籍ニ關スル事務ヲ管掌スル者ト爲シタル市ノ市長ニ達スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及警察分署長ニ對スル達ハ警視總監之ヲ爲シ其ノ他ニ對スル達ハ知事之ヲ爲スヘシ

第十八條 郡長充員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ町村長ニ送付スヘシ

市長充員令ノ達ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀ヲ應召員ニ交付シ又ハ充員召集ノ傳達ヲ爲スヘシ町村長前項ノ令狀ノ送付ヲ受ケタルトキ亦同シ

第十九條 憲兵隊長充員令ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル憲兵分隊長ニ達スヘシ

第四款 充員召集ノ解除

第二十條 充員召集ノ解除ハ解員令ニ依リ之ヲ實施ス但シ必要アルトキハ解員令ニ依ラス一部ノ召集解除ヲ行フコトヲ得

第二十一條 第十六條、第十七條及第十九條ノ規定ハ解員令ニ關シ之ヲ準用ス

第二十二條 郡長解員令ノ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル町村長ニ達スヘシ

第三章 演習召集

第二十三條 演習召集トハ演習ヲ行フ爲在郷軍人ヲ召集スルヲ謂フ

第二十四條 鎮守府司令長官ハ演習召集ノ期日、員數及日數ヲ海軍人事部長及海兵團長ニ達シ且之ヲ關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第二十五條 海軍人事部長前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ作り之ヲ都市長ニ送付スヘシ

郡長令狀ノ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ町村長ニ送付スヘシ

第二十六條 地方長官第二十四條ノ規定ニ依ル通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ關係アル警察署長、警察分署長及區長ヲ以テ戶籍ニ關スル事務ヲ管掌スル者ト爲シタル市ノ市長ニ達スヘシ但シ東京府ニ在リテハ警察署長及警察分署長ニ對スル達ハ警視總監之ヲ爲シ其ノ他ニ對スル達ハ知事之ヲ爲スヘシ

第二十七條 第十九條ノ規定ハ第二十四條ノ規定ニ依ル通知ニ關シ之ヲ準用ス

第二十八條 簡閱點呼トハ在郷軍人タル下士卒ヲ參會セシメ之ヲ點檢査閱スルヲ謂フ

第二十九條 簡閱點呼ハ在郷軍人本籍地所管鎮守府管區ニ於テ之ヲ行フ但シ他ノ管區ニ寄留スル者ノ簡閱點呼ハ寄留地所管鎮守府管區ニ於テ之ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ簡閱點呼ニ關スル事項ハ寄留地所管鎮守府司令長官之ヲ掌ル

第三十條 鎮守府司令長官ハ簡閱點呼ノ時期及區域ヲ定メ之ヲ海軍人事部長ニ達シ且部下ノ將校ニ簡閱點呼執行官ヲ命スヘシ

第三十一條 海軍人事部長前條ノ規定ニ依ル達ヲ受ケタルトキハ點呼場及點呼日割ヲ定メテ鎮守府司令長官ノ認可ヲ受ケ之ヲ關係アル都市長ニ達シ且簡閱點呼執行官竝關係アル地方長官及憲兵隊長ニ通知スヘシ

第三十二條 第十九條、第二十二條及第二十六條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル達又ハ通知ニ關シ之ヲ準用ス

第三十三條 海軍人事部長ハ第三十條ノ規定ニ依ル達竝第三十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル點呼場及點呼日割ニ基キ點呼令狀ヲ作り之ヲ都市長ニ送付シ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市町村長ハ簡閱點呼ヲ受クヘキ者ニ之ヲ交付シ又ハ點呼ノ傳達ヲ爲スヘシ

附則

本令ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
海軍召集條例ハ之ヲ廢止ス

### ●海軍召集令施行細則

大正五年十二月二十日  
海軍省令第十一號

改正 大正七年海軍省令第一七號、一一年第二二號、一三年第三號  
海軍召集令施行細則左ノ通定ム  
海軍召集令施行細則

#### 第一章 總則

- 第一條 特務士官、准士官ニ對スル召集令狀ハ鎮守府司令長官、海軍人事部長ヲシテ直ニ之ヲ應召員ニ交付セシムヘシ
- 第二條 應召員ノ應召スヘキ地ハ士官ニ在リテハ其ノ現住地、特務士官以下ニ在リテハ其ノ本籍地トス但シ簡閱點呼ニ在リテハ寄留地ヲ以テ應召地ト爲スコトヲ得
- 第三條 郡市町村長ハ充員召集實施業務書ヲ作り之ニ召集實施ニ當リ各業務擔當者ノ行フヘキ業務ヲ記入スヘシ前項ノ業務書ハ業務擔當ノ區分毎ニ別冊ト爲シ各業務擔當者カ召集實施ニ當リ他ノ條規ヲ參照セサルモ其ノ業務實施ニ支障ナキ如ク調製スヘシ
- 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長モ亦前各項ニ準シ召集實施業務書ヲ調製スヘシ
- 第四條 市町村長ハ在郷軍人名簿(第一様式)ヲ調製シ戶籍簿ト照校ノ上常ニ之ヲ整備スヘシ
- 第五條 召集擔任ノ官吏公吏ニ於テ召集ニ關シ保管スル諸名簿及諸表等ハ其ノ異動ヲ知リタル毎ニ直ニ訂正シ諸官衙公署ニ關係アルモノハ其ノ異動ヲ諸官衙公署ニ報告又ハ通報スヘシ
- 充員召集ニ當リ使用スル爲準備セル各種用紙及簿表ニハ平時ニ於テ記入シ得ヘキ不動ノ文字ハ悉ク記入シ置キ且使用ノ目的及記入ノ方法ヲ詳記セル凡例ヲ添付シ置クヲ要ス
- 第六條 充員令ノ通達ニハ至急官報ノ電信、使丁等確實迅速ノ方法ヲ用ウルモノトス
- 召集令第十七條第十九條ノ規定ニ依ル充員令ノ通達ハ郡市長ニ對スルモノヲ除キ電話ノミヲ以テスルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ送話者及受話者ハ通話ノ全文、相互ノ氏名及通話ヲ終リタル日時ヲ記錄シ置クヲ要ス

第一項使丁ノ行進速度ハ一時間一里ヲ以テ基準トス

- 第七條 地方長官、鎮守府司令長官ヨリ電信ヲ以テ充員令ノ通知(第六様式)ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ電報ノ全文ヲ返電スルモノトス郡市長、地方長官ヨリ電信ヲ以テ充員令ノ達ヲ受ケタルトキ亦同シ
- 第八條 充員召集令狀ヲ郡長ヨリ町村長ニ送付シ同令狀ヲ市町村長ヨリ各人ニ交付スルニハ使丁ヲ用ウルモノトス其ノ行進速度ノ基準ハ第六條第二項ニ同シ
- 第九條 充員召集ノ實施ニ當リ其ノ事務ニ係ル文書(令狀ヲ除ク)ヲ發送スルニハ充員召集用封筒(第二様式)ヲ用ウヘシ其ノ文書ヲ受領シタルモノハ封筒上ニ設ケタル位置ニ受領日時ヲ記入シ記名捺印ノ上返付スヘシ
- 令狀ヲ市町村長ヨリ各人ニ交付スルニハ總テ封筒ヲ用非サルモノトス
- 第十條 郡長令狀ヲ町村長ニ送付スルニハ令狀送付證(第三様式)ヲ添付スヘシ
- 第十一條 海軍省人事局長、海軍人事部長ハ准士官以上ニシテ新ニ在郷軍人トナリタル者アルトキハ在郷軍人名簿調製上必要ナル事項ヲ本籍地トシ官ニ在リテ現住地トシ郡市長ニ通知シ郡長ハ之ヲ町村長ニ通知スヘシ
- 海軍人事部長ハ下士官兵ニシテ新ニ在郷軍人トナリタル者アルトキハ充員名簿(第一様式)及充員召集令狀(第五様式)ヲ郡市長ニ送付シ郡長ハ在郷軍人名簿調製上必要ナル事項ヲ町村長ニ通知スヘシ
- 市町村長ハ所管外ニ在郷軍人ノ轉住又ハ轉籍シタル者アルトキハ在郷軍人名簿調製上必要ナル事項ヲ士官ニ在リテハ轉住地ノ、特務士官以下ニ在リテハ轉籍地ノ市町村長ニ通知スヘシ
- 第十二條 憲兵分隊長同分遣所長警察署長及同分署長ハ各種召集ノ實施及解除並簡閱點呼ノ執行ニ際シ違令者ナカラシムル爲相當ノ處置ヲ爲シ必要アルトキハ其ノ狀況ヲ海軍人事部長又ハ簡閱點呼執行官ニ通知スヘシ
- 第十三條 應召員ノ差出スヘキ届書ニ添付スル醫師ノ診斷書ニハ病名、原因、經過、現症、豫後療法ヲ詳記シ自己ノ傷痍疾病ニ係ル診斷書ニ在リテハ特ニ到著地ニ到ルコト能ハサル理由ヲ明カナラシムルヲ要ス
- 第十四條 鎮守府司令長官、地方長官、憲兵司令官及憲兵隊長海軍召集令第六條ノ檢閲ヲ爲シタルトキ又ハ爲サシメタルトキハ其ノ狀況ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ但シ憲兵隊長ノ報告ハ憲兵司令官ヲ經由スヘシ
- 第十五條 地方長官及憲兵隊長ハ前項ノ報告ト同時ニ其ノ地所管ノ鎮守府司令長官ニ之ヲ通報スヘシ
- 第十六條 鎮守府司令長官召集及簡閱點呼ヲ行ヒタルトキハ其ノ成績ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ

第十五條 鎮守府司令官召集事務ニ關シ規程ヲ定メタルトキハ之ヲ海軍大臣ニ報告スヘシ其ノ規程ヲ公示シタルトキ亦同シ

第十六條 士官ニシテ新ニ在郷軍人ト爲リタル者ハ速ニ其ノ現住地ヲ海軍省人事局長ニ届出ツヘシ以後之ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十七條 後備役特務士官以下ニシテ本籍地ニ異動ヲ生シタル者ハ速ニ海軍人事部長ハ市町村長ヲ經テ二届出ツヘシ

在郷軍人十四日以上本籍地ニ在リ以外ニ旅行若ハ寄留スルトキ又ハ船舶乗組ト爲ルトキハ本籍地ニ在リ市町村ニ於テ召集其ノ他軍衙ノ命アルトキ之ヲ通報スヘキ者召集通報人ト稱シ應召ノヲ定メ其ノ行先若ハ寄留地又ハ乗組船名ト共ニ士官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ海軍人事部長ハ市町村長ヲ經テ二各連署ヲ以テ届出ツヘシ

前項ノ規定ニ該當スル者復歸又ハ下船シタルトキハ速ニ其ノ旨海軍省人事局長又ハ海軍人事部長ハ市町村長ヲ經テ二届出ツヘシ

第十七條 前條ニ依リ届出テタル召集通報人死亡其ノ他ノ事故ニ依リ變更ヲ要スルトキハ前條ニ準シ召集通報人ヲ定メ連署ヲ以テ十四日以内ニ届出ツヘシ但シ本人船舶ニ乗組ミ航海中等ニシテ連署ヲ以テ期日以内ニ届出ツルコト能ハサルトキハ家事ヲ擔當スル者ヨリ届出ツヘシ

第十七條ノ二 町村長ハ在郷軍人ニ限リヨリ鎮守府司令官若ハ海軍人事部長宛ノ願書又ハ届書ヲ受ケタルトキハ本籍地ノ郡長寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ願ヲ經由シ之ヲ同官ニ送付スヘシ

第二章 充員召集

第一款 充員召集ノ準備

第十八條 鎮守府司令官ハ海軍人事部長ヲシテ應召員到着日時表(第四條式)ヲ作り郡市長ニ送付セシムヘシ

第十九條 海軍人事部長ハ充員名簿及充員召集令狀ヲ郡市長ニ送付シタル後該名簿及令狀ニ異動アルトキハ其ノ都度之ヲ通知シ異動ニ伴ヒ必要ナル令狀ヲ送付スヘシ

第二十條 郡市長海軍人事部長ヨリ充員名簿及充員召集令狀ヲ受ケタルトキハ令狀ヲ充員名簿ニ照校シ市長ニ在リテハ更ニ之ヲ在郷軍人名簿ニ照校シ充員ノ區分ニ從ヒ郡長ニ在リテハ更ニ各別ニ袋ニ納レ保管スヘシ

第二十一條 郡市長海軍人事部長ヨリ充員名簿異動ノ通知及其ノ異動ニ伴フ令狀ヲ受ケタルトキハ市長ニ在リテハ軍人名簿ニ照充員名簿ヲ訂正シ令狀ハ前條ノ例ニ依リ保管スヘシ

前項ニ依リ訂正ノ結果不要トナリタル令狀アルトキハ之ヲ海軍人事部長ニ返付スヘシ

第二十二條 郡市長在郷軍人ノ死亡其ノ他異動ノ届書又ハ通知ヲ受ケタルトキハ充員名簿及充員召集令狀ヲ訂正シ其ノ届書又ハ通知ハ之ヲ海軍人事部長ニ送付スヘシ

前項異動ノ結果不要トナリタル令狀ハ届書又ハ通知ニ添ヘ海軍人事部長ニ返付スヘシ

郡市長ハ在郷軍人ニシテ本籍地外ニ寄留又ハ旅行中ノ者若ハ船舶乗組員トナリタル者アルトキハ召集通報人ノ住所氏名ヲ記シタル紙片ヲ充員召集令狀ニ貼付シ復歸シタルトキ之ヲ除去スヘシ

第二十三條 郡市長ハ演習召集中ノ者ノ充員召集令狀ニ其ノ召集期間青色紙ヲ解除期日ヲ符號シ置クヘシ

第二十四條 地方長官東京府ニ在リハ警視總監ハ鎮守府司令官ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ警察署長及同分署長ニ指示シテ必要ナル地ニ警察官吏ヲ派遣スルノ準備ヲ爲サシムヘシ但シ憲兵ノ配置アル地方ニ在リテハ警察官吏ヲシテ豫メ之ヲ協議セシムヘシ

第二十五條 憲兵隊長ハ鎮守府司令官ノ通知ニ基キ必要ナル事項ヲ憲兵分隊長ニ指示シテ必要ナル地ニ部下憲兵ヲ派遣スルノ準備ヲ爲スヘシ

第二款 充員召集ノ實施

第二十六條 郡市長充員令ノ達(第六條式)ヲ受ケタルトキハ充員令ニ示ス召集第一日ヨリ起算シ應召員到着日時表ニ依リ實際ノ曆日ニ換算シタル到着日時ヲ令狀ニ記入シ直ニ郡長ハ之ヲ町村長ニ送付シ市長ハ第二十七條ノ規定ニ準シテ之ヲ各人ニ交付スヘシ但シ第二十三條ノ規定ニ依リ青色紙ヲ附箋シアル令狀ハ交付セス直ニ之ヲ海軍人事部長ニ送付スルモノトス

第二十七條 町村長郡長ヨリ令狀ヲ受ケタルトキハ在郷軍人名簿ニ照校シ鐵道乘車證明書又ハ乗船證明書ヲ添ヘ直ニ之ヲ應召員ニ交付スヘシ

町村長ハ應召員不在ノ爲之ニ令狀ヲ交付スルコト能ハサルトキハ召集通報人ニ交付シ召集通報人ヲ設ケサル不在者アルトキ又ハ召集通報人不在ナルトキハ其ノ戸主又ハ家族中家事ヲ擔當スル者ニ交付スヘシ  
町村長ハ應召員及前項ノ受領人不在ナルトキハ適當ノ方法ニ依リ應召員ニ令狀ヲ交付シ又ハ召集ノ旨ヲ傳達スヘシ

第二十八條 令狀ノ交付ヲ受ケタル者ハ該令狀ニ添付シタル受領證ニ受領年月日時ヲ記入シ捺印シタル者ハ記名捺印シ直ニ之ヲ返付スヘシ

第二十九條 應召員ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ハ直ニ確實迅速ナル方法ヲ以テ到着地及到着日時ヲ本人ニ通報到著遅延ノ虞アル場合ニ於テハ電信ヲ以テシ其ノ令狀ヲ速ニ交付スルノ處置ヲ爲スヘシ

第三十條 應召員令狀又ハ召集ノ通報ヲ受ケタルトキハ令狀及履歴表(下士官兵ニ限ル)ヲ携ヘ指定ノ日時ニ到着地ニ到ルヘシ但シ通報ヲ受ケタル者ニシテ令狀ノ交付ヲ受ケル爲又ハ履歴表ヲ携帶スルカ爲到着遅延ノ虞アル場合ニ於テハ令狀又ハ履歴表ヲ携フルヲ要セス

第三十一條 應召員傷病、疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ由リ指定ノ日時ニ到着地ニ到ルコト能ハサルトキハ醫師ノ診斷書又ハ事故ノ生シタル地ノ市町村長、憲兵若ハ警察官吏等ノ證明書ヲ添附シ士官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官以下ニ在リテハ海軍人事部長ニ直ニ届出ツヘシ

前二項ノ場合ニ於テ其ノ事故止ミタルトキハ直ニ海軍省人事局長又ハ海軍人事部長ニ届出ツヘシ

第三十二條 市町村長令狀ノ交付スルコト能ハサルトキハ之ヲ本籍地ノ市町村長ニ通報スヘシ人員ヲ市長ハ海軍人事部長ニ、町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

市町村長ハ令狀ノ受領證ニ依リ令狀ヲ交付シタル者ノ人名住所ヲ速ニ憲兵及警察官吏ハ警察官吏ノ無キ地ニ在リテニ通知スヘシ  
全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名住所及事由ヲ市長ハ海軍人事部長、憲兵及警察官吏ニ通知シ町村長ハ郡長ニ報告シ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

前三項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前項ニ準シ報告又ハ通知スヘシ

第三十三條 全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀アルトキハ市長ハ到着期日後十四日間保管シタル後之ヲ海軍人事部長ニ送付シ町村長ハ到着期日後七日間保管シタル後之ヲ郡長ニ差出シ郡長ハ到着期日後十四日間保管ノ上海軍人事部長ニ送付スヘシ

第三十四條 郡長第三十二條第一項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ令狀ノ發送ヲ終リタル月日時及交付人員並各町村中令狀ノ交付ヲ終リタル最終ノ月日時ヲ、同條第三項及第四項ノ規定ニ依リ報告ヲ受ケタルトキハ其ノ人名住所及事由ヲ直ニ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第三十五條 事故ノ爲到着地ニ到ラスシテ其ノ召集ヲ解カレタル者ノ令狀ハ其ノ都度町村長ハ之ヲ郡長ニ送付シ郡市長ハ之ヲ海軍人事部長ニ送付スヘシ

第三十六條 海軍人事部長ハ應召セサル者ノ中届書ヲ受ケサル者ノ人名 郡ニ在リテハ町村長ニ通知スヘシ 郡長ハ前項ノ人名ヲ直ニ町村長ニ達シ且其ノ理由ヲ調査シ速ニ海軍人事部長ニ通知スヘシ

市町村長第一項ノ通知又ハ前項ノ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名ヲ直ニ憲兵及警察官吏ニ通知シ且市長ニ在リテハ其ノ理由ヲ調査シ速ニ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第三十七條 憲兵分隊長、同分遣所長、警察署長及同分署長ハ充員令ノ達又ハ通知ヲ受ケタルトキハ必要ノ地ニ部下憲兵、警察官吏ヲ派遣シ應召員等ノ取締ニ任シ且之ニ所要ノ便宜ヲ與ヘシムヘシ但シ其ノ事務ノ執行ニ關シテハ海軍ノ當事者ト協議セシムヘシ

第三十八條 鎮守府司令長官ハ特務士官以下ノ應召員到着シタルトキハ直ニ體格検査ヲ行ヒ傷病、疾病等ノ爲服役ニ堪ヘスト認ムル者アルトキハ直ニ其ノ召集ヲ解クヘシ

第三十九條 地方長官及憲兵隊長解員令ヲ通達スルニハ使丁又ハ郵便ニ依ルヲ例トス

第四十條 解員令ニ依ラスシテ充員召集ヲ解除スヘキ時期ハ特ニ規定アルモノノ外海軍大臣之ヲ定ム

第四十一條 海軍人事部長ハ解員令ニ依ラスシテ召集ヲ解除セラレタル者ノ人名ヲ郡市長ニ通知シ郡長ハ之ヲ町村

長ニ達スヘシ

第四十二條 市町村長前條ノ通知又ハ達ヲ受ケタルトキハ其ノ人名及住所ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第三章 演習召集

第四十三條 鎮守府司令長官ハ演習ノ爲召集スヘキ者ノ兵種、等級、員數、豫備役編入年別、役種、召集期間及參著期日等ニ關シ必要ナル事項ヲ少クモ參著期日三十日前ニ海軍人事部長及海兵團長ニ達スヘシ

第四十四條 海軍人事部長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀(第七樣式)ヲ作り直ニ之ヲ郡市長ニ送付スヘシ

第四十五條 應召員父母妻子ノ疾病危篤、死亡若ハ同一戸籍内ニ在ル者ノ死亡又ハ本人住家ノ火災、流失、倒壊等ノ天災ノ爲到著期日ノ延期ヲ出願セントスルトキハ士官ニ在リテハ海軍省人事局長ニ、特務士官准士官ニ在リテハ海軍人事部長ニ、下士官兵ニ在リテハ市町村長ヲ經テ海軍人事部長ニ願出ツヘシ但シ父母妻子ノ疾病危篤ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書其ノ他ノ場合ニ在リテハ市町村長、憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

前項ノ規定ニ依リ到著期日ノ延期ヲ出願シタル者別ニ指令ヲ受ケサルトキハ指定ノ日時ニ應召スヘシ

第四十六條 鎮守府司令長官ハ召集ノ期限滿了シタルトキハ召集ヲ解除スヘシ

第四十七條 演習召集ニ關シテハ第二十七條乃至第三十八條及第四十一條第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第四章 簡閱點呼

第四十八條 簡閱點呼ハ毎年一回各郡市區別ニ之ヲ施行ス但シ前年十月一日以後召集ニ應シ又ハ歸休若ハ現役滿期等ニ依リ歸郷シタル者ニ對シテハ其ノ年ニ、船舶國籍證書ヲ有スル船舶ニ乗組中ノ者ニ對シテハ其ノ期間ニ限リ之ヲ免除ス

第四十九條 簡閱點呼ノ執行ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第五十條 (削除)

第五十一條 點呼令狀ハ第八樣式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第五十二條 海軍人事部長ハ各點呼場ノ點呼名簿ヲ作り簡閱點呼執行官ニ送付シ爾後異動ヲ生シタルトキハ其ノ都度之ヲ同官ニ通知スヘシ

第五十三條 在郷軍人寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會セントスルトキハ毎年三月三十一日迄ニ到達スル様寄留地ノ市町村長ヲ經テ海軍人事部長ニ届出ツヘシ

前項ノ期日後寄留地ニ於テ簡閱點呼ヲ受ケムトスル者ハ情ヲ具シ本籍地又ハ寄留地ニ於ケル簡閱點呼執行期日ヨリ十四日所管鎮守府ヲ異ニ前ニ到達スル様寄留地ノ市町村長ヲ經テ在籍鎮守府ノ海軍人事部長ニ願出ツルコトヲ得

第一項ノ届書及前項ノ願書ニハ本籍地、寄留地、離現役年月日、役種、官職ヲ明記スヘシ

第五十三條ノ二 海軍人事部長ハ前條第二項ノ願書ヲ受ケタル場合ニ於テ事情止ムヲ得スト認メタルトキハ之ヲ許可スヘシ

第五十三條ノ三 第五十三條ノ寄留地カ所管鎮守府ヲ異ニスル場合ニ在リテハ本籍地所管鎮守府ノ海軍人事部長ハ必要ナル事項ヲ寄留地所管鎮守府ノ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第五十四條 市町村長ハ全家所在不明等ノ爲令狀ヲ交付スルコト能ハサル者アリタルトキハ其ノ人名事由ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

前項ノ手續ヲ終リタル後令狀ヲ交付シタル者アルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第五十五條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ハ指定ノ日時ニ點呼場ニ到著シ簡閱點呼執行官ニ届出ツヘシ

第五十六條 令狀又ハ參會ノ通報ヲ受ケタル者ニシテ傷病、疾病、犯罪、所在不明又ハ第四十五條ニ掲ケル事故ノ爲參會スルコト能ハサル者ハ本人又ハ本人ニ代リ令狀ヲ受ケタル者ヨリ參會日時迄ニ簡閱點呼執行官ニ宛テタル届書及令狀ヲ本籍地市町村長ヲ經テ寄留地ニ於テ簡閱點呼ニ參會スヘキ届出ヲ爲シタル者又ハ之ニ差出スヘシ但シ傷病、疾病ニ係ルトキハ醫師ノ診斷書、其ノ他ノ場合ニ在リテハ市町村長、憲兵又ハ警察官吏ノ證明書ヲ添付スヘシ

第五十七條 市町村長前條ノ規定ニ依ル届書及令狀ヲ受ケタルトキハ調査ノ上其ノ都度其ノ人名及事由ヲ憲兵及警察官吏ニ通知スヘシ

第五十八條 全家所在不明等ノ爲交付スルコト能ハサル令狀及第五十六條ニ掲ケル事故ニ因リ參會スルコト能ハサル者ノ届書及令狀ハ點呼開始迄ニ町村長ハ郡長ニ差出シ郡市長ハ之ヲ簡閱點呼執行官ニ差出スヘシ

第五十九條 郡市町村長ハ簡閱點呼ニ參列スヘシ

第六十條 (削除)

第六十一條 選參ノ爲簡閱點呼ヲ終ラサル者ニハ更ニ參會ヲ命スルコトヲ得  
第六十二條 簡閱點呼ニ關シテハ第二十七條乃至第三十條ノ規定ヲ準用ス  
市長令狀ヲ各人ニ交付スルノ方法ニ付テハ第二十七條ノ規定ヲ準用ス

第五章 罰則

第六十三條 正當ノ事由ナクシテ第十六條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ五十圓以下ノ罰金又ハ十日以上ノ拘留若ハ五圓以上ノ科料ニ處ス  
第六十四條 正當ノ事由ナクシテ簡閱點呼ニ參會セサル者ハ三日以上ノ拘留又ハ三圓以上ノ科料ニ處ス  
第六十五條 正當ノ事由ナクシテ第二十八條第二十九條第三十一條第五十六條ノ規定及之ヲ準用シタル規定ニ違背シタル者ハ二日以上ノ拘留又ハ二圓以上ノ科料ニ處ス

附則

本則ハ大正六年四月一日ヨリ之ヲ施行ス  
海軍召集條例施行細則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

● 横須賀鎮守府召集區内海軍召集事務取扱規程

改正 大正四年八月訓令第四〇號

明治四十三年五月二十七日  
訓令第三十九號

横須賀鎮守府召集區内海軍召集事務取扱規程左記ノ通定メタル旨横須賀鎮守府司令長官ヨリ通知アリタリ右ニ依リ取扱フヘシ  
郡役所 警察署 警察分署 市役所 町村役場

横須賀鎮守府召集區内海軍召集事務取扱規程

第一章 總則

第一條 本規程ハ海軍召集條例及同施行細則ニ基キ横須賀鎮守府召集區内官衙並公署ニ於ケル海軍豫備役後備役下士卒ノ召集ニ關スルコトヲ定ム  
第二條 本規程中條例トアルハ海軍召集條例、細則トアルハ海軍召集條例施行細則ヲ謂フ  
第三條 召集事務ニ關シ責任ヲ有スル官吏公吏ハ召集實施取扱手續ヲ定メ召集ニ關シ自ラ計畫準備シタル事項ヲ記入シ置キ召集實施ニ際シ事務ノ簡捷ヲ圖ルヘシ  
第四條 町村長ハ海軍豫備役後備役下士卒ヨリ鎮守府司令長官若クハ海軍人事部長宛ノ願届書ヲ受ケタルトキハ總テ所轄郡長ヲ經由スヘシ  
第五條 官衙並公署ニ於テ應召員身上ニ關スル願届書ヲ受ケ之ヲ鎮守府若クハ海軍人事部長ニ轉致スルトキハ該願届書ノ餘白ニ發受年月日發受番號官衙公署名ヲ附記シ主任者捺印スルモノトス  
第二章 召集準備  
第六條 召集ニ關スル準備書類ニハ平時ニ於テ不動文字ヲ悉ク記註シ置クヘシ  
第七條 郡市長細則第二十四條ニ依リ他郡市(横須賀鎮守府召集區内)應召ノ届出ヲ受ケ召集令狀ヲ當該郡市長ニ移送スルトキハ其召集名簿寫ヲ添フヘシ  
又海軍人事部ニ送附スヘキ届書餘白ニハ「召集令狀移送濟」ト附記スルモノトス  
第八條 郡市長ハ條例第二十二條第一項但書ニ依リ應召者ニシテ他郡市へ寄留換ノ届書ヲ受ケタルトキハ召集令狀ヲ其本籍郡市長ニ移送スヘシ  
第九條 郡市長ハ外國、朝鮮、臺灣、樺太ニ在留應召ノ届書ヲ受ケタルトキハ充員召集令狀及演習召集令狀ヲ海軍人事部長ニ返附スヘシ  
第十條 郡市長ハ外國、朝鮮、臺灣、樺太在留(旅行、渡航、航海共)ノ届書及海軍下士卒服役條例第四十條第二項前段ノ届書ヲ受ケタルトキ並海軍人事部長ヨリ演習召集免除者ノ通知ヲ受ケタルトキハ演習召集令狀ヲ海軍人事部長ニ返附スヘシ但シ船舶乗組ノ者ハ其ノ常航路外國、朝鮮、臺灣、樺太間ノ港灣ニシテ内國港灣ニ寄泊セサルモノニ限ル  
第十一條 郡市長ハ條例第二十二條第一項但書ニ依リ應召者ニシテ外國、朝鮮、臺灣、樺太在留ノ届書ヲ受ケタルト

キハ充員召集令狀ヲ其本籍郡市長ニ移送シ演習召集令狀ヲ海軍人事部長ニ返附スヘシ

第十二條 郡市長ハ第一國民兵役編入、免官、免役、死亡、失踪宣告、死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ

處セラレタル者アルトキハ充員召集令狀及演習召集令狀ハ召集名簿ニ對照ノ上ニ之ヲ燒却スヘシ

郡市長前項ニ依リ召集令狀ヲ燒却シタルトキハ第一國民兵役編入、免官、免役者ニ在リテハ其ノ事由及官職氏名ヲ

其ノ他ニ在リテハ該屆書ニ召集令狀燒却ノ旨ヲ附記シ主任者之ニ捺印ノ上海軍人事部長ニ通報スルモノトス

第十二條ノ二 郡市長ハ寄留地應召、船籍港應召及運航港應召ノ者ニシテ前條第一項ノ事故ニ該ル者アリタルトキ

ハ其ノ都度本籍地郡市長ニ通知(外國在留應召者ニ在リテハ人事部長ヨリ)スルモノトス

第十三條 召集名簿ハ左記各號ニ依リ整理スヘシ

一、豫備役後備役召集名簿ハ各別冊トシ更ニ編入年別、兵種別ニ區分スヘシ

二、應召員多キトキハ編入年別及兵種毎ニ各別紙ニ認メ應召員少キトキハ編入年別及兵種毎ニ相當ノ間隔ヲ置

キ一紙中ニ列記スルモ妨ナシ

三、記載ノ順序ハ編入ノ月日古キモノヨリ順次新シキモノニ及ホスヲ例トス

四、後備役召集名簿ニハ欄外上部ニ豫備役編入ノ日即チ現役ヲ離レタル年月日ヲ記入スヘシ

五、寄留地應召、船籍港應召及運航港應召ノ者ハ其ノ氏名ヲ朱書シ本籍地ヲ記事欄ニ記入スヘシ

六、第一國民兵役編入、免官、免役、死亡、失踪宣告、死刑、無期又ハ六年以上ノ懲役若クハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル

者及他郡市ハ應召ノ者等アルトキハ削除スヘシ

七、住所及改姓名等ノ異動アルトキハ直チニ訂正スヘシ

八、召集通報人ヲ定メタルモノハ住處ノ上ニ第九様式ニヨル附箋ヲ貼附シ置キ歸郷シタルトキハ除去スルモノト

ス

九、演習召集、簡閱點呼免除ノモノ又ハ所在不明ノモノハ前號ニ準シ附箋シ置クモノトス

一〇、海軍下士卒服役條例第十六條ノ二ニヨリ豫備役編入ノ者ハ其旨記事欄ニ記入スヘシ

一一、削除スヘキモノハ朱線ニ條ヲ竝行ニ引キ記事欄ニ其理由ヲ記入シ置クヘシ

第十四條 召集令狀ハ左記各號ニ依リ整理スヘシ

一、豫備役後備役ニ分チ更ニ離現役年別ニ區分シ帶封ヲ爲シ置クヘシ

二、豫備役ヨリ後備役ニ編入ノモノ又ハ住處及改姓名等ノ異動アルトキハ其都度直ニ訂正スヘシ

三、召集通報人ヲ定メタルモノハ封筒表面ニ第九様式ニヨル附箋ヲ貼附シ置キ歸郷シタルトキハ除去スルモノト

ス

第十五條 郡長ハ管下町村役場ニ於ケル名簿ノ記入及其異動事項訂正ノ必要アリト認ムルトキハ之ヲ告知スルモノ

トス但關係書類當該町村ヲ經由スル場合ヲ除ク

第十六條 町村長ハ豫備役後備役下士卒名簿ヲ調製シ第十三條(第一、二、三、)ニ準シ整理スヘシ但名簿ノ記入及異

動事項訂正ハ郡長ノ告知及應召員ノ願届ニ依リナスモノトス

第十七條 (削除)

第十八條 召集用使丁ノ契約ハ毎年度改メ且之ヲ契約スルニ方リテハ身體健全且文字ヲ解スルモノヲ撰定スルモノ

トス

第十九條 召集用器具ハ使丁配置方面ノ數丈ク準備スルモノトス

第二十條 召集準備書類器具ニシテ充員及演習ニ供用シ得ヘキモノハ特ニ演習ノタメ準備ヲ要セス

第二十一條 官衙並公署ニ於テ準備スヘキ書類及器具左ノ如シ

道廳、府縣廳、警視廳

一、召集令達書 (自第一様式ノ一 至第二様式ノ四) (發信者受信者ノ官名ノ

二、召集令達ニ對スル返電 (ミ記入シ置クモノトス)

三、被召集員到者豫定表 (道廳府縣廳ノミ)

四、(削除)

五、海軍召集用封筒 (細則様式第一)

六、海軍召集日誌

七、海軍召集關係書類



第二編 警務 第四章 兵事

八、海軍召集ニ關スル書類目録

郡市役所

- 一、海軍豫備役後備役下士卒召集名簿 (細則様式第一)
- 二、召集令狀 (式第四)
- 三、召集令連書 (自第一様式ノ一) (至第二様式ノ四) (郡役所ノミ)
- 四、召集令連ニ對スル返電 (發信者受信者ノ官名ノミ) (ミ記入シ置クモノトス)
- 五、被召集員到着豫定表
- 六、到着期日早見表 (第四様式)
- 七、召集令狀ヲ交付シタルモノ及交付シ能ハサルモノ、人名通知書 (第六様式)
- 八、(削除)
- 九、海軍召集用封筒 (細則様式第二) (但寸法適宜)
- 一〇、海軍召集日誌
- 一一、召集令狀送附書 (第七様式)
- 一二、使丁配置(第五様式)使丁契約書、心得書
- 一三、提燈、使丁携帶用袋若ハ函(防水充分ナ)、使丁證券 (第十様式)
- 一四、海軍召集旅費領收證書 (支出規程) (市役所ノミ)
- 一五、召集令狀寫 (令狀表) (明治四十二年五月海軍省告示第八號ニ依リ鐵道面ノミ) (減價乗車ヲ要スル者ニ令狀ト共ニ交付スルモノ)
- 一六、海軍召集關係書類
- 一七、海軍召集ニ關スル書類物件目録

町村役場

- 一、豫備役後備役下士卒名簿 (細則様式第四ニ準ス但シ豫備役後備役ニ區分シ兵種編入年別ニ區分ヲ要セス)
- 二、召集令狀ヲ交付シタルモノ及交付シ能ハサルモノ、人名通知書 (第六様式)

三、(削除)

四、海軍召集用封筒 (細則様式第一) (但寸法適宜)

五、海軍召集日誌

六、海軍召集旅費領收證書 (支出規程) (第四様式)

七、使丁配置 (第五様式ニ準ス)

八、海軍召集關係書類

九、海軍召集ニ關スル書類及物件目録

警察署、警察分署

一、召集令連書 (自第一様式ノ一) (至第二様式ノ四)

二、召集令連ニ對スル返電 (發信者受信者ノ官名ノミ) (ミ記入シ置クモノトス)

三、(削除)

四、海軍召集用封筒 (細則様式第一) (但寸法適宜)

五、海軍召集日誌

六、海軍召集關係書類

七、海軍召集ニ關スル書類目録

第三章 充員召集實施

第二十二條

召集令狀面ニ記入スヘキ到着日時ハ發令ノ日ニ到着豫定日數ヲ加ヘタルモノトス  
例ヘハ某月一日發令ノトキ到着豫定日數三日ナレハ到着日ハ其月四日トナリ發令午前ナレハ午前午後ナレハ午後トナルガ如シ

第二十三條

召集令狀ノ交付ヲ受ケルモ事故ノ爲メ出發シ難キ者事故止キ再ヒ交付スル場合ニ於テ令狀面ニ記入スヘキ到着日時ハ發令ノ日ニ到着豫定日數ヲ加ヘタル外更ニ事故延滞日數ヲ加ヘタルモノトス  
例ヘハ某月一日午後發令ニシテ二日ノ後事故止ミタルトキハ到着豫定日數五日ナレハ到着日時ハ其月八日午後

第二編 警務 第四章 兵事

トナルカ如シ

第二十四條 召集令狀表面ノ「明治年月日」ハ記入ノ當日ヲ記スルモノトス

第二十五條 町村長ハ召集令狀ヲ交付シタルモノ、人名及交付シ能ハサルモノ、人名事由ヲ郡長ニ報告シ同時ニ所在憲兵警察官吏ニ通知スヘシ

郡市長ハ召集令狀ヲ交付シタルモノ、人名及交付シ能ハサルモノ、人名事由ヲ記シ細則第三十八條ノ召集封筒ト共ニ之ヲ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第二十六條 郡市長ハ全家所在不明等ノ爲メ交付シ能ハサル召集令狀又ハ交付ヲ受ケルモ止ムヲ得サル事故ノタメ出發シ難キモノ、召集令狀ヲ保管中細則第四十條第二項但書ニ依リ發程ヲ差止ムヘキ達ヲ受ケタルトキハ之ヲ海軍人事部長ニ返付スヘシ

第二十七條 警察官吏第二十五條ノ通知ヲ受ケタルトキハ速ニ其事由ヲ調査シ海軍人事部長ニ通知スヘシ

第二十八條 郡市長ハ海軍人事部長ヨリ應召員海兵團到着後身體検査ニ於テ服役ニ堪ヘスト認メ召集ヲ解キ歸郷ヲ命セラレタル者ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ之ヲ町村長ニ市町村長ハ之ヲ所在憲兵警察官吏ニ通知スヘシ

第二十九條 郡市長ハ海軍人事部長ヨリ充員召集解除ニ際シ傷痍、疾病、犯罪、逃亡其他ノ事故ニ依リ歸郷セシムルコト能ハサル者ノ通知ヲ受ケタルトキハ郡長ハ町村長ニ市町村長ハ之ヲ本人ノ家族ニ通達スルモノトス

第四章 充員召集解除

第三十條 充員召集ヲ解除セラレタル應召員ニ對シテハ海軍下士卒服役條例第二十七條ヲ準用スヘシ

第五章 演習召集實施

第三十一條 演習召集實施ニ關シテハ第三章(第二十六條)ノ各條ヲ準用ス

第三十二條 郡市長ハ全家所在不明等ノ爲メ召集令狀ヲ交付シ能ハサルモノニシテ演習ノ前中期ヲ經過シタルモノ及條例第四十七條但書該當者ノ召集令狀ハ直チニ海軍人事部長ニ返付スヘシ

第六章 簡便點呼

第三十三條 市町村長ハ全家所在不明等ノタメ點呼令狀ヲ交付シ能ハサルモノアルトキハ其人名及事由ヲ附シ町村長ハ郡市長ニ郡市長ハ點呼執行日時ニ點呼執行官ニ差出スヘシ

第三十四條 市町村長ハ點呼令狀ノ交付ヲ終リタルトキハ其封筒ヲ取據メ町村長ハ郡市長ニ郡市長ハ點呼執行日時ニ點呼執行官ニ差出スヘシ

第七章 雜則

第三十五條 海軍召集ニ關スル書類簿冊ハ充員ト演習トヲ各別ニ區分シ各目録ヲ附シ鎖鑰ヲ有スル箱ニ保管シ海軍召集ニ關係ナキ者ヲシテ閱覽セシム可ラス

第三十六條 海軍人事部長ハ必要ニ際シ郡市役所ニ於ケル召集名簿寫ノ送付ヲ受ケ之ヲ照合若ハ検査スルコトアルヘシ

第三十七條 官衙公署ニ於テ召集令狀其他召集ニ關シ重要ナル書類ヲ郵送スル場合ハ必ス書留郵便ニ附スルモノトス

第三十八條 市町村長ハ海軍豫備役後備役下士卒ヲシテ其居宅ノ見易キ所ニ「在郷海軍々人何某」ト書シタル門札ヲ掲クシムヘシ

(様式)

第一様式ノ一 「用紙美濃野紙」以下皆同シ

充第 號

日午 海軍豫備役後備役軍人ノ充員召集ヲ令セラ

明治 年 月 日

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名 圖

第一様式ノ二

充第 號

日午 海軍 豫備下士卒ノ充員召集ヲ令セラ

明治 年 月 日

第一編 警務 第四章 兵事

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名 圖

第一様式ノ三

充第 號

日午 年 月以後現役ヲ離レタル海軍 備役

下士卒ノ充員召集ヲ令セラ

明治 年 月 日

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名 圖

第二様式ノ一

演第 號

日午 年 月 日ヨリ 日間 演習施行ノ

タメ海軍豫備役後備役軍人ノ演習召集ヲ令セラ

明治 年 月 日

第二編 警務 第四章 兵事

第二様式ノ二

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名

演第 號

日午 月 日ヨリ 日間 演習施行ノ

タメ海軍

備役下士卒ノ演習召集ヲ令セラル

明治 年 月 日

第二様式ノ三

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名

演第 號

日午 月 日ヨリ 日間 演習施行ノタメ

年 月以後現役ヲ離レタル海軍 備役下士卒ノ演習召集ヲ令セラル

明治 年 月 日

地方長官(何郡長)(何警察署長)氏名

第二様式ノ四

演第 號

日午 月 日ヨリ 日間 演習施行ノタメ

第四様式

到署期日早見表

發令ノ日	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

第三様式  
 (第一、第二様式ノ電文記入例)  
 ハチ(八)ニチゴセンザンシウサン(三三)ホンシ(四)ガ  
 ツイゴケンエキチハナレタルカイゲンヨビエキカシソ  
 ツノジウインシヨウシウチレイセラル、アイチケンチジ  
 注意  
 一、電文中ノ数字ハ凡テ假名ヲ以テ書シ其下ニ本  
 例ノ如ク括弧内ニ日本数字ヲ附記スルモノト  
 ス  
 二、發簡番號及發信年月日ハ記入ヲ要セス  
 三、發信者ノ官名又ハ職名ノミチ記シ氏名ハ省略  
 スルモノトス

被召集員到 著豫定日數	六	日	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四	二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十			
一、三、五、七、八、 十、十二月ノ到著日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
四、六、九、十一月 ノ到著日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
平年二 ノ到著日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
閏年二 ノ到著日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

第五様式

使丁配置

備考 一、本表中ノ被召集員到著豫定日數ハ假定ノモノナリ  
 二、本表ハ鎮守府ヨリ送付ノ被召集員到著豫定表ニ依リ調製スルモノトス

使丁差立方面	町	村	名	往復里數	出發ヨリ歸著迄ニ 要スル豫定時間	使丁員數
第一方面	何	何	何	陸路、何里	海路、何里	何
第一方面	何	何	何	陸路、何里	海路、何里	何

第一編 警務 第四章 兵事

第二方面	何村	陸路、何里	何時
第三方面	何村	陸路、何里	何時

備考 使了差遣ノ順序ハ最遠距離ノ町村ヲ先ニスルモノトス

第六様式

明治 年 月 日

海軍人事部長(何憲兵分隊長)何郡長(何警察署長)氏名殿

召集令狀交付ニ關スル件

理	由	住	所	官	職	氏	名
何々ノタメ交付スル能ハ	何郡	何町	何番地	豫備役	海軍一等水兵	何	某
同	同	同	同	同	海軍一等機關兵	何	某
同	同	同	同	後備役	海軍一等看護	何	某

右通知(報告)ス

第七様式

明治 年 月 日

何郡長 氏 名 印

何町村長氏名殿  
一充員(演習)召集令狀

通

右送付ス  
追テ受領證ヲ取纏メ送付スヘシ

第八様式 (削除)

第九様式

何郡何町村へ寄留  
何町(何村)何番地  
召集通報人 何之某

何縣巡查奉職中  
演習召集簡閱點呼免除

使了證票

○ 軍事使了證票

印公官 署衙

(木製) (寸法適宜)

此者ハ在郷軍人召集ノ使了ニシテ携帶  
セル書類ハ軍事上極メテ大切ナルモノ  
ナルカ故ニ若シ途中ニ於テ傷損ヲ受ケ  
或ハ疾病等ニ罹リタルコトヲ發見シタ  
ルハ疾等ニ罹リタルコトヲ發見シタ  
ル人ハ能ク保護ヲ與ヘ携帶品ノ紛失セ  
サル様注意シ直ニ附近警察署又ハ巡査  
駐在所又ハ町村役場ニ届出テラルヘシ

第十様式 附表

各鎮守府召集區域一覽表

所管	鎮守府	道	縣
横須賀鎮守府	北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、千葉、栃木、群馬、埼玉、東京、		
吳鎮守府	神奈川、山梨、静岡、愛知		
佐世保鎮守府	三重、和歌山、滋賀、奈良、大阪、兵庫、岡山、廣島、山口、鳥取、島根、		
	大分、福岡、佐賀、長崎、熊本、鹿兒島、宮崎、沖縄、徳島、香川、愛媛、		
	高知		

第一編 警務 第四章 兵事

本表ハ大正四年十二月一日ヨリ施行  
海軍下士卒兵種等級別一覽表

一等兵曹	二等兵曹	三等兵曹	一等水兵	二等水兵	三等水兵	四等水兵	五等水兵
一等信曹	二等信曹	三等信曹	一等兵	二等兵	三等兵	四等兵	五等兵
一等樂手	二等樂手	三等樂手	一等生	二等生	三等生	四等生	五等生
一等船匠	二等船匠	三等船匠	一等木工	二等木工	三等木工	四等木工	五等木工
一等機關兵曹	二等機關兵曹	三等機關兵曹	一等看護兵	二等看護兵	三等看護兵	四等看護兵	五等看護兵
一等看護手	二等看護手	三等看護手	一等看護	二等看護	三等看護	四等看護	五等看護
一等筆記	二等筆記	三等筆記	一等主厨	二等主厨	三等主厨	四等主厨	五等主厨
一等厨宰	二等厨宰	三等厨宰					

### ●海軍召集事務取扱手續

改正 大正四年八月訓令第四一號

大正三年十月十三日  
訓令第三十九號

海軍召集事務取扱手續左ノ通之ヲ定ム

- 第一條 郡市長及警察署長ハ(分署長ヲ含)召集事務ニ關シ規程ヲ設ケ又ハ互ニ協議シタルトキハ之ヲ知事ニ報告ス
- 第二條 郡市長ハ隨時各町村ニ於ケル召集事務ノ整否ヲ檢閲シ又ハ郡書記ヲシテ之ヲ檢閲セシメ其狀況ヲ附表第一様式ニ準シ知事ニ報告スヘシ
- 第三條 (削除)
- 第四條 警察署長ハ巡查駐在所及巡查派出所巡查ヲシテ其區域内ニ於ケル海軍在郷軍人名簿ヲ附表第二様式ニ準シ調製セシメ其ノ異動ヲ確ムル爲臨時之ヲ市役所及町村役場ノ名簿ト對照セシムヘシ
- 第五條 郡市長ハ召集期日後五日以内ニ召集應否區分表附表第三様式ヲ調製シ知事ニ報告スヘシ但報告後不應者ニシテ應召シタルトキハ其時々報告スヘシ

郡役所 市役所 警察署 警察分署 町村役場

附則

明治四十年三月神奈川縣訓令第十八號海軍召集事務取扱規定ハ之ヲ廢止ス  
第一様式 大正何年度海軍召集事務檢閱狀況

- 一、檢閲ヲ爲シタル者官職氏名
  - 二、檢閲ノ時期
  - 三、檢閲方法
  - 四、召集事務一般狀況
- 何郡役所
- 五、町村長及兵事主任書記服務ノ狀況
  - 六、檢閲成績
  - 七、指示並注意事項
  - 八、其ノ他必要ト認ムル事項
- 知事 宛 郡 長

住	所	兵	役	兵種等級	氏名	摘	要
何町村大字何番地	豫備	役	一等水兵	何	某		

### 第三様式

海軍充員(演習)召集應否區分表

(召集ノ日)

### 第一編 警務 第四章 兵事

市町村	召集總員		應召員		不 應	犯罪 失踪 旅行 疾病 何々 何々 員 計
	卒	下士	卒	下士		
何村	卒	下士	卒	下士		
計	卒	下士	卒	下士		

右及報告候也

大正 年 月 日  
知事 宛

官職 氏

名印

### 簡閱點呼ニ際シ全戸不明者ニ關スル件

大正八年七月二十二日  
未警保收第一二、五五七號保安課長

本件ニ關シ別紙寫ノ如ク甲府聯隊區司令部ヨリ通報有之候條相當御配意相成度右照會候也

(別紙)

甲府聯隊區司令部 演發第四八八八號 大正八年七月十八日 甲府聯隊區司令官  
ヨリ 警察部長宛

簡閱點呼(召集共)ニ際シ全戸所在不明者ニ對シ證明書送附方ノ件依頼

一、在郷軍人ノ増加ト共ニ所在不明者(全戸所在不明者ヲ含ム)モ亦年々増加スルハ止ムヲ得サル次第ニ候得共  
斯クテハ國軍整備上誠ニ遺憾ニ堪ヘス極力之レカ豫防ニ努ムルト共ニ一方又之等ノ所在ヲ探搜シ法規ニ依リ  
處分ヲ嚴正ニシ在郷軍人ノ自覺ヲ促スノ必要有之候ニ付テハ簡閱點呼召集等ニ於テ之等所在不明者(全戸所  
在不明共)ヲ發見セハ法規ニヨリ嚴密ノ調査ヲナシ直ニ告發ヲナス考ニ候ニ就テハ爾今全戸所在不明者ニ對

シテ召集令施行細則第三十四條第三項ノ通知アリタルトキハ服役令施行規則第十三條第三項ノ證明書ト認メ  
當部ニ御送附有之様致度候條條管下關係警察署へ通報方可然御取計有之度及依頼候也  
追テ當部ニ送附セラレル際ニハ便宜當該市町村長へ送ラレ度希望候左スレハ市町村長ハ召集令施行細則第三  
十四條第三項ノ通知ト共ニ當部ニ送附可致候間爲念申添候  
二、服役令施行規則第十三條第三項ノ證明書(全戸所在不明者ニ對スルモ同様)ニハ不明トナリタル事柄及不明ト  
ナリタル年月日記入セラレ度及依頼候也

### 軍隊行軍並演習ニ關スル報告ノ件

明治四十二年四月二十日  
訓令第二十五號

改正 大正二年一〇月訓令第六二號

郡役所 警察署 警察分署 市役所 町村役場

軍隊行軍並演習ニ關スル報告ノ件左ノ通之ヲ定ム

第一條 軍隊若ハ軍隊指揮官ヨリ行軍又ハ演習ノ通知ヲ受ケタルトキ若ハ之ヲ知得シタルトキハ直ニ左記事項ヲ全部  
知得セサルトキハ其ノ一部ヲ報告ヲ當廳ニ報告スヘシ

一 軍隊名及該指揮官官氏名

二 宿泊月日

三 人員及馬匹數

四 宿泊地點

前項ノ場合ニ於テ町村ニ在リテハ直ニ郡長ニ報告スヘシ

第二條 行軍又ハ演習終了シタルトキハ左記事項ヲ三日以内ニ當廳ニ報告ノ場合ノ外報告ヲ要セス  
郡長ニ在リテハ機動演習スヘシ但シ警察  
署及同分署ニ在リテハ左記第一號乃至第五號ハ報告ヲ要セス

一 損害ヲ受ケタルトキハ其ノ狀況及損害額時價ニ計  
算スヘシ

第一編 警務 第四章 兵事

- 二 損害ノ賠償ヲ受ケタルトキハ其ノ賠償金額並人員
  - 三 市役所町村役場ニ於テ行軍演習ノ爲メセシ費用ニシテ軍隊ヨリ賠償ヲ受クルコト能ハサル金額
  - 四 市町村有志團體ノ軍隊待遇ニ要セシ金額
  - 五 軍隊ヨリ債主ニ支拂フヘキ金額ニシテ市町村長ニ於テ一時受領セシ總金額
  - 六 物資需用供給ニ關スル狀況
  - 七 宿舎主ノ待遇狀況
  - 八 軍隊ノ地方ニ對スル狀態
  - 九 市町村有志團體ノ軍隊ニ對スル狀態
- 郡長ノ報告ニ在リテハ町村吏員ノ職務ノ狀況ヲモ附記スヘシ
- 第三條 前二條ノ事項ハ旅團以上ノ演習(聯隊連合演習)及皇族御參加ノ場合ノ外報告ヲ要セス
- 附則
- 明治二十二年八月訓令甲天第三十四號陸海軍行軍演習ノ件ハ之ヲ廢止ス

### ● 兵事機密、秘密書類整理規程

明治四十四年八月十一日  
訓令第四十一號

郡役所 警察署 同分署 市役所 町村役場

兵事機密、秘密書類整理規程左ノ通之ヲ定ム

- 第一條 兵事機密、秘密書類整理規程
  - 第二條 兵事ニ關スル機密、秘密書類ハ本規程ニ依リ整理スヘシ
  - 第三條 召集及徵發ニ關スル書類中、軍事機密書類ト他ノ秘密書類トハ之ヲ區別シ目錄ヲ附シ編綴スヘシ
- 後二週日以内ニ之ヲ燒却シ其ノ目錄ヲ添ヘ發行官衙ニ報告スヘシ

- 第四條 軍事機密ニ關スル書類ノ發送ハ書留郵便ヲ以テスヘシ
- 第五條 機密、秘密書類ハ保管日録書ト共ニ必ス鎖鑰アル書箱ニ格納シ主管官公署長ノ責任ヲ以テ主務吏員ヲシテ保管セシムヘシ
- 第六條 機密、秘密書類ハ之ヲ閱覽スル職權アルモノ、外閱覽セシムルコトヲ得ス
- 第七條 機密、秘密書類ヲ紛失又ハ燒失シタルトキハ其ノ理由ヲ詳具シ發行官衙及監督官廳ニ報告スヘシ
- 第八條 機密、秘密書類ノ調査ニ際シ之ヲ展開スルトキハ他人ノ目ニ觸レサル様特ニ注意スヘシ
- 第九條 機動演習ニ關スル秘密書類モ第三條ヲ除ク外本規程ニ準シ取扱フヘシ

### ● 徵兵相當者並現役兵トシテ入營者ノ身上調査ニ關スル件

明治四十三年七月一日  
訓令第四十四號

警察署 警察分署

警察署長同分署長ハ徵兵相當者並現役兵トシテ入營スヘキモノノ身上ニ關シ市町村長ニ於テ調査不能ノ點ニ就キ照會アリタルトキハ之ヲ調査ニ援助ヲ與フヘシ

### ● 在郷軍人ニ關スル通報内規ニ關スル件

大正元年十一月二十九日  
示令第三〇號

陸軍下士卒退營者(在郷軍人ノ徽章ヲ佩用ノ管)ノ義ニ關シ別紙寫ノ陸軍次官ヨリ内務次官ニ對スル照會ノ趣旨更ニ其筋ヨリ通牒ノ次第之レアルヲ以テ本旨趣ヲ一般ニ示達シ自今退營者ノ行動ニ關シテハ周密ノ視察ヲ遂ケ十分當該官憲ノ要求ニ副フヘキコトニ努メラルヘタ尙從來ノ在郷軍人ニ關スル事項ヲ合セ整理ヲ期スル爲メ左ノ通内規相定メ候條右心得フヘシ

明治四十五年二月示令第七號ハ之ヲ廢止ス

大正元年十一月二十九日

神奈川縣警察部長

在郷軍人ニ關スル通報内規

- 一、陸軍下士卒ノ退營者(服役滿期又ハ歸休兵等)ニシテ故ナク衛戍地若ハ市街地等ニ滞在スルカ又ハ金錢ヲ浪費スルモノアルトキハ必要ニ應ジ相當注意ヲ與フル等機宜ニ適スル措置ヲ爲スヘシ
- 二、退營者ノ歸郷後ニ於ケル行動竝ニ各其生業ニ就服シタルヤ否ヤヲ視察シ其ノ情況ハ隨時遺漏ナク關係隊長ニ通報スヘシ
- 三、退營者ノ住所氏名ハ隨時市町村ニ就キ照査スルヲ要ス
- 四、明治四十三年四月内示第三號第七項ニ據ル在郷軍人素行調査報ハ一般ヲ指導矯正スルノ資料タルヘキ素行ノ特ニ善良ナルカ又ハ著ク不良ナル者ニ限リ毎年一回(五月盡日迄)所屬聯隊區司令官ニ通報スヘシ但シ該當者ナキトキハ其旨通報スルヲ要ス
- 五、在郷軍人ニ係ル犯罪事實發覺シタルトキハ事件ノ訴追ト同時所屬聯隊區司令官ニ左記事項ヲ通報スヘシ
  - 一、兵科(徵集年)官等氏名住所
  - 二、犯罪事實ノ概要
  - 三、前各項ニ關スル書類ニシテ他ニ必要ヲ認メサルトキハ在郷軍人名簿所屬書類トシテ整理編綴シ置クヲ要ス

### ● 海岸砲臺射擊警戒旗掲揚方

明治三十四年十一月十九日 告示第二百七十號

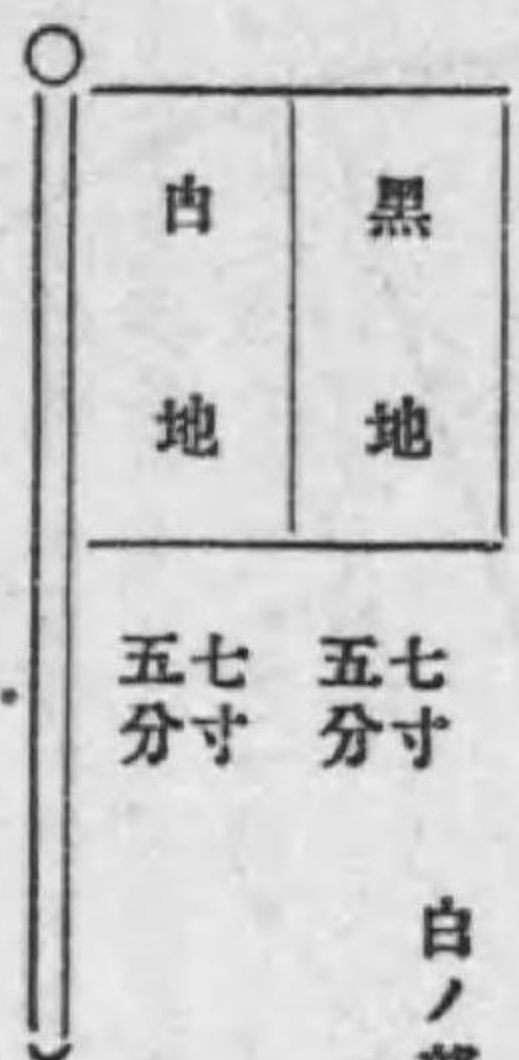
- 海岸砲臺ニ於テ大砲射擊ノトキハ自今左ノ手續ニ據リ施行スル旨陸軍省ヨリ通牒アリタリ
- 明治二十四年三月告示第十號ヲ廢止ス
- 一、射擊演習中ハ射擊開始前ニ於テ最モ見易キ地點ニ警戒旗(赤色)ヲ掲ク且場所ニ因リテハ通行禁止ノ標札ヲ掲クルコトアリ
  - 二、警戒の船ノ大橋上若ハ砲臺ニ於テ旗ヲ掲ケルハ射擊ヲ施行スルモ支障ナキト或ハ將ニ射擊ヲ行ハムトスルコトヲ

示スモノニシテ浮標ノ設置シアルハ目標ノ行動スヘキ區域ヲ表示スルモノトス

### ● 横須賀軍港内通行船舟旗章掲揚方

明治三十四年十月十五日 告示第二百三十六號

横須賀軍港規則第六條ニ依リ沿岸居住民所有ノ船舟第二區内ヲ通航ノ際ハ他ノ船舟ト識別スル爲左記旗章掲揚スヘキ旨横須賀鎮守府司令長官ヨリ通知アリタリ



白ノ部ニ當該船舟所有者ノ住所姓名ヲ墨書ス但切地ハ適宜トス

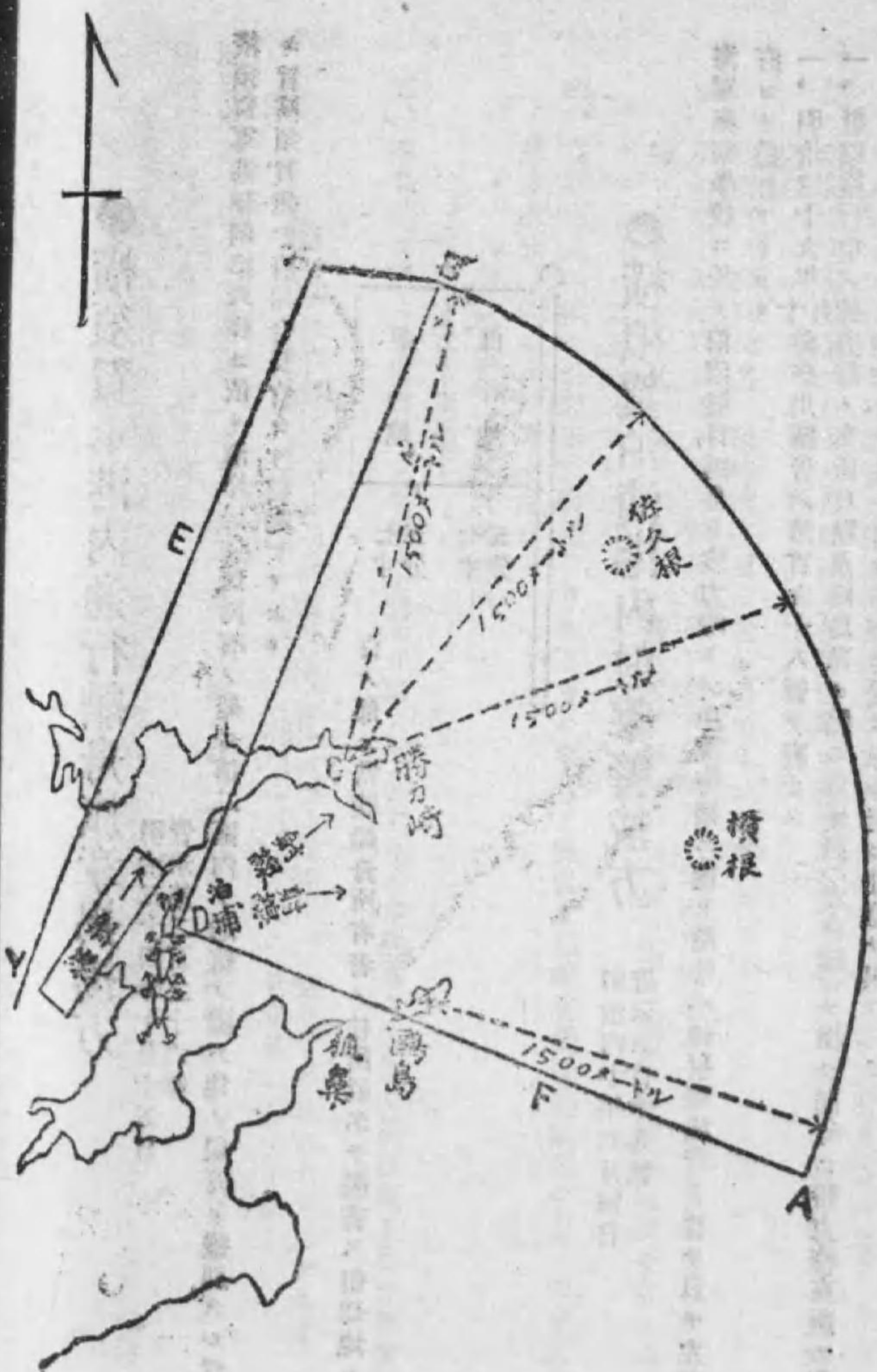
### ● 横須賀泊浦港内射擊警戒方

明治四十年六月四日 告示第一百十九號

- 海軍砲術學校ニ於テ泊浦港口嶋島ト勝力崎トノ中間海面ニ向ヒ隨時小銃射擊施行ノ旨ヲ以テ左記警戒法横須賀鎮守府ヨリ通知アリタリ
- 一、明治三十九年十月神奈川縣告示第九十八號ヲ廢止ス
  - 二、射擊施行中ノ勝力崎ノ高所ノ點及嶋島頂ノ點ニ危險旗(赤色旗)ヲ樹テ同時ニ勝力崎高所ニ「メガフォン」ヲ携帯セル一名ノ監視兵ヲ出シ置キ危險界ニ接近スル舟艇ニ注意ヲ與フ
  - 三、勝力崎嶋島ノ高所ニ危險旗(赤色旗)ノ掲揚シアル間ハ總テノ舟艇ハD A B X Yノ扇形内ニ入ルヘカラス
  - 四、特ニ至急公務等ノ爲危險界内ヲ通過セムトスルモノハ且又ハF附近ヨリ監視兵ニ通知シC點ニアル危險旗ヲ一



時降下シタル間ニ通過スルヲ要ス



● 要塞地帯法

明治三十二年七月十五日  
法律第百五號

大正四年六月法律第一七號  
朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル要塞地帯法ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

要塞地帯法

第一章 總則

- 第一條 要塞地帯トハ國防ノ爲建設シタル諸般ノ防禦營造物ノ周圍ノ區域ヲ云フ
- 第二條 要塞地帯ノ幅員ハ防禦營造物ノ各突出部ヲ連結スル線ヲ基線トシ此ノ線ヨリ外方一定ノ距離以内ニ於テ之ヲ定ム
- 第三條 要塞地帯ハ陸地ト海面トノ間ハス之ヲ三區ニ分チ各區ノ幅員ハ左ノ區別ニ從ヒ陸軍大臣之ヲ定メ竝之ヲ告示ス其ノ之ヲ變更スル場合亦同シ但シ陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域カ海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スルカ或ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合竝陸軍用地カ海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テハ陸軍大臣海軍大臣協議ノ上之ヲ定メ連署シテ告示ヲ爲スコトヲ要ス
- 第一區 基線ヨリ測リ二百五十間以内及基線ト防禦營造物間ノ區域
- 第二區 基線ヨリ測リ七百五十間以内
- 第三區 基線ヨリ測リ二千二百五十間以内
- 第四條 要塞司令官鎮守府司令長官要港部司令官及築城部本部長ハ要塞地帯ヲ劃スル爲其ノ他必要ト認ムル場合ニ於テハ部下官僚ヲシテ要塞地帯内及第七條第二項ノ區域内何レノ地ヲ間ハス出入セシムルコトヲ得但シ陸海軍用地内ニ出入セシメントストキハ互ニ當該官廳ノ承認ヲ經ルヘシ
- 第五條 陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ニ關聯セサル海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域内ニ關シテハ此ノ法律ニ規定スル陸軍大臣ノ職務ハ海軍大臣之ヲ行ヒ要塞司令官ノ職務ハ鎮守府司令長官要港部司令官之ヲ行フ
- 第六條 此ノ法律ハ防禦營造物ノ設ナシト雖之ヲ設クルコトニ決定シタル箇所ニ於テ其ノ豫定防禦營造物ノ各突出

部ヲ聯結スル線ヲ基線トシ第二條第三條及第七條第二項ニ定メタル區域ニ付テ亦之ヲ適用ス但シ基線以內ノ區域ハ第一區ニ準ス

第二章 禁止及制限

第七條 何人ト雖要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ要塞地帯内水陸ノ形狀ヲ測量、撮影、模寫、錄取シ又ハ要塞地帯内ヲ航空スルコトヲ得ス

前項ノ規定ハ要塞地帯外ト雖第三區ノ境界線ヨリ外方三千五百間以內ノ區域ニ於テ之ヲ適用ス

第八條 要塞司令官ハ要塞地帯内ニ入り兵備ノ狀況其ノ他地形等ヲ視察スル者ト認メタルトキハ之ヲ要塞地帯外ニ退去セシムルコトヲ得

第九條 要塞地帯ノ第一區ニ屬スル水面ニ在リテハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ漁獵、採藻及艦船ノ繫泊、土砂ノ掘鑿ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 第一區内ニ於テ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 不燃質物ヲ以テ築造セル家屋及倉庫
- 二 浴室及固定竈爐
- 三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ二尺ヲ超ユル諸般ノ建築物

第十一條 第一區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 埋葬地
- 二 水車及風車
- 三 井
- 四 容易ニ他ニ移動スヘカラサル器械器具ヲ備フル家屋
- 五 生垣及木造ノ塙圍
- 六 第十條第一號ニ於テ禁セサル家屋及倉庫

第十二條 第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

二 埋葬地

三 不燃質物ヲ以テ築造セル高サ三尺ヲ超ユル諸般ノ建築物

第十三條 第一區第二區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ屋内外ト屋外ト間ハス累積スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 第一區内ニ於テハ高サ五尺、第二區内ニ於テハ高サ八尺以上ニ累積スル不燃質物及石炭類
- 二 第一區内ニ於テハ高サ一丈三尺、第二區内ニ於テハ高サ一丈七尺以上ニ累積スル薪炭及竹木材

第十四條 第一區第二區内ニ於テハ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ家屋倉庫及諸般ノ建築物ヲ改築増築スルコトヲ得ス

第十五條 各區内ニ於テ要塞司令官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

- 一 地表ノ高低ヲ永久ニ變更スル土工即チ堆土、開鑿等
- 二 溝渠、鹽田、排水及灌水
- 三 公園、育樹場、竹木林、菜園及桑茶畑
- 四 耕作地

第十六條 各區内ニ於テ陸軍大臣ノ許可ヲ得ルニ非サレハ新設若ハ變更スルコトヲ得サルモノ左ノ如シ

堤塘、運河、道路、橋梁、鐵道、隧道、永久棧橋

第十七條 本章ノ禁止制限ニ違背シ新設改築増築變更シタル家屋倉庫其ノ他ノ建築物又ハ累積物等ハ違背者ヲシテ期限ヲ定メテ之ヲ除去セシメ地形ノ變更ニ係ルモノハ之ヲ復舊セシメ期限内ニ除去復舊セサルトキ若ハ其ノ期限内ニ終了スルノ見込ナキトキ又ハ其ノ方法宜シキヲ得サルトキハ官廳ニ於テ自ラ之ヲ執行シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ執行セシメ其ノ費用ヲ義務者ヨリ徵收スルコトヲ得

前項義務者ニ於テ負擔スヘキ費用ハ國稅ノ滯納處分ニ關スル規定ニ依リ之ヲ徵收スルコトヲ得但シ政府ハ國稅ニ次キ先取權ヲ有ス

本條ノ處分ハ第十六條ノ違背者ニ就テハ陸軍大臣之ヲ爲シ其ノ他ノ違背者ニ就テハ要塞司令官之ヲ爲スヘシ

第十八條 地帯ノ禁止制限ニ關シ官廳ノ處分ニ服セサル者ハ其ノ處分ニ就テノ告示又ハ通達ヲ受タル日ヨリ三十日

以內ニ陸軍大臣ニ訴願スルコトヲ得但シ訴願中處分ノ執行ヲ妨ケス

第十九條 陸軍大臣ハ場合ニ依リ或區域内ニ限リ特ニ本章禁止制限ノ全部若ハ一部ヲ解除スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ解除ノ事項及其ノ區域ヲ告示ス之ヲ變更スルトキ亦同シ

第二十條 本章ノ禁止及制限ハ陸海軍又ハ陸海軍官廳ノ行動又ハ施設ニ對シテハ之ヲ適用セス但シ陸軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ニシテ海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合若ハ軍港要港又ハ海軍用地ニ係ル場合並陸軍用地力海軍防禦營造物ノ地帯及第七條第二項ノ區域ト相關聯スル場合ニ於テ當該陸軍官廳若ハ海軍官廳力此ノ法律ニ掲ケル許可又ハ承認ヲ爲シ若ハ第十九條ノ處分ヲ爲サントスルトキハ陸軍官廳ハ當該海軍官廳ニ海軍官廳ハ當該陸軍官廳ニ協議スルコトヲ要ス

第二十一條 陸海軍以外ノ官廳ニ於テ第七條第九條第十一條乃至第十五條ニ掲ケル事項ヲ爲サントスルトキハ要塞司令官ノ承認第十六條ニ掲ケル事項ヲ爲サントスルトキハ陸軍大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第三章 罰則

第二十二條 第七條及第九條ノ禁ヲ犯シタル者ハ一年以下ノ懲役若ハ十一日以上ノ拘留又ハ五十圓以下ノ罰金若ハ二圓以上ノ料料ニ處ス第八條ニ依リ要塞司令官ニ退去ヲ命セラレ其ノ命ニ從ハサル者亦同シ

第二十三條 第七條及第九條ノ罪ヲ犯サントシテ未ダ遂ケサル者ハ未遂罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第二十四條 第十條乃至第十三條第十五條及第十六條ニ違犯シタル者ハ四十圓以下ノ罰金又ハ二圓以上ノ料料ニ處ス

第二十五條 第十四條ニ違犯シタル者ハ二圓以下ノ料料ニ處ス

第二十六條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル爲ニ設ケタル標石、標木、標札ノ類ヲ移轉シ又ハ之ヲ毀壞シタル者ハ二月以下ノ懲役若ハ十一日以上ノ拘留ニ處シ又ハ五十圓以下ノ罰金若ハ五圓以上ノ料料ニ處ス其ノ過失ニ出テタル者ハ二圓以下ノ料料ニ處ス

第四章 雜則

第二十七條 要塞地帯創設告示ノ當時家屋倉庫築造物等ノ新設、變更、改築、増築中ニ係ルモノハ此ノ法律ノ禁止制限ヲ適用セス

第二十八條 要塞地帯各區及第七條第二項ノ區域ヲ標示スル標石、標木若ハ標札ノ類ヲ建設スル爲ニ要スル敷地ノ買収及使用ニ關シテハ明治二十三年法律第二十三號陸地測量條例ノ規定ヲ準用ス

第二十九條 此ノ法律ノ施行ニ關シ必要ナル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

第三十條 此ノ法律ハ軍港規則及要港規則ノ效力ヲ妨ケルコトナシ

第三十一條 明治三十一年勅令第百七十六號ハ此ノ法律ニ依リ第三條又ハ第六條ノ告示ヲ爲シタル箇所ニ限リ其ノ效力ヲ失フ

●要塞地帯法施行規則

明治三十三年六月十六日 陸軍省令第十四號

改正 明治三十四年一〇月陸軍省令第一五號、大正三年五月第七號、四年七月第九號、八年八月第二八號  
明治三十二年陸軍省令第二十二號要塞地帯法施行規則左ノ通改正ス

要塞地帯法施行規則

第一條 要塞地帯法ニ於テ不燃質物ト稱スルハ金屬、煉瓦石、土及之ニ準スヘキモノヲ謂ヒ道路橋梁ト稱スルハ國道縣道及道幅三間以上ノ公共道路及此等ノ路線ニ架設スル橋梁ヲ謂フ

第二條 左ニ掲ケル事項ハ許可ヲ受クルコトヲ要セス

- 一 港灣ニ出入スル船舶ノ航行ニ必要ナル錘測
- 二 土地ノ丈量但シ地目地類ノ變換、土地分合、境界査定、家屋倉庫ノ新設變更並本項第四號乃至第十一號ニ掲ケル作業ニ要スルモノニ限ル
- 三 檢證ノ爲相當官憲ノ行フ測量、模寫、攝影、錄取
- 四 長サ百間ヲ超エサル生垣及木造ノ圍牆ノ新設變更
- 五 不燃質物ヨリ成ラサル建坪五十坪以下ノ家屋倉庫ノ新設變更但シ火藥庫ノ近傍ニ在リテハ其ノ外圍ヨリ外方五十間以外ノ場合ニ限ル

- 六 兩邊三百坪以下ニシテ第一區ニ在リテハ高低二尺、第二區、第三區ニ在リテハ高低三尺ヲ超エサル堆土、開墾等
- 七 宅地内ニ於テスル築山、泉水等ノ新設變更
- 八 不可抗力ニ由リ變更シタル土地物件ノ原狀ニ復スル作業
- 九 深、幅各六尺ヲ超エサル溝渠及排水、灌水ノ新設變更
- 十 竹木林ノ伐採
- 十一 面積五百坪ヲ超エサル育樹場、菜園、桑茶畑、鹽田及耕作地ノ新設變更
- 第三條 要塞地帯法第十條及第十六條ノ禁止ヲ解除シタル場合ニ於テハ尙要塞司令官ノ許可ヲ受ケルコトヲ要ス
- 第四條 要塞司令官ノ許可ヲ得ムトスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記シ其ノ作業地ノ航空ノ場合ニ在リテハ其ノ發着場、長朝鮮ニ在リテハ警察署長、同分署長、臺ノ奥書ヲ得テ當該要塞司令官ニ願出ツヘシ
- 一 要塞地帯法第七條ニ掲グルモノニ在リテハ其目的、區域及期限但シ航空ノ場合ニ在リテハ使用スヘキ航空機ノ種類及型式共
- 二 要塞地帯法第九條ニ掲グルモノニ在リテハ漁獵採藻ノ區域及期限、船舶繫泊ノ位置及期限、土砂掘鑿ノ區域、方法及期限
- 三 要塞地帯法第十條(解除シタル)乃至第十二條及第十五條及第十六條(解除シタル)ニ掲グルモノニ在リテハ其目的、設計、位置及落成期限但シ同法第十一條第四號ニ掲グルモノニ在リテハ其器械器具設備ノ設計及其位置共
- 四 要塞地帯法第十三條ニ掲グルモノニアリテハ果積物ノ種類、果積ノ目的、位置、高さ及期間
- 第五條 陸軍大臣ノ許可ヲ得ムトスル者ハ工事ノ種類、設計及落成ノ期日ヲ記シ地方長官ノ證明ヲ受ケ當該要塞司令官ヲ經由シテ陸軍大臣ニ願出ツヘシ但シ本則第七條ノ場合ニハ地方長官ノ證明ヲ要セス
- 第六條 府縣、郡、市、町、村、水利組合其他公共團體並社團法人ニ在リテハ其ノ代表者ヨリ願出ツヘシ

出願スル場合若ハ本則第七條ノ場合ニハ第四條ノ奥書ヲ要セス

第七條 許可ヲ受ケヘキ事項ニシテ別ニ法令ノ規定ニ依リ主務官廳ノ許可ヲ要スルモノハ先ツ其許可ヲ受ケ許可書ノ原本ヲ添付スルコトヲ要ス

第八條 前諸條ノ規定ハ許可ヲ得タル事項ヲ變更セムトスル場合ニ之ヲ準用ス

第九條 許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ交付ス  
許可證ハ作業ヲ實施スル者必ス携帯シ何時ニテモ憲兵、衛戍服務ノ軍人、當該要塞司令部對馬ニ在リテハ職員及警察官吏ノ閱覽ニ供スヘシ

第十條 許可證ヲ失ヒタルトキハ速ニ其ノ再下付ヲ願出ツヘシ

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ最寄警察官署又ハ憲兵隊分隊、分遣所、派遣ニ其旨ヲ届出テ作業ヲ繼續スルコトヲ得

第十一條 許可ヲ受ケタル作業者ハ作業ノ場所ニ許可濟ノ旨ヲ記シタル標札ノ類ヲ掲クヘシ但シ要塞地帯法第七條及第九條ニ掲グルモノニアリテハ此ノ限ニ在ラス

第十二條 許可ヲ受ケタル工事完成シタルトキ又ハ之ニ著手セス若ハ之ヲ中止シタルトキハ速ニ其旨ヲ作業地ヲ管轄スル市町村長ニ届出ツヘシ市町村長ハ之ヲ取纏メ毎月末日ヲ以テ當該要塞司令官ニ報告スヘシ

第十三條 許可證ヲ所持スヘキ者ニシテ當該官ノ閱覽ヲ拒ミタル者ハ二圓以上十圓以下ノ科料ニ處ス

第十四條 本則ハ陸軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニ關聯セサル海軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ヲ除キ總テノ要塞地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニ關シテ之ヲ適用ス

第十五條 本則ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ●要塞地帯法施行規則

明治三十三年六月十六日  
海軍省令第十六號

改正 明治三十四年一〇月海軍省令第一〇號、一二月第一四號、大正三年五月第六號、四年七月第七號、八年八月第二〇號  
要塞地帯法施行規則左ノ通改ム

要塞地帯法施行規則

- 第一條 要塞地帯法ニ於テ不燃質物ト稱スルハ金屬、煉化、石、土及之ニ準スヘキモノヲ謂ヒ道路ト稱スルハ國道、縣道及道幅三間以上ノ公共道路ヲ謂ヒ橋梁ト稱スルハ道路ヲ交續スル爲メ架設スルモノヲ謂フ
- 第二條 左ニ掲グル事項ハ要塞地帯法ニ依リ許可ヲ受クルヲ要セス但シ海軍大臣ノ告示スル區域及事項ニ就テハ此ノ限ニ在ラス
  - 一 港灣ニ出入スル艦船ノ航行ニ必要ナル鍾測
  - 二 土地ノ丈量但シ地目地類ノ變換、土地分合、境界査定、家屋倉庫ノ新設變更並本項第四號乃至第十一號ニ掲グル作業ニ要スルモノニ限ル
  - 三 檢證ノ爲相當官憲ノ行フ測量、摸寫、攝影、錄取
  - 四 長サ百間ヲ超エサル生垣及木造ノ圍牆ノ新設變更
  - 五 不燃質物ヨリ成ラサル建坪五十坪以下ノ家屋倉庫ノ新設變更但シ火藥庫ノ近傍ニ在リテハ其ノ外圍ヨリ外方五十間以外ノ場合ニ限ル
  - 六 面積三百坪以下ニシテ第一區ニ在リテハ高低二尺、第二區第三區ニ在リテハ高低三尺ヲ超エサル堆土、開墾等
  - 七 宅地内ニ於テスル築山泉水等ノ新設變更
  - 八 不可抗力ニ由リ變更シタル土地物件ヲ原狀ニ復スル作業
  - 九 深サ幅各六尺ヲ超エサル溝渠、排水灌水ノ新設變更
  - 十 竹木林ノ伐採
  - 十一 面積五百坪ヲ超エサル育樹場、果園、桑茶畑、鹽田及耕作地ノ新設變更
- 第三條 鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ許可ヲ得ムトスル者ハ左ニ掲グル事項ヲ記シ其ノ作業地航空ノ場合ニ發シ管轄スル市町村長 朝鮮ニ在リテハ警察署長、司分署長、臺ノ典書ヲ得テ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ニ願出ヘシ
- 一 要塞地帯法第七條ニ掲グルモノハ其ノ目的、區域及期限但シ航空ノ場合ニ在リテハ使用スヘキ航空機ノ種類

及型式共

- 二 同法第九條ニ掲グルモノハ漁獲、採藻ノ區域及期限、艦船繫泊ノ位置及期限、土砂掘鑿ノ區域、方法及期限
- 三 同法第十一條第十二條第十四條及第十五條ニ掲グルモノハ其ノ目的、設計、位置及落成期限但シ同法第十一條第十四條ニ掲グルモノハ其ノ器械器具ノ位置及設計ヲモ詳記スルヲ要ス
- 四 同法第十三條ニ掲グルモノハ果積物ノ種類、果積ノ目的、位置、高さ並期間
- 第四條 要塞地帯法第十條第十六條ノ事項ノ禁止ヲ解除シタル場合ニハ仍ホ本則第三條第五條ノ規定ヲ適用シ鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ノ許可ヲ受クルコトヲ要ス
- 第五條 海軍大臣ノ許可ヲ得ントスルモノハ工事ノ種類、設計及落成ノ期日ヲ記シ地方長官ノ證明ヲ受ケ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ヲ經由シテ海軍大臣ニ願出ヘシ但シ本則第七條ノ場合ニハ地方長官ノ證明ヲ要セス
- 第六條 府、縣、郡、市、町、村、水利組合其ノ他公共團體並社團法人ニ在テハ其ノ代表者ヨリ願出ヘシ
- 前項ノ場合又ハ要塞地帯法第七條中摸寫、摸寫、錄取ヲ出願スル場合若ハ本則第七條ノ場合ニハ本則第三條ノ與書ヲ要セス
- 第七條 許可ヲ受クヘキ事項ニシテ別ニ法令ノ規定ニ依リ主務官廳ノ許可ヲ受クルヲ要スルモノハ先ツ其ノ許可ヲ受ケ許可書ノ原本ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第八條 前諸條ノ規定ハ許可ヲ得タル事項ヲ變更セントスル場合ニ之ヲ準用ス
- 第九條 許可ヲ與ヘタルトキハ許可證ヲ交付ス
- 許可證ハ作業ヲ實施スル者必ス之ヲ携帯シ其ノ地點ヲ警衛スル軍人軍屬憲兵及警察官吏ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ閱覽ニ供スヘシ
- 第十條 許可證ヲ失ヒタルトキハ速ニ其ノ再交付ヲ願出ヘシ
- 前項ノ場合ニ於テハ同時ニ其ノ旨ヲ最寄警察官吏又ハ憲兵ニ届出テ其ノ承認ヲ得テ作業ヲ繼續スルコトヲ得
- 第十一條 許可ヲ受ケタル作業ノ場所ニ許可濟ノ旨ヲ記シタル標札ノ類ヲ掲ケヘシ但シ要塞地帯法第七條及第九條ニ掲グルモノハ此ノ限ニアラス
- 第十二條 許可ヲ受ケタル工事成シタルトキ又ハ之ニ著手セス若ハ之ヲ中止シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ作業地ヲ

警務スル市町村長ニ届出ヘシ市町村長ハ之ヲ取據メ毎月末日ヲ以テ當該鎮守府司令長官若ハ要港部司令官ニ報告スヘシ

第十三條 許可證ヲ所持スヘキモノニシテ當該官吏ノ閱覽ヲ拒ミタルモノハ二圓以上十圓以下ノ科料ニ處ス

附則

第十四條 本則ハ海軍防禦營造物ノ地帯及要塞地帯法第七條第二項ノ區域ニノミ之ヲ適用ス

第十五條 本則ハ明治三十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

### ●要塞地帯内寫眞撮影ニ關スル件

大正六年八月十日  
已警保收第一二四〇七號

近來外人ニシテ要塞地帯内ヲ自動車ヲ以テ疾走シ隨時隨所ニ於テ風物ヲ撮影シ爲ニ要塞地帯法等ノ規定ニ抵触スル者有之哉ニ傳聞候處右ハ法令ノ規定ニ通セサル爲メ不知不識ノ間ニ犯則ニ至ルモノト認メラレ候ニ付テハ自動車所有者及同營業者其他關係ノ向ヘ注意シ乘客此等違反行爲無之様御配慮相成度本件ニ關シテハ其筋ヨリ照會ノ次第モ有之候ニ付御了承相成度依命此段及照會候也

### ●要塞地帯内寫眞撮影許可方針内規ニ關スル件

大正十三年十一月十五日  
十三保收第二三〇九三號保安課長

首題ノ件ニ關シ別紙寫ノ如キ通牒有之候條御了知相成度參考ノ爲メ此段及通牒候也

(別紙)

要塞地帯内寫眞撮影許可方針内規ニ關スル件

(大正十三年十一月十一日横濱警第八六號)

(神奈川縣知事宛 横濱憲兵隊長ヨリ)

東京灣要塞地帯内寫眞撮影出願者ニ對シテハ從來同要塞司令官ニ於テ六ヶ月間之カ許可ヲ與ヘ居候處今同別紙寫ノ通リ内定相成候間及通牒候也

一、許可區域  
要塞地帯内寫眞撮影許可方針内規左ノ通リ内定ス (大正十三年十一月四日)

左記區域ハ現役陸海軍將校相當官及營業教育並公益ヲ目的トスル作業ノ外成ル可ク許可セス

左記

- 1 浦賀町
- 2 久里濱村八幡ヨリ北浦村野北間縣道以東
- 3 三崎町(城ヶ島ヲ含ム)ヨリ横須賀市ニ通スル縣道ヲ堺トシテ以東及引橋丸山ヲ連ヌル線以南
- 4 金谷村

二、許可期限

營業者(要塞地帯在住者)

現役陸海軍將校相當官

教育並公益ヲ目的トスル作業者

其ノ他ノ者

六ヶ月  
三ヶ月  
ヲ最大限トス

### ●陸軍下士卒退營者ノ行動視察ニ關スル件

大正元年十一月二十九日  
示令第三九號警察部長通達

陸軍下士卒退營者(在郷軍人會ノ徽章ヲ佩用ノ者)ノ義ニ關シ別紙寫ノ陸軍次官ヨリ内務次官ニ對スル照會ノ趣旨更ニ其ノ筋ヨリ通牒ノ次第有之ヲ以テ本旨普ク一般ニ示達シ自今退營者ノ行動ニ關シテハ周密ノ視察ヲ遂ケ十分當該官憲ノ要求ニ副フヘキコトニ努メラルヘク尙ホ從來ノ在郷軍人ニ關スル事項ヲ合セ整理ヲ期スル爲メ左ノ通リ内規相定メ候條右心得フヘシ  
明治四十五年二月示令第七號ハ之ヲ廢止ス

(別紙寫)

下士卒退營ノ際ノ取締ニ關スル件照會

(大正元年十一月二十四日通達 陸軍省 陸警第八三〇號陸軍次官内務次官宛)

軍隊ノ教育ノ本旨ハ忠勇ナル軍人ヲ作ルト同時ニ著實勤勉ナル國民ヲ作ルニ有之候ニ付現役下士兵卒ニシテ現役滿期トナリ又ハ歸休ヲ命セラレタル者ハ速カニ郷里ニ歸リ各其ノ生業ニ就クヘキモノニシテ其ノ思想粗暴ニ流レ生業ヲ顧ミサルカ如キ弊ナカラシムルコトニ就テハ軍隊教育ニ從事スル者ノ嚴ニ戒飭ヲ加ヘツツアル次第ニ候處往々退營後故ナク市街地若クハ衛戍地ニ滞在シ之レカ爲メ貴重ナル時日ヲ徒費シ且ツ金錢ヲ浪費シ延テ生業ニ就クテ厭フニ至ルカ如キ弊害少カラサルヲ認メ候ニ付本年以後右等退營者ハ在郷軍人會ノ徽章ヲ佩用シテ兵營ヲ出テシムル様取計フヘク又退營ノ時日ハ各隊長ヨリ關係アル地方長官警視總監ニ通報致サシムヘク候條其ノ際警察官ヲシテ彼等ノ狀況ヲ視察セシメ要スレハ如上ノ趣旨ニ基キ相當注意ヲ與ヘシムル様御取計相成度此段及照會候也

追テ本文ノ趣旨ハ地方警察官ニ迄無漏徹底致候様御配慮相成度尙退營者歸郷後ニ於テ直チニ生業ニ就クヤ否ヤ等情況ハ地方警察官ヨリ關係隊長ニ通報セシムル様致度候ニ付可然御取計相成度申添候

左記

在郷軍人ニ關スル通報内規

- 一、陸軍下士卒ノ退營者(服役滿期又ハ歸休兵等)ニシテ故ナク衛戍地若クハ市街地ニ滞在スルカ又ハ金錢ヲ浪費スルモノアルトキハ必要ニ應ジ相當注意ヲ與フル等機宜ニ適スル措置ヲ爲スヘシ
- 二、退營者歸郷後ニ於ケル行動竝ニ各其ノ生業ニ就服シタルヤ否ヤヲ視察シ其ノ狀況ハ隨時遺漏ナク關係隊長ニ通報スヘシ
- 三、退營者ノ住所、氏名ハ隨時市町村ニ就キ照會ヲ要ス
- 四、明治四十三年四月内示第三號第七項ニ據ル在郷軍人素行調査報ハ一般ヲ指導矯正スルノ資料タルヘキ素行ノ特ニ善良ナルカ又ハ著シク不良ナル者ニ限り毎年一回(五月三日迄)所屬聯隊區司令官ニ通報スヘシ
- 五、在郷軍人ニ係ル犯罪事實發覺シタルトキハ事件ノ訴追ト同時ニ所屬聯隊區司令官ニ左記事項ヲ通報スヘシ
  - 一、兵科(徵收年)官等氏名住所
  - 二、犯罪事實ノ概要
  - 三、前各項ニ關スル書類ニシテ他ニ必要ヲ認メサルトキハ在郷軍人名簿附屬書類トシテ整理編綴シ置クヲ要ス

### 第五章 共濟組合

#### ●警部補、巡查、消防手共濟組合ニ關スル件

大正九年三月二十四日  
勅令第四十四號

朕警部補、巡查、消防手共濟組合ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

第一條 北海道廳、警視廳及府縣所屬ノ警部補、巡查及列任官ノ待遇ヲ受クル消防手ハ内務大臣ノ定ムル所ニ依リ相互救濟ヲ目的トスル組合ヲ組織ス

第二條 北海道地方費及府縣ハ各其ノ廳府縣所屬ノ組合員ノ俸給總額ノ百分ノ二ニ當ル金額ヲ毎年組合ニ給與スヘシ

第三條 内務大臣ハ内務部内及廳府縣ノ職員ヲシテ組合ノ事務ニ從事セシムルコトヲ得

附 則  
本令施行ノ期日ハ内務大臣之ヲ定ム

#### ●警部補、巡查、消防手共濟組合ニ關スル件施行

大正九年七月十三日  
內務省令第二十號

大正九年勅令第四十四號ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

#### ●警察共濟組合規則

大正九年七月十三日  
內務省令第二十一號

改正 大正一二年九月內務省令第三〇號、一四年一〇月第二二號

警察共濟組合規則左ノ通定ム

警察共濟組合規則

#### 第一編 警務 第五章 共濟組合

第一章 總則

第一條 本組合ハ大正九年勅令第四十四號ニ基キ之ヲ組織ス  
 第二條 本組合ハ警察共済組合ト稱シ内務大臣之ヲ監督ス  
 第三條 本組合ノ事務ハ内務次官之ヲ統轄シ道府縣内ニ於ケル組合ノ事務ハ地方長官之ヲ掌理ス  
 第四條 地方長官ハ所部ノ廳府縣職員ヲシテ組合ノ事務ニ從事セシムルコトヲ得

第二章 組合員

第五條 本令施行ノ日ニ於テ現ニ警部補、巡查又ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル消防手タル者ハ其ノ日ヨリ、本令施行後  
 警部補、巡查又ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル消防手ニ任命セラレ若ハ復職ヲ命セラレタル者ハ任命又ハ復職ノ日ヨリ  
 組合員タルモノトス

第六條 組合員ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ限リ組合ヲ脱退ス

- 一 死亡シタルトキ
  - 二 其ノ官職ヲ免セラレ又ハ刑事裁判ニ因リ失官、失職シタルトキ
  - 三 休職トナリタルトキ
  - 四 警部補、巡查又ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル消防手以外ノ官職ニ轉シタルトキ
- 第七條 組合員及組合員タリシ者ハ本令ノ規定ニ依リ救済金ノ給與ヲ受ケルノ外組合ニ對シ何等ノ請求ヲ爲スコト  
 ヲ得ス

第三章 掛金

第八條 組合員ハ掛金トシテ毎月月俸ノ百分ノ二ニ相當スル金額ヲ月俸受領ノ時支拂フモノトス  
 月俸ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ翌月ヨリ掛金額ヲ改定ス

第四章 救済

第九條 救済金ハ左ノ五種トス

- 一 醫療金
- 二 死亡給與金

- 三 癩疾給與金
- 四 罹災給與金
- 五 脱退給與金

第十條 救済金給與ノ事由併發シタルトキハ當該各種ノ救済金ヲ併給ス

第十一條 醫療金ハ組合員醫療ヲ受ケタルトキ之ニ要シタル費用ノ十分ノ八ニ相當スル金額ヲ給與スルモノトス但  
 シ明治三十四年勅令第四百四十九號巡査看守療治料、給助料及弔祭料給與令第一條ノ規定ニ該當スル場合ハ之ヲ給  
 與セス

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ對シテハ醫療金ヲ給與セス

- 一 義眼、義手、義足、眼鏡、齒科技工其ノ他之ニ類スルモノニ要シタル費用
  - 二 温泉、礦泉ノ入浴費、轉地療養費、滋養品費其ノ他之ニ類スルモノニ要シタル費用
- 醫療ニ要シタル費用ニシテ必要ノ限度ヲ超ユルト認ムルトキハ醫療金ヲ減額スルコトアルヘシ

第十二條 死亡給與金ハ左ノ區別ニ依リ給與スルモノトス

- 一 組合員死亡シタルトキ月俸六月分ニ相當スル金額
- 二 組合員ノ配偶者死亡シタルトキ又ハ組合員ト同一ノ家ニ在リ組合員ニ於テ現ニ扶養スル祖父、父母若ハ子  
 死亡シタルトキ月俸二分ノ一ニ相當スル金額

第十三條 癩疾給與金ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テ月俸六月分ニ相當スル金額ヲ給與スルモノトス

- 一 組合員ノ傷痕又ハ疾病自用ヲ辨シ得サル程度ノ重症ニ趨キ治癒ノ見込ナク退職シタルトキ
- 二 組合員傷痕又ハ疾病ニ因リ一眼以上ヲ盲シ若ハ一肢以上ノ用ヲ失ヒ又ハ之ニ準スヘキ者ニシテ終身職務ニ堪  
 ヘズ退職シタルトキ

三 組合員病毒傳播ノ危険アル肺結核若ハ喉頭結核又ハ癩病ニ因リ退職シタルトキ

第十四條 罹災給與金ハ組合員カ非常災害ニ罹リタルトキ月俸二月分ニ相當スル金額以內ヲ給與スルモノトス但シ  
 非常災害ノ狀況著シキ場合ニ於テハ特ニ月俸三月分ニ相當スル金額迄ヲ給與スルコトヲ得

第十五條 脱退給與金ハ組合員脱退シタルトキ左ノ區別ニ依リ給與スルモノトス

第一編 警務 第五章 共済組合



- 一 引續キ組合員タリシコト五年未滿ノ者ニハ掛金總額ノ十分ノ四
  - 二 引續キ組合員タリシコト五年以上十年未滿ノ者ニハ掛金總額ノ十分ノ六
  - 三 引續キ組合員タリシコト十年以上ノ者ニハ掛金總額ノ十分ノ八
- 前項ノ組合員タリシ年數ハ組合員トナリタル月ヨリ之ヲ起算シ脱退ノ月ヲ以テ終ル
- 第六條第三號ノ規定ニ該當シ脱退シタル組合員ニシテ復職シタル者ニ關スル脱退給與金ノ算定ニ付テハ前後ノ組合員タリシ期間ヲ通算シ引續キ組合員タリシモノト看做シ其ノ掛金總額ハ最近復職後ノ掛金總額ニ依ル但シ休職ノ月ニ於テ復職シタル者ノ後ノ組合員タリシ期間ハ復職ノ月ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス
- 第十六條 第十二條乃至第十四條ノ規定ニ依ル救済金ハ給與ノ事由發生ノ時ニ於ケル掛金ノ標準タル月俸ニ依リ之ヲ算定ス
- 第十七條 救済金給與ノ時未拂ノ掛金アルトキハ給與金額ヨリ之ヲ減ス
- 第十八條 救済金給與ノ事由發生シタルトキハ組合員又ハ其ノ戸主、家族若ハ代理人ヨリ直ニ其ノ旨ヲ所屬地方長官ニ申告スヘシ
- 第十九條 救済金給與ノ事由發生シタル場合ニ於テ組合員又ハ其ノ戸主、家族若ハ代理人ハ地方長官ノ命シタル職員又ハ醫師ノ臨檢若ハ診察ヲ拒ムコトヲ得ス
- 第二十條 組合員死亡シタル場合ニ於テ救済金ヲ受領スヘキ者及其ノ順位左ノ如シ但シ組合員カ死亡前特別ノ意思ヲ表示シタルトキハ之ニ依ルコトアルヘシ
- 第一 配偶者
  - 第二 直系尊屬
  - 第三 直系尊屬
  - 第四 戸主
  - 第五 兄弟姊妹
- 前項第二號及第五號ニ該當スル者數人アルトキ其ノ順位ニ付テハ民法第九百七十條ノ規定ヲ準用シ第三號ニ該當スル者數人アルトキ其ノ順位ニ付テハ民法第九百八十四條ノ規定ヲ準用ス

- 第一項第二號、第三號及第五號ニ該當スル者ハ組合員死亡ノ時ヨリ引續キ其ノ家ニ在ルコトヲ要ス但シ組合員ノ死亡後出生シタル嫡出子ハ組合員死亡ノ時ヨリ引續キ其ノ家ニ在ルモノト看做ス
- 第二十一條 前條ノ規定ニ依リ救済金ヲ受領スル者ナキトキ又ハ不明ナルトキハ組合員ハ受領者ヲ指定シ救済金ノ全部又ハ一部ヲ給與スルコトヲ得
- 第二十二條 組合員懲戒處分ニ因リ其ノ官職ヲ免セラレ又ハ刑事裁判ニ因リ失官、失職シタルトキハ救済金ヲ給與セス
- 第二十三條 組合員又ハ其ノ戸主、家族若ハ代理人第十九條ノ規定ニ違背シタルトキ又ハ救済金給與ノ事由發生ノ日ヨリ一年内ニ請求ヲ爲ササルトキハ救済金ヲ給與セサルコトアルヘシ
- 第二十四條 故意ニ組合員又ハ救済金受領ノ先順位ニ在ル者ヲ死ニ致シ又ハ死ニ致サムトシタル爲訴追セラレタル者ニ對シテハ其ノ裁判確定ニ至ル迄救済金ノ支給ヲ停止シ有罪ノ判決確定シタルトキハ之ヲ給與セス
- 第二十五條 組合員又ハ其ノ直接醫療ヲ爲シ又ハ他ノ施設ニ醫療ヲ委嘱スルコトヲ得
- 第二十六條 組合員又ハ其ノ直接醫療ヲ爲シ又ハ他ノ施設ニ醫療ヲ委嘱スルコトヲ得
- 第五章 審査會
- 第二十七條 救済金ノ給與ニ關シ處分ヲ受ケタル者其ノ處分ニ異議アルトキハ處分ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三十日內ニ地方長官ヲ經テ内務大臣ニ其ノ審査ヲ請求スルコトヲ得
- 第二十八條 内務大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ審査會ヲ開キ其ノ決議ニ依リ決定ヲ爲シ地方長官ヲ經テ審査請求者ニ之ヲ通知ス
- 第二十九條 審査會ハ議長一名委員十名以內ヲ以テ之ヲ組織ス議長及委員ハ内務省高等官中ヨリ内務大臣之ヲ命ス
- 第三十條 審査會ノ決議ハ委員半數以上出席シ出席員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル
- 第三十一條 第二十八條ノ規定ニ依ル内務大臣ノ決定ハ組合員ヲ羈束ス

第六章 會計

第一編 警務 第五章 共済組合

第一編 警務 第五章 共済組合

第三十二條 組合ノ事業年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル  
第三十三條 組合ハ寄附ヲ受ケルコトヲ得  
用途ヲ指定シタル寄附ハ其ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ス

第三十四條 組合ノ財産ハ大藏省預金、郵便貯金若ハ確實ナル銀行ニ預入シ又ハ之ヲ以テ國債證券若ハ地方債證券ノ應募、買入ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ規定ニ依ルノ外組合財産ノ管理方法ハ内務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第三十五條 組合ハ救済金ノ支拂ニ關シ必要アルトキハ借入金ヲ爲スコトヲ得  
借入金額、借入ノ方法利息ノ定率及償還方法ハ内務大臣ノ認可ヲ經ヘシ

第三十六條 東京府ニ在リテハ地方長官ノ職務ハ警視總監之ヲ行フ  
附 則  
本令ハ大正九年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

附 則(大正十四年内務省令第二十一號)

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス  
本令ハ大正十四年九月一日以降ニ於テ組合ヲ脱退シタル者ニ付之ヲ適用ス

警察共済組合事務取扱規程

大正九年九月十一日  
内務省訓令第十七號

廳府縣

警察共済組合事務取扱規程左ノ通定ム  
警察共済組合事務取扱規程

第一章 通則

第一條 本規程ニ於テ所屬長ト稱スルハ道廳府縣警察部長、警視廳官房主事、警視廳各部長、警視廳警察練習所長、警視廳消防練習所長、警察署長、警察分署長、消防署長及消防分署長ヲ謂フ  
組合員警察分署長タル場合ハ其ノ所屬長ハ地方長官別ニ之ヲ定ム  
第二條 地方長官ハ其ノ廳府縣所屬ノ組合員毎ニ別記様式第一號ニ依ル組合員原票ニ所定ノ事項ヲ記入シ異動ヲ生

シタルトキハ之ヲ整理スヘシ

地方長官ハ其ノ廳府縣所屬ノ組合員組合ヲ脱退シタルトキハ其ノ組合員原票ヲ内務次官ニ送付シ他ノ廳府縣ノ所屬ニ轉シタルトキハ當該地方長官ニ之ヲ轉送スヘシ

第三條 地方長官ハ別紙様式第二號及第三號ニ依ル報告書ニ所定ノ事項ヲ記入シ第二號ニ依ル報告書ニ付テハ三月分ヲ、第三號ニ依ル報告書ニ付テハ一月分ヲ各其ノ翌月二十日迄ニ内務次官ニ送付スヘシ

第四條 内務次官ハ毎年度組合ノ事業成績及收支決算ヲ組合員ニ公表スヘシ  
第五條 地方長官必要ト認ムルトキハ本規程ノ施行ニ關スル細則ヲ定ムルコトヲ得

第二章 救済

第六條 救済金ノ給與ヲ受ケムトスル者ハ別記様式第四號ニ依ル請求書ニ左ノ書類ヲ添付シ所屬長ヲ經テ之ヲ地方長官ニ提出スヘシ

一 醫療金ニ付テハ病名並藥價(投藥種別、日數ヲ明記スルコト)、手術料、處置料、入院料(等級、日數ヲ明記スルコト)又ハ看護料等ヲ明記シタル領收書

二 死亡給與金ニ付テハ死亡診斷書若ハ死體檢案書又ハ其ノ寫及正當請求者タルコトヲ證明スルニ足ル戶籍謄本又ハ戶籍抄本

三 癡疾給與金ニ付テハ傷痍又ハ疾病ノ原因、經過及機能障害ノ程度ヲ詳記シタル醫師ノ診斷書

四 罹災給與金ニ付テハ罹災ノ狀況及被害ノ程度ヲ詳記シタル調査  
前項第一號ノ領收書ニシテ病院又ハ醫師ニ非サル者ノ發シタルモノニ付テハ醫療上ノ指示ニ基ク旨ノ醫師ノ證明アルコトヲ要ス

救済金ノ併給ヲ受ケムトスル場合ニ於テハ同時ニ各其ノ請求書ヲ提出スヘシ  
第七條 地方長官癡疾給與金ノ請求書ヲ受ケタルトキハ意見ヲ附シ之ヲ内務次官ニ送付スヘシ

内務次官前項ノ請求書ヲ受ケタルトキハ給與ニ關スル決定ヲ爲シ地方長官ニ之ヲ通知スヘシ  
第八條 地方長官醫療金、死亡給與金、罹災給與金及脱退給與金ノ請求書ヲ受ケタルトキハ給與ニ關スル決定ヲ爲スヘシ

第一編 警務 第五章 共済組合





別記様式第三號

年

月分警察共済組合收支報告書

廳 府 縣 名

種 類	入 額		支 出 額	
	日 金	圓	日 金	圓
繰 越	金			
掛 給	金			
給 與	金		疾 病	金
利 回	子 金		死 亡	金
其 他	金		癩 疾	金
			災 害	金
			退 給	金
			前 渡	金
計			計	

(注意)

1. 本報告書ハ二通ヲ作製シ一通ハ廳府縣ニ保存スルコト
2. 欄外ニ收支ノ残額ヲ記載スルコト
3. 残額ハ月末現在金ト一致スルモノナルコト

別記様式第四號

警察共済組合救済金請求書

所屬廳府縣名及勤務所名

官職名 氏 名

生年月日

一金何圓也

醫 療 金

何々給與金  
警察共済組合規則第 條ニ依リ請求候也

年 月 日

請求者(本人以外ノ場合ハ續柄) 氏 名

名

地方長官宛

(注意)

醫療金ノ場合ハ金額ハ醫療ニ要シタル費用ノ十分ノ

ハチ記入シ罹災給與金ノ場合ハ金額ヲ記入セサルコト

別記様式第五號

給 與

警察共済組合救済金給與書

一醫療金 金何圓也

何々給與金

別記様式第六號

醫 療 明 細 簿

記 入 年 月 日	官 職 名	氏 名	給 與 金 額	醫 療 費 用				病 名	受 領 日 數	續 柄 救済金受領者ノ氏名及	備 考	番 號
				診 察 料	藥 價	手 術 料	處 置 料					

(注意)

1. 本簿ニハ給與ノ都度記入スルコト(以下各明細簿ニ付亦同シ)
2. 給與金額ノ欄ニハ醫療ニ要シタル金額ノ十分ノハチ記入スルコト
3. 醫療ニ要シタル費用ノ欄ニハ組合員カ醫師其他ノ者ニ支拂ヒタル金額ヲ記入スルコト
4. 救済金受領者氏名及續柄ノ欄ニハ組合員以外ノ受領者タル場合ノミ記入スルコト(以下各明細簿ニ付亦同シ)

第一編 警察 第五章 共済組合

亦同シ)

5. 備考欄ニハ規則第二十條但書ノ規定ニ依ル給與ノ如キ例外ノ場合ヲ記入スルコト (以下各明細簿ニ付亦同シ)

6. 月計ヲ爲スコト

別記様式第七號

死 亡 明 細 簿

記 入 年 月 日	官 職 名	氏 名	給 與 金 額	死 亡 年 月 日	死 亡 ノ 原 因	救 濟 金 受 領 者 ノ 氏 名 及 続 柄	備 考	番 號

(注意)

死亡ノ原因欄ニハ死因タル病名、自殺、他殺等ヲ記入スルコト

別記様式第八號

癱 疾 明 細 簿

記 入 年 月 日	官 職 名	氏 名	給 與 金 額	退 職 年 月 日	癱 疾 ノ 状 態	救 濟 金 受 領 者 ノ 氏 名 及 続 柄	備 考	番 號


(注意)

癱疾ノ状態欄ニハ機能障害ノ程度及之カ原因タル傷痍疾病ノ別ヲ明記シ疾病ノ場合ハ其ノ病名ヲ記入スルコト

別記様式第九號

罹 災 明 細 簿

記 入 年 月 日	官 職 名	氏 名	給 與 金 額	罹 災 年 月 日	罹 災 ノ 原 因	救 濟 金 受 領 者 ノ 氏 名 及 続 柄	備 考	番 號

(注意)

罹災ノ原因欄ニハ罹災ノ原因、例ヘハ火災、震災、海嘯等ト記入スルコト

別記様式第十號

脫 退 明 細 簿

録一 職 務 給 付 章 共 業 理 合

記入年月日	官職名	氏名	給與金額	掛金總額	勤年數	退年日	退年日	退年日	事由	救済金受領者 氏名及続柄	備考	番號
			圓	圓								

(注意)

脱退ノ事由欄ニハ死亡、懲戒處分、疾病及自己便宜等ニ因ル免職、休職、失官、失職等ヲ可成詳細ニ記入スルコト

別記様式第十一號

出		納		簿		出		残	
年	月	日	摘要	收	入	支	出	殘	額
				圓	圓	圓	圓	圓	圓

(注意)

1. 本簿ハ毎日取扱フ出納ヲ記入スルコト
2. 同一種目ノ出納ハ一括シテ其ノ計ヲ記入スルコトヲ得此ノ場合ニハ摘要欄ニ何某外何名ト記入スルコト
3. 前日ノ残額ハ翌日ノ收入欄ニ記入シ摘要欄ニ繰越金ト記入スルコト
4. 日計及月計ヲ爲スコト

### 警察共済組合事務取扱ニ關スル件依命通牒

大正九年九月十九日  
内務省發給第二二七號衛生局長

本年三月勅令第四十四號及七月省令第二十一號ニ基キ九月十一日警察共済組合事務取扱規程訓令相成候處尙之レカ事務執行ニ付テハ左記ノ通り御了知相成度

左記

- 一、地方長官ノ掌理スル組合ノ事務ハ總テ廳府縣ノ職員ヲシテ執行セシメラレ度旅費ハ其ノ職員ノ俸給ヲ支辨スル經濟ヨリ支出セラレタキコト
- 二、地方廳ニ於ケル組合ノ事務執行ニ要スル印刷費筆紙文具通信費等ノ支出方ニ付テハ本事務ヲ警察官吏チシテ掌理セシムル場合ハ警察費ヲ以テ支辨シ其ノ他ノ官吏チシテ掌理セシムル場合ハ國費ヲ以テ支辨セシメラレタキコト
- 三、組合員原標ハ本省ヨリ之ヲ配布シ帳簿等ハ總テ地方廳ニ於テ作製スルコト
- 四、組合員原標ハ一人一枚ヲ限リ配布スルモノナルヲ以テ地方長官ニ於テ更ニ必要ト認ムル場合ハ適宜原票ノ複寫ヲ作ルコト
- 五、規則第十一條ノ醫療ノ範圍ニハ賣藥ヲ含マサルヲ以テ醫師ノ在住ナク且ツ交通不便ノ土地ニ對シテハ規則第二十六條ニ基ク施設トシテ適當ナル方法ヲ案シ内務次官ニ進達スルコト
- 六、醫師ヲ招聘シタル場合ノ車馬賃ハ往診料中ニ含マレタルモノハ格別車馬賃ト明記シタルモノハ之ヲ給與セサルコト
- 七、罹災給與金ハ水害、海嘯、火災、震災、山崩レ、地沈、風害、雪害、又ハ火災其ノ他ノ危險物爆發ノ場合左ノ標準ニ依リ給與スルコト但シ給與ノ額ハ損害ヲ超ユルコトヲ得サルコト
  - 一、家屋ノ流失、全燒、倒壊、又ハ之ニ準スヘキ損害ヲ生シタルトキハ二ヶ月以内
  - 二、家屋ノ床上侵水、一部ノ倒壊破損又ハ之ニ準スヘキ損害ヲ生シタルトキハ一ヶ月以内

第一編 警察 第五章 共済組合

- 三、家屋又ハ家具ノ損害ニシテ前二項ノ程度ニ達セサル時ハ一ヶ月以内
- 八、前項ノ外特ニ救済ノ必要アリト認ムル場合ハ罹災ノ狀況被害ノ程度及給與見込額ヲ具シ内務次官ニ協議スルコト
- 九、規則第二十條但書ノ組合員ノ意志表示ハ書面ニ依ルト否トテ間ハス確證アルヲ要スルコト
- 十、規則第二十一條ノ規定ニ依ル受領者ノ指定及救済金ノ給與ハ地方長官ニ於テ之ヲ執行スルコト
  - 其ノ指定スヘキ者及給與スヘキ金額ハ左ノ各號ニ依ルコト
    - (1) 婚姻ノ届出ナキモ夫婦ノ實アリト認メラルル者ニ對シテハ救済金ノ全部ヲ與フルコト但シ他ニ葬祭ヲ營ミタル者アルトキハ死亡給與金ノ三分ノ二ニテ限度トシテ之ニ要シタル實費ヲ控除スルコト
    - (2) 前號但書ノ場合ニ於テ控除シタル金額ハ死亡者ノ爲葬祭ヲ營ミタル者ニ對シテ給與スルコト
- 十一、規定第五條ニ依リ細則ヲ定メタルトキハ速ニ内務次官ニ報告スルコト
- 十二、月俸ニハ功勞加俸及精勤加俸ヲ含ムコト
- 十三、月俸ハ總テ支給額ニアラスシテ辭令面ニ於ケル月俸額ヲ意味スルモノナルヲ以テ月ノ中途ニ加入又ハ脱退スルモノアルモ掛金ハ辭令面ノ月俸ノ百分ノ二ヲ徵收スルコト
- 十四、月ノ末日ニ加入シタル組合員其ノ月ノ掛金ハ次ノ月俸支拂ノ時徵收スルコト
- 十五、規定第十二條ニ依ル算定ハ前月中ノ組合員總人員辭令面ニ於ケル月俸額ニ依ルモノナルヲ以テ月ノ中途ニ加入若シクハ脱退シ又ハ中途ニ加入シ其ノ中途ニ於テ脱退スル如キ者モ總テ組合員總人員中ニ加フルコト
- 十六、規程第十四條ニ依リ内務次官ニ送金スルトキハ之カ明細書ヲ添付スルコト
- 十七、規程第十四條ニ依ル準備金ハ組合員ノ救済金ニ充ツル外支出スルヲ得サルコト
- 十八、本省ニ報告スル組合ノ書類ニ記入スル番號ニハ總テ其ノ文字ヲ加フルコト

### 警察共濟組合事務取扱細則

大正九年十月二十二日 訓令第七十一號

警察署 警察分署 消防署

警察共濟組合事務取扱細則左ノ通定ム

#### 警察共濟組合事務取扱細則

- 第一條 本組合事務ハ大正九年三月勅令第四十四號、同年七月内務省令第二十一號警察共濟組合規則(以下單ニ規)及同年九月内務省訓令第十七號警察共濟組合事務取扱規程(以下單ニ規)ニ據ルノ外仍本則ニ據リ處理スヘシ
- 第二條 本組合ニ要スル一切ノ經費ハ警察費配當豫算内ヲ以テ支辨スヘシ
- 第三條 規程第一條ノ所屬長ハ所屬組合員ノ掛金ヲ徵收シ左記様式ニ依リ翌月五日迄ニ本廳ヘ送付スヘシ
- 第四條 掛金ハ月俸支給ノ際組合員月俸額(功勞加俸及精勤加俸ヲ含ム)ノ全額ニ依リ徵收スヘシ
- 第五條 月俸支給日以後其ノ月末日迄ニ於テ加入シタル組合員ノ其ノ月ニ於ケル掛金ハ次ノ月俸仕拂ノ時徵收スヘシ但シ此場合送金仕譯書ハ別紙トシ備考ヲ付スヘシ
- 第六條 組合員管内轉署ノ場合ニ於ケル掛金ハ月俸支給日在勤セル所屬ニ依リ之ヲ徵收スヘシ退職休職死亡若ハ他管ニ轉任スル者ニ在リテハ月俸支給日ニ拘ハラス其ノ時々之ヲ徵收スヘシ
- 第七條 所屬長ハ組合員掛金出納簿ヲ設備シ其ノ收支ヲ明ニスヘシ
- 第八條 規則第十八條ノ申告ハ規程第六條救済金請求ノ例ニ依リ仍其ノ所屬長ヲ經由スヘシ
- 第九條 所屬長ハ前條ノ申告書ヲ受ケタルトキハ傷病者ニ限リ其ノ原因職務上ニ關係ナキヤ否ヲ慎重甄別シ速カニ其ノ事由發生ノ年月日(傷痕ハ其ノ原因共)及病名並療養見込日數ヲ調査シ申告書進達ト同時ニ之ヲ本廳ニ報告スヘシ
- 第十條 救済金ハ給與ノ事由發生ノ日ヨリ起算シ成ルヘク十日以内ニ於テ之カ請求ヲ爲スヘシ
- 第十一條 所屬長ニ於テ救済金請求書ヲ受ケタルトキハ其ノ事實ヲ調査シ規程第六條ノ要件ヲ遺漏ナカラシメ相當意見ヲ付シ速カニ之ヲ進達スヘシ但シ規則第二十條但書ノ組合員ノ意思表示ハ書面ニ依ルト否トテ間ハス必ス其ノ確證アルコトヲ要ス
- 第十二條 規則第二十一條ノ受領者指定ニ關シテハ當該所屬長ハ意見ヲ提出スルコトヲ得
- 第十三條 本組合事務ハ普通事務ト其ノ分界ヲ明ニスル爲其ノ往復文書ノ番號ハ收發ニ由リテ之ヲ分チ收發ノ上ニ更ニ曆年ニ相當スル十二支名及「共」ノ文字ヲ冠シ標記トナシ本廳ニ關スル文書ハ凡テ警察部長ヘ宛テ進達スヘシ



【第三條樣式】（用紙大判紙寫紙）

【何】共發第【何】號

警察共濟組合掛金送付仕譯書

何々署 長 圖

一金（何）圓

大正（何）年（何）月（何）日

內譯

掛金額	月俸額	職	氏	名	備	考	掛金額	月俸額	職	氏	名	備	考

【注意】

- 一、掛金ノ徴收額ヲ誤リタル場合ハ右方ニ正當掛金額ヲ記入シ左方ニ過ハ黒不足ハ赤ニテ記入シ翌月ニ於テ之カ整理ヲ爲スコト
- 二、掛金ノ過不足整理ヲ爲シタル月ニ於テハ其ノ月ノ掛金額ハ右方ニ記入シ追徴ハ黒返戻ハ赤ニテ其ノ金額ヲ左方ニ並記スルコト
- 三、月俸ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記入スルコト
- 四、月俸額欄ニ於テ精勤加俸ハ左方ニ之ヲ示スコト
- 五、記入ノ順位ハ高級者ヲ先ニスルコト

### 警察共濟組合事務取扱細則ニ關スル件

大正九年十月二十二日  
訓示甲第二十三號

警察共濟組合ニ關シテハ本月十五日署長會議席上ニ於テ大體ノ方針ヲ指示シ今又縣訓令ヲ以テ之カ事務取扱細則ノ發布ヲ見ルニ至リタルモ尙其ノ細目ニ付テハ左記各號ニ依リ取扱フヘキ義ト心得フヘシ

- 一、曩ニ通牒ニ基キ準備トシテ月俸百分ノ二ヲ徴收シタルモノハ此ノ際其ノ全部ヲ償還スルコト
- 二、從來各署ニ於ケル規約貯金ニシテ專ラ救濟ヲ目的トスルモノハ此ノ際之ヲ撤廢スルコト
- 三、本組規則施行以前ヨリ引續キ醫療ヲ爲シタルモノアルトキハ施行ト同時ニ其ノ救濟ヲ爲スコト但シ細則第九條ノ規定ニ依リ直チニ報告ヲ要ス
- 四、組合員ノ掛金ハ本年十月分月俸支給日ヨリ開始スルコト但シ支給定日前轉免死亡ノ者ニ在リテハ俸給支給ノ際之ヲ徴收スルコト
- 五、脱退給與金給與ニ關スル年數ハ逕査退隱料法ノ計算方ニ依ルコト
- 六、組規則第十一條醫療ノ範圍ニハ賣藥又ハ舟車馬賃ヲ含マス尙醫師招聘ニ要シタル人力車賃ノ如キモ往診料中ニ含マレタルモノハ格別其ノ車馬賃ト明記シタルモノハ前段ニ依リ給與セサルコト
- 七、組合員病氣引籠ニ當リ從來警察醫差支等ノ場合便宜開業醫ノ診斷ニ依リ許可ノ向ニ在リテハ其ノ救濟ヲ要スルモノト認ムルモノハ入院等ノ場合ハ格別其ノ否ラサルモノニ在リテハ必ス警察醫ノ診斷ヲ受ケシムルコト
- 八、各自所定ノ掛金ヲ爲ステ理由トシ極メテ輕微ナル傷疾、疾病ヲモ尙本組合ノ救濟ヲ要求シ或ハ其ノ否ラサルモノト雖モ必要ノ程度ヲ超ヘタル醫療ヲ加ヘ尅大ノ要求ニ出ツルカ如キハ品性高潔ヲ念トスル警察官吏トシテ最モ慎シムヘキコトナルニヨリ平素自制ノ念ヲ養ヒ必要不得止モノノ外救濟ヲ仰カサル様注意セシムルコト
- 九、救濟金給與決定上場合ニ依リ職員ヲ派シ臨檢又ハ實地調査ヲ爲サシムルコトアルヘキニヨリ此ノ旨豫メ示達シ置クコト

### 共濟組合收支計算ニ關スル件依命通牒

大正十年一月二十一日  
內務省社發乙第一七號

警察共濟組合收支計算ニ關シテハ夫夫御督勵中ノ事ト被存候處之ヲ從來ノ實例ニ徵スルニ其ノ取扱區區ニ互リ調査上支障不尠候條爾今左記ニ依リ御取運相成度

追テ右報告書提出ハ甚シク遅延ノ向有之集計上差支候ニ付期限勵行相成候様致度申添候也

記

- 一 給與金並ニ掛金ハ當月分テ翌月二十日前ニ必ス收入テ了シ少ナクモ二十日迄ニ其ノ三分ノ二ヲ送金シ當月分收支報告書當該欄ニ區分記載シテ提出スルコト但シ月俸支給定日以後月末迄ニ加入シタル組合員ニ就テハ此ノ限ニアラス
- 二 前項但書ノ未收入額ハ當月分收支報告書ノ欄外ニ附記シ其ノ額收入済ノ後ニ於テハ翌月分收支報告書中ニ區分掲記シテ報告スルコト
- 三 收支報告書様式第三號注意中「三」ハ之ヲ削除ス
- 四 收支報告書中ニ送金ニ關スル内譯ヲ記載シ送金明細書ヲ省略スル向アルモ右ハ別途ニ提出スルコト
- 五 概算前渡ヲ爲シタルトキハ其ノ種目ヲ分記スルコト
- 六 送金後其ノ額ニ異動ヲ生シタルトキハ收支報告書訂正ノ手續ヲ取運フコト
- 七 送金明細書ハ爾今別紙様式ニ依リ提出スヘキコト

様式

大正 年 月分 警察共済組合送金明細書  
大正 年 月 何何縣

送金	高	摘	要
184	150	掛金五百五拾貳圓四拾六錢ノ三分ノ一額	
184	300	給與金五百五拾貳圓ノ三分ノ一額	
	010	何月分送金ノ際何ノ不足額	
	300	前月分掛金九拾貳錢ノ三分ノ一(前月分送金後徴收ノ分)	
368	460	何何銀行特別當座口振込(又ハ何々銀行振出小切手)	

備考 計算上錢未滿ヲ生シタルトキハ送金總額ニ於テ切捨チヌシテ内譯毎ニ切捨ツルモノトス

### ● 共済組合員異同整理ニ關スル件通牒

大正十年二月二十二日  
内務省社務第四二號

警察共済組合規程第二條ニ依ル各道廳府縣所屬ノ組合員異同整理ニ關シテハ夫夫御精勵中ノ事ト被存候處之ヲ從來ノ實例ニ徴スルニ異動往往明確ヲ缺クノミナラス原標ノ記載方區區ニ互リ爲ニ調査上支障不尠候條左記事項特ニ御留意相成整理上萬違算ナキヲ期セラレ度

記

- 一 組合員ノ異動ニ關シテハ其ノ都度詳細明確ニ整理スヘキコト
- 二 脱退者ノ原票ハ裏面ニ記載ヲ要スルモノハ格別然ラサルモノハ事由發生後遲滞ナク送附スヘキコト
- 三 脱退者中ニハ救済ノ事實ヲ有スルニ不拘全然裏面ノ記載ヲ脱漏スル向アルヲ以テ特ニ注意スヘキコト
- 四 原票中ニ脱退事由ヲ記載セサルモノアルモ右ハ第一號様式注意「六」ニ依リ詳細記入スルコト
- 五 原票裏面ノ救済金額ハ證書類及收支計算表等ノ當該種目金額ノ内容ト一致セサルモノアルヲ以テ注意スヘキコト
- 六 脱退者原票ハ組合ノ事業成績作成上必要ニ付本省ニ保存スヘキモノナルヲ以テ相當注意シテ取扱フヘキコト

### ● 警察共済組合財産管理並送金方法ニ關スル件依命通牒

大正十年一月七日  
内務省九發會第五二三號

警察共済組合財産ノ管理並送金方ニ關シテハ夫夫適當ナル方法ヲ講シ遺憾ナキヲ期セラレ候儀ト存候得共本省ニ於テ管理スル資金ノ預入ニ付テハ左記六銀行ヲ確實ト認メ預金取引ヲ開始スルコトニ定メラレ而シテ該資金ノ送金ニ就テハ郵便振替貯金又ハ預金口振込ニ據ルヲ最モ安全有利ナル方法ト存候依テ二者ヲ對比スルニ郵便振替貯金ハ振替ニ依ル拂出及現金ノ拂渡ノ爲ニスル拂出ノ際各相當料金ヲ徴收セラレ且預金利率低薄ニシテ振替ニ日時ヲ要ス然ルニ預金口振込ハ其ノ副報告書(用紙ハ私製葉書)ニ相當郵便切手ヲ貼用スルノミニテ足リ預金利率ハ郵便振替貯金ニ比シ常ニ高位ニ在リ且受信方前者ヨリ迅速ナリ上述ノ如ク預金口振込ハ郵便振替貯金ニ比シ經費、利率及迅速ノ點ニ於テ優レルヲ以テ本省ニ於テハ預金口振込ノ方法ニ依リ送金可致候條貴縣御引取ノ銀行名、預金種別及預金者名義御同示相成度候尙貴縣ヨリ本省へ送金ノ場合ニ於テモ可成右ニ依リ取扱ハレ度就テハ預金口振込方法ハ概略別

紙の通りニ有之候條御承相成度

追而預金口振込ニ依ラレサル場合ニシテ郵便振替預金口座ヲ有スル向ハ本省取引銀行ノ振替貯金口座へ直接御振替相成ルチ便宜ト存候但シ此場合ハ其ノ都度本省へ其ノ旨御通知相成度又從前通小切手ヲ使用サル向ハ今後記名式線引トセラレ度且ツ會計課長山田準次郎ヲ受取人ニ指定相成度

記

所在地	銀行名	預金種別	預金者名義
日本橋區 平松町	住友銀行東京支店 (振替貯金口座東京七番)	通知預金	内務省
日本橋區 駿河町	三井銀行 (東京三三番)	小口當座預金	山田準次郎
日本橋區 小舟町三丁目	安田銀行 (東京二二九番)	通知預金	
麹町區 永樂町一丁目 (東京海上ビルテナゲ内)	三菱銀行丸ノ内支店 (東京一五四〇五番)	特別當座預金	
右 同 所	十五銀行丸ノ内支店 (東京六九五〇番)	特別當座預金	
日本橋區 檜物町	川崎銀行 (東京二二三五番)	通知預金	

預金 振込 (重ニ當座預金者ノ利用スルニ依リ銀行界ニテハ當座勘定口振入リト稱ス)

- 一、條件
- イ、受取人カ銀行ト取引關係(預金口座)ヲ有スルチ要ス (假令ハ本省カ目下住友銀行外五)
  - ロ、振込依頼ヲ受ケタル銀行カ相手方ノ銀行ト爲替取引アレモノニ限ル
- 一、依頼
- 本方法ニ依リ送金セムトスルモノハ申込書ニ現金又ハ手形ヲ添ヘ銀行ニ振込方チ依頼スルモノトス申込ヲ受ケタル當該銀行ハ相手方銀行宛ハ副報告書ヲ作製シ依頼人ニ交付スヘキニ付依頼人ハ之チ切手貼用ノ上受取人へ郵送スルモノトス(關係書類ト同封送致スルモ可)

一、受領

副報告書ヲ受ケタル受取人ハ之チ銀行へ呈示シ自己ノ預金通帳ニ記入ヲ求ムルモノトス (詳細ハ貴地所在ノ銀行へ照會セラレタシ)

(参照)

郵便振替貯金ト預金口振込トノ要領其ノ他ノ概略比較

- 郵便振替貯金
- 一、振替ニ依リ受拂ヲ爲シタル時ハ拂出ニ對シ四錢ヲ當該加入者貯金ヨリ控除徴收ス
  - 一、現金ノ拂渡ノ爲ニスル振替貯金ノ拂出ニ對シテハ一口ノ金高ニ應シ最高五十五錢迄ノ料金ヲ當該加入者ノ預金ヨリ控除徴收ス
  - 一、利率 一般銀行預金ニ比シ低利ナリ
  - 一、電報送達ノ方法アリ
  - 一、拂出用紙ニハ通信文ヲ記載スル事ヲ得
- 預金口振込
- 一、副報告書ハ多クハ私製葉書ヲ用フルニ付一錢五厘切手ヲ貼用スレハ足レリ
  - 一、振替貯金ニ比シ受信方早シ
  - 一、利率 郵便貯金ニ比シ高利ヲ常トス
  - 一、電報送達ノ方法アリ
  - 一、副報告書ニハ依頼人通信文記載欄アリ

● 共済組合ニ關スル檢診證記載方ノ件

大正十年三月四日  
内務省發社會第二四號

警察共済組合員ニシテ規則第十三條第三號中肺結核及喉頭結核ニ該當スル場合ニ於テハ各年十二月七日内務省發社

會第四六號通牒ノ趣旨ニ基キ警察醫檢診ノ結果夫々該檢診證ノ内容往々明確ヲ缺キ審査上支障不尠候條爾今左記各項ニ準シ記載相成様致度

記

- 一、病名
- 二、既往症
- 三、現在症(打診、聽診、脈搏、呼吸、體溫、咯痰、檢査成績等詳細)
- 四、經過
- 五、診斷(他人ニ對シ病毒傳播ノ有無等)
- 六、豫後

### 警察共濟組合規則ニ關スル件依命通牒

大正十年五月十日  
內務省鳥社會第九號

標記ノ件ニ關スル別紙寫鳥取縣知事(甲號)照會ニ對シ今般決定ノ上乙號ノ通回答候ニ付御了知相成度

(甲號)共發警第六〇號(大正九年十二月十日鳥取縣知事)

(內務省社會局長宛)

警察共濟組合規則第二十二條ニハ組合員懲戒處分ニ依リ其ノ官職ヲ免セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官失職シタルトキハ救濟金ヲ救與セストアリテ救濟金ノ種類ヲ明記セラレサルモ右ハ

- (一) 脫退給與金ノミチ意味スルヤ
- (二) 脫退給與金ノ外免官又ハ失職ノ事由ト因果關係ヲ有スルモノ例ヘハ自己ノ家ニ放火シタルニ因リ罹災給與金泥醉シテ他人ト爭鬪シ爲ニ負傷シタル等官吏ノ體面ヲ汚損スルモノアリテ懲戒免官セラレタル場合ニ於ケル醫療金ノ如キモ包含スルヤ
- (三) 免官失官以前已ニ救濟金ヲ受領スヘキ權利ヲ生シ居ルモノハ後免官又ハ失官ニ依リ變更セラレサルモノト解スヘキヤノ點

取扱上疑義ヲ生シ居候條御省ノ御意見承知致度此段及照會候也

(乙號)內務省鳥社會第九號(大正十年五月十日內務省社會局長)

(鳥取縣知事宛)

警察共濟組合規則ニ關スル件回答

標記ノ件ニ關シ客年十二月十日附共發警第六〇號ヲ以テ御照會有之候處左記ノ通御了知相成度

記

- 一 脫退給與金ノミチナラス規則第九條ノ各種救濟金ヲ總テ包含ス
- 二 懲戒處分又ハ刑事裁判ニ因リ免官失職ト關係ヲ有スル事實ヲ原因トスル救濟金ハ勿論其ノ免官失職以前ニ給與事實發生シタルモノト雖モ未タ給與ヲ了セサルニ於テハ等シク救濟金ノ總テヲ給與セサルノ法意ナリトス

醫療金給與上疑義相生シ候ニ付左案照會可然哉

(甲號) 警察共濟組合醫療金給與ニ關スル件(大正十年八月五日百共發第三五號)

(神奈川縣知事 內務次官宛)

警察共濟組合醫療金給與ニ關シ左記ノ如ク疑義相生シ候條至急何分ノ御回示相煩度此段及照會候也

- 一 組合員入院治療ノ際普通病院ニ在リテハ藥價及患者食費等凡テ入院料ニ包含セシメ之ヲ徵收スルハ普通一般的ノ慣例ナルニヨリ醫療金給與ニ付毫モ疑問ノ餘地ナシト雖モ茲ニ帝國大學病院ニ入院シタル者ニ在リテハ同院ニ限リ費用支拂ノ際入院料ト食料トハ全ク區別スル取扱ナル趣ニ付テハ右食費ハ醫療ノ範圍ヲ脫シタルモノト認メ全然給與スヘカラサルモノノ如ク思料セラレ候モ斯クテハ取扱上前者ト均衡ヲ失スルノミチナラス前記食費ハ療養費中多額ヲ占ムルモノニシテ從テ組合員ノ負擔最モ輕カラサルモノナルニ依リ特ニ帝國大學病院ニ入院セルモノニ限リ凡テ入院料ヲ包含セシメ相等救濟給與可然哉

(乙號) 警察共濟組合醫療金給與ノ件回答(大正十年十月三日神奈川縣知事宛)

(社會局長 神奈川縣知事宛)

標記ノ件ニ關シ八月五日附百共發第三五號御照會ノ趣了承右ハ申越ノ如ク入院患者ノ食費ヲモ入院料中ニ包含セシメ給與相成可然儀ト被認候條御了知相成度

### 警察共濟組合財產送金ニ關スル件

大正十年四月二十五日  
內務大臣官房課第一三二號會計課長

今般本省會計課長更選ニ伴ヒ警察共濟組合財產豫金者名左記ノ通り變更致候條御了知相成度  
追テ小切手使用ノ向ハ「內務大臣官房會計課長期切書次郎」ヲ受取人ニ指定セラレ度

● 共濟組合證憑書類送付ニ關スル件照會

大正十年六月二十三日  
內務省社發乙第一六九號

警察共濟組合救済金仕拂ヲ了シタル證憑書類ハ規程第二十條ニ基キ夫夫送付有之候處右調査上必要ニ候條爾今該書類送附ノ際ハ左記事項表記ノ上添付候様致度

計	書類番號	給與種目	給與金額	官職別員數

注意

- 1、書類番號ニハ證憑書ノ番號(至何號)ヲ記載スルコト
- 2、給與種目毎ニ其ノ事實ヲ區分記載スルコト
- 3、官職別(警部補巡査消防手)ニ集計記載スルコト
- 4、死亡給與金ハ組合員家族(妻祖父母、父母子)毎ニ區分掲記スルコト

● 癩疾給與金請求ニ關スル依命通牒ノ件

大正十年九月二十八日  
西警收共第五九一號

本月十九日附內務省發社會第一三七號ヲ以テ警察共濟組合規程第十三條ニ依ル癩疾給與金請求書送附ノ際ニ於ケル

關係書類添付方ニ關シ社會局長心得ヨリ依命通牒有之候處退職願其他關係書類ハ後日退職料其ノ他一時金給與上必要ニシテ他管事務取扱上支障ヲ來スヘク候條右ノ場合應本ニ代ヘ添付致度候條御承認相成候様致度此段及申請候也

● 癩疾給與金請求ニ關スル件依命通牒

大正十年九月十九日  
內務省發社會第一三七號

癩疾給與金請求ニ關スル件回答(大正十年九月三十日發社會第一三七號)  
標記ノ件ニ關シ九月二十八日附西警收第五九一號申請之趣了承右ハ應本ヲ添付シ差支無之候條御了知相成度

● 癩疾給與金請求ニ關スル件依命通牒

大正十年九月十九日  
內務省發社會第一三七號

警察共濟組合規則第十三條ニ依ル癩疾給與金請求書送付ニ關シテハ嘗テ夫夫通牒置候處右給與金決定上必要有之候ニ付爾今該請求書送付ノ際ハ左記關係書類添付相成候様致度  
追テ右請求ハ救済事由發生後數箇月ヲ經過スル向有之給與上遺憾ニ被存候條相當御留意相成度爲念申添候

- 一 本人ノ退職願書
- 二 本人退職當時ノ醫師診斷書
- 三 退職決定書類(退職月日共)
- 四 現俸給(退職當時ノ本俸並ニ加俸)増俸年月日並ニ增俸

● 共濟組合收支報告補正ニ關スル件通牒

大正十年十一月十四日  
內務省社發乙第四〇三號

警察共濟組合事務取扱規程第十四條ニ依ル送金後異動ノ場合ニ於ケル收支報告補正方ニ關シテハ本年一月三十一日附社發乙第一七號ヲ以テ通牒置候處之ヲ既往ノ實例ニ徵スルニ之レカ手續取運不相成向有之整理上差支不尠候ニ就テハ右手續精々御勤行相成候様致度

### 警察共濟組合醫療金給與ニ關スル件

大正十年八月五日  
西共發第三五號

警察共濟組合醫療金給與ニ關シ左記ノ如ク疑義相生シ候條至急何分ノ御回示御煩度此段及照會候也

一、組合員入院治療ノ際普通病院ニ在リテハ藥價及患者食費等凡テ入院料ニ包含セシメ之ヲ徵收スルハ普通一般的ノ例ナルニヨリ醫療金給與ニ付毫モ疑問ノ餘地ナシト雖モ茲ニ帝國大學病院ニ入院シタル者ニ在リテハ同院ニ限リ費用支拂ノ際入院料ト食費トハ全ク區別スル取扱ナル趣ニ付テハ右食費ハ醫療ノ範圍ヲ脱シタルモノト認メ全然給與スヘカラサルモノノ如ク思料セラレ候モ斯クテハ取扱上前者ト均衡ヲ失スルノミナラス前記食費ハ療養費中多額ヲ占ムルモノニシテ從テ組合員ノ負擔最モ輕カラサルモノナルニヨリ特ニ帝國大學病院ニ入院セルモノニ限リ凡テ入院料ニ包含セシメ相當救濟給與可然哉

乙號神社會第五一號 大正十年十月三日

內務省社會局長心得

田子內務書記官

神奈川縣知事殿

警察共濟組合醫療金給與ノ件回答

標記ノ件ニ關シ八月五日附西警共發第三五號御照會ノ趣了承右ハ申越ノ如ク入院患者ノ食費ヲモ入院料中ニ包含セシメ給與相成可然儀ト被認候條御了知相成度

### 警察醫檢診方ニ關スル件依命通牒

大正十一年二月十七日  
內務省一〇視社會第七二號

警察共濟組合癩疾給與金請求書送附ニ際シ警察醫檢診證添付ヲ要スル旨豫テ通牒置候處組合脱退後ニ於ケル本人ノ居所ニシテ警察醫ノ設置ナク從ツテ其ノ在勤所ヨリ甚シキ遠隔ノ地點ニ在リ爲ニ檢診上非常ナル支障ヲ生スル場合

ニ限リ本人所在ノ開業醫ヲシテ所轄警察署長立會ノ下ニ檢診ヲ了セシメ該檢診證ヲ添付シ差支無之候條爾今右御了知相成度

### 警察共濟組合收支決算ニ關スル件依命通牒

大正十一年四月一日  
內務省發社會第二四號

警察共濟組合收支決算ニ關シテハ夫夫御精勵中ノ事ト被存候處右決算書別記様式ニ基キ取調毎年度終了後一ヶ月以內ニ本省ニ到達候様御提出相成度

追テ右計算ニ關シテハ豫テ報告ニ係ル收支計算參照ノ上異動ニ關スル附記相成候様致度申添候

大正何 警察共濟組合收支決算書

月別	收 入		支 出						何府縣	差引	
	掛金	給與金	計	送金	醫療人員	死亡人員	癩疾人員	罹災人員			脱退人員
三月											
四月											
五月											
計											

附 準備金保管狀況並預金利率

(注意) 1、大正十年度收支決算書ハ來ル五月二十日迄ニ提出スルコト 2、本様式中各月ノ掛金及給與金ハ其ノ月分トシテ當然徵收シタル額(決算額)ヲ掲記スルコト 3、年度末決算期ニ際シ翌年度ニ繰越收入アリタルモノト雖モ前年所屬ノ收入(掛金及給與金)ハ科目別ニ整理ノ上其ノ精算額ヲ記入スルコト 4、概算前後ハ後精算ノモノハ各科目別ニ(醫療罹災)整理記入シ尙年度末ニ於テ現ニ概算前後ニ係ルモノト雖モ年度末打切り精算ノ上記入スルコト 5、「支出」欄

第一編 警務 第五章 共濟組合

中ノ「計」ハ金額ノミノ合計ヲ掲起スルコト 6、本表中警署報告済ノモノト異動ヲ生シタル場合「附記」ハ可成詳細ニ記載スルコト 7、準備金保管状況ニ就テハ年度末現在ノ状況ヲ左記ニ區分記載スルコト

記

- 一、現金
- 二、銀行預金
- 1 定期預金、2 通知預金、3 特別當座預金、4 小口當座預金
- 三、郵便貯金

### 警察共濟組合員ノ檢診方ニ關スル件

大正十一年二月二十二日  
戊警共救第九八號

警察共濟組合員ニシテ規則第十三條ニ依ル發疾給與金請求ノ場合ハ從來必ス警察醫檢診書添付スヘキコトニ相成居候處組合員脫退後其居住地ヲ警察醫ノ設置ナク從テ其在勤所ヨリ甚シキ遠隔ノ地點ニ在リ爲メニ檢診上非常ナル支障ヲ生スル場合ニ限リ本人所在地ノ開業醫ヲシテ所轄警察署長立會ノ下ニ檢診シタル診斷書ヲ添付スルモ差支無キ旨其筋ヨリ通牒有之候條左様御了知相成度依命此段及通牒候也

### 警察共濟組合救濟金給與事由發生申告方ニ關スル件

依命通牒 大正十一年九月十五日  
戊警發共第四二號

警察共濟組合救濟金給與事由發生シタルトキハ組合員又ハ其ノ戸主家族若シクハ代理人ヨリ直チニ所屬地方長官ニ申告スヘキハ組合規則第十八條ノ規定スル所ニ有之固ヨリ組合員ノ違背ヲ容レササル所ニ有之候處從來ノ實例ニ徴スルニ往々之ニ違背シ其ノ甚タシキニ至リテハ請求ト同時ニ申告シ更ニ意トスル處ナク其ノ口實トスル所ヲ聞クニ全ク規則ノ不知ニ基ク結果ナリト辯解シ當該所屬長ニ於テモ亦願ミサル向有之願フニ規則ノ趣旨トスル所ハ組合員ニシテ其ノ發生ヲ可及的迅速ニ知得シ應テ到來スヘキ請求ナル事實ニ對應スヘキ準備的行動ニ出テシメントスル精神

ニ外ナラスト思料セラレ從テ申告ノ遅速ノ當該給與上ニ及ホス影響甚カラス候條規則ノ周知徹底方ニ就テ今般一層御努力ノ上組合員ヲシテ敢テ違背セシメサル様御留意相成度依命此段及通牒候也  
追而組合員ニ於テ醫師ノ治療ヲ要スル場合ハ豫メ警察醫ノ診斷ニ俟チ已ムヲ得サル場合ニ限リ適當ノ時機ニ於テ速ニ警察醫ノ診斷ヲ受ケシムル様致度候

### 警察共濟組合事務取扱ニ關スル件依命通牒

大正十一年十二月二十六日  
內務省警發乙第四三八號警保局長

標記ノ件ニ關シ大阪府知事ヨリ別紙甲號ノ通り照會有之候ニ付別紙乙ヲ以テ回答致置候處貴管下ニ於テ入院料ノ内容區區ニ渡ル向有之候ハハ大阪府知事ニ回答ノ趣旨ニ依リ御處理相成様致度  
(別紙甲號)寫

警察共濟組合事務ニ關スル件照會 (大正十一年十一月十八日共第五〇九號)  
大阪府知事 內務次官宛

大正九年九月十一日訓令第十七號第六條第一項中ニ所謂入院料トハ如何ナルモノヲ包含スルモノナリヤ當府管内公私立病院ニ於ケル入院料ノ内容區區ニ渡リ例ヘハ濱地病院ニアリテハ病室、寢具、什器ノミヲ入院料トナシ食費、藥價等ハ入院料ニ包含セシメ居ラス松尾病院ニアリテハ病室、食費、藥價、寢具、什器ヲ悉ク入院料ニ包含セシメ居レリ各病院ノ入院料規則ニヨリテ入院料ヲ支給スルモノトセハ醫療費支給上公平ヲ缺クノ嫌有之是レカ取扱上統一ヲ期シ度候條入院料ノ内容御指示相成度右及照會候也  
(別紙乙號)寫

警察共濟組合ニ關スル件回答 (大正十一年十二月二十六日警發乙第四三八號)  
警保局長 大阪府知事宛

標記ノ件ニ關シ十一月十八日共第五〇五號ヲ以テ御照會有之候處右ハ病室、寢具、什器、患者ノ食費及藥價ハ之ヲ入院料ニ包含セシメ可然儀ト被認候條御了知相成度





救規程第七條ノ手續ヲ省略シ内務次官ノ給與決定ヲ認タルモノト看做シ直チニ同第九條ニ依ル給與書交付ノコトニ決定相成候條御了知ノ上可然御取扱相成度

追テ肺結核及喉頭結核ニ依ル請求ト雖モ本文ニ該當セサルモノ及其他ノ原因ニ由ル癩疾給與金ノ請求ハ依然取扱規程第七條ニ依リ内務次官ニ御送付可相成義ニ付爲念申添候

### 警察共濟組合ニ關スル文書發送等ニ付通知

大正十三年十一月二十六日  
内務大臣官房課第八五九號會計課長

標記ニ關シテハ彙ニ通牒ノ次第モ有之候處往々之ニ反スル向モアリテ取扱上支障ヲ來シ候條左記事項御留意相成度候

#### 記

- 一、組合關係ノ文書發送ハ封書面ニ印ヲ捺捺スルコト
- 一、掛金並給與金ノ三分ノ一額算出ハ各錢位未滿切捨ノコト
- 一、毎月送金額ニ過誤ヲ生シタルトキハ次月送金ノ際整理シ切手等代用納付ヲナササルコト
- 一、本省ニ送金ノ際ハ内務省内警察共濟組合管理者赤木朝治ノ名ヲ以テスルコト

### 警察共濟組合罹災給與金請求書進達方ニ關スル件

大正十四年四月二日  
十四警共發第十一號警務課長

首題給與金請求ニ對シテハ本人ヨリ左記事項ヲ記載セル調書ヲ徵シ請求書ニ添付セシメ事實ヲ調査シ御進達相成度此段及通牒候也

#### 左記

- 一、罹災ノ種別及程度(全半燒及全半潰等ノ別)
- 二、家族ノ有無及員數

- 三、死傷ノ別及其員數
  - 四、罹災當時本人ノ俸給額(加俸モ含ム)
  - 五、勤務別(非番當番ノ別)
  - 六、借家、間借、下宿、自己所有家屋居住ノ別
  - 七、罹災當時本人ノ所有セル動産及不動産ノ見積額
  - 八、罹災物件及其ノ見積價格
- (一々具體的ニ明記スルコト)

### 警察共濟組合救濟金請求廳府縣ニ關スル件

大正十四年二月十六日  
内務省視警第一四號警保局長

他府縣ヨリ轉屬セル警察共濟組合員ノ轉屬前ニ請求事實ノ發生セル醫療金及罹災給與金ノ請求廳府縣ニ關シ疑義ヲ生シ伺出ノ向有之候處同組合事務取扱規程第六條ノ「所屬長」及「地方長官」ハ給與ノ事由發生當時ノ所屬長及其ノ他地方長官トシテ御取扱相成度

### 第六章 雜

#### ●警察官吏消防官吏會葬規程

大正九年十月五日  
訓令第六十七號

警察署 警察分署 消防署

警察官吏消防官吏會葬規程左之通相定ム

##### 警察官吏消防官吏會葬規程

- 第一條 警察官吏、消防官吏在職中死亡シタルトキハ本規程ニヨリ會葬スルモノトス  
但休職者ノ死亡シタルトキハ此ノ限ニアラス
- 第二條 會葬者ハ出棺時三十分前ニ便宜ノ箇所ニ參集シ當該指揮者ノ命ヲ俟ツヘシ
- 第三條 會葬者ハ警部補以上ハ禮裝巡査消防手ハ正裝トス
- 第四條 會葬員ハ左ノ列次ニ依リ棺ノ前後ニ隨ヒ進行スルモノトス  
指揮者

- 警視 警部消防士 警部補 巡査部長 巡査消防手 祭主
- 消防機關士 消防機關士 警部補 巡査部長 巡査消防手
- 警部消防士 警部補 巡査部長 巡査消防手
- 消防機關士 警部補 巡査部長 巡査消防手

棺

喪主及  
葬儀幹事  
警視

##### 第五條 會葬人員ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 但郡部警察署ヲ含マス
- イ、知事ノ會葬
- 警察部長
- 各課所署長

第一編 警務 第六章 續

警察部 各課警部以下三分ノ二  
〔教習巡查三分ノ二〕

警察署 非直警部以下三分ノ二  
消防署 非直消防士以下三分ノ二  
〔警察部長ノ會葬〕

各課所署長 各課警部以下三分ノ一  
〔教習巡查二分ノ一〕

警察部 非直警部以下二分ノ一

警察署 非直消防士以下二分ノ一

各課所署長 各課警部又ハ警部補一名巡查一名  
〔其ノ課所警部以下三分ノ二〕

警察部 非直警部又ハ警部補一名巡查部長一名巡查五名  
〔其ノ署非直警部以下三分ノ二〕

消防署 非直消防士又ハ消防機關士一名消防曹長一名消防手五名  
〔其ノ署非直消防士以下三分ノ二〕

二、警部、消防士、消防機關士ノ會葬  
警察部 各課ヲ通シテ警部補一名巡查二名  
〔其ノ課所警部補以下三分ノ一〕

警察署 非直警部補一名巡查部長一名巡查二名  
〔其ノ署非直警部補以下三分ノ一〕

消防署 非直消防士又ハ消防機關士一名消防曹長一名消防手二名  
〔其ノ署非直消防士以下三分ノ一〕

ホ、警部補ノ會葬  
警察部 各課ヲ通シテ巡查部長一名巡查一名  
〔其ノ課所巡查部長以下三名〕

警察署 非直巡查部長一名巡查二名  
〔其ノ署非直巡查部長以下九名〕

消防署 非直消防曹長一名消防手二名  
〔巡查部長タル巡查及消防曹長タル消防手ノ會葬〕

警察部 各課ヲ通シテ巡查一名  
〔其ノ課所巡查二名〕

警察署 非直巡查二名  
〔其ノ署非直巡查五名〕

消防署 非直消防手二名  
〔其ノ署非直消防手五名〕

ト、巡查及消防手ノ會葬  
警察部 各課ヲ通シテ巡查一名  
〔其ノ課所巡查二名〕

警察署 非直巡查一名  
〔其ノ署非直巡查四名〕

消防署 非直消防手一名  
〔其ノ署非直消防手四名〕

第六條 横濱市外各署長ノ會葬ニハ警察部長ニ於テ會葬者ヲ指定スルモノトス  
署僚警部以下ノ會葬ハ事務ニ支障ナキ限度ニ於テ前條ノ例ニ準シ所屬署長其ノ人員ヲ定ムルモノトス

第七條 知事ノ會葬ニハ警察部長又ハ其ノ代理者警察部長ノ會葬ニハ上席警視其ノ他ハ會葬者中死者ト同階級以下ノ上席者ニ於テ擔當指揮スルモノトス

第八條 職務ノ爲メ斃レタル者及特別ノ理由アル者ニ對シテハ臨時ノ詮議ヲ以テ特ニ會葬者ヲ指定又ハ増加スルコトアルヘシ

附則 明治十四年十月第十八號神奈川縣警察官會葬式ハ之ヲ廢止ス

第一編 警務 第六章 雜

### ●神奈川縣警察官吏追祭式

明治二十年九月二日  
廳達甲第十五號

改正 明治二十二年九月廳達甲第四一號

警察〔本部〕 警察署 警察分署

神奈川縣警察官吏追祭式左ノ通り相定ム

神奈川縣警察官吏追祭式

第一條 神奈川縣警察官吏ニシテ職務ニ罷レタルモノ、靈魂ヲ慰センカ爲メ祭祀ヲ爲スノ式トス

第二條 死者紀念ノ爲メ警察〔本部〕ニ紀念帖ヲ調製保存スルモノトス

第三條 紀念帖ニハ左ノ項目ヲ記スヘシ

一 勳位官職氏名身分族籍年輪産所兩親又ハ近親ノ氏名在勤官署名履歷功績

一 證名死亡ノ原由年月日時地名墓地名傳贊墓誌墓銘ノ寫等

第四條 毎年春秋左ノ定月警察〔本部〕ニ於テ相當祭式ヲ行フモノトス

春時祭 三月

秋時祭 九月

第五條 墳墓ハ警察〔本部〕ノ指定シタル警察署ニ於テ保存方注意スヘシ

第六條 死者生前ノ肖像寫眞其他紀念ノ爲メ保存ヲ要スル物件アルトキハ死後三十日以内ニ所屬署長ヨリ警察〔本部〕ヘ送付スヘシ

大正十四年十二月二十二日印刷  
大正十四年十二月二十五日發行

### 神奈川縣警察部編

發行者

株式會社 帝國地方行政學會

大谷仁兵衛

東京市京橋區加賀町九番地

印刷者

井田耕治

東京市京橋區加賀町九番地

印刷所

行政學會印刷所

東京府荏原郡平塚村戸越五百五番地



### 發行所

東京市京橋區加賀町九番地  
振替口座東京一三番

### 帝國地方行政學會

終